

## 基本目標4

学ぶ意欲と豊かな心を育むまち

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	教育委員会運営事業
-----	-----------

担当課	教育総務課
-----	-------

記入日	平成28年5月16日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	05	教育総務費
目	05	教育委員会費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	市町村に設置を義務付けられている教育委員会の運営を行う。 教育長及び5人の委員を持って構成され、これら構成員の合議により、教育行政の運営に関する基本方針を決定や、教育課題の把握、協議及び方針の決定を行うとともに、小・中学校の教育的な指導を行う。	教育委員会会議等教育委員の諸活動の円滑な運営を図る。	計画額	0	0	0	11,234	11,234	—	—
			当初予算額	0	0	0	5,354	5,354		
			決算額	0	0	0	2,679	2,679		
H27	・教育委員会の会議(定例会、臨時会)を開催した。 ・各種研修会等に参加した。 ・市立幼稚園、小学校、中学校その他の教育機関を訪問した。 ・学校行事や社会教育関係行事に参加した。	・委員全員が全国規模の研修に参加した。 ・教育施設の実態や問題点の把握に努めるため、定例会のうち第5回を志度公民館鴨部分館、第10回定例会を志度学校給食共同調理場において開催した。	計画額	0	0	0	2,804	2,804	0.3	0.0
			当初予算額	0	0	0	2,804	2,804		
			決算額	0	0	0	2,679	2,679		
H28	・教育委員会の会議(定例会、臨時会)を開催する。 ・各種研修会等に参加する。 ・市立幼稚園、小学校、中学校その他の教育機関を訪問する。 ・学校行事や社会教育関係行事に参加する。		計画額	0	0	0	2,810	2,810		
			当初予算額	0	0	0	2,550	2,550		
			決算額							
H29	・教育委員会の会議(定例会、臨時会)を開催する。 ・各種研修会等に参加する。 ・市立幼稚園、小学校、中学校その他の教育機関を訪問する。 ・学校行事や社会教育関係行事に参加する。		計画額	0	0	0	2,810	2,810		
			当初予算額							
			決算額							
H30	・教育委員会の会議(定例会、臨時会)を開催する。 ・各種研修会等に参加する。 ・市立幼稚園、小学校、中学校その他の教育機関を訪問する。 ・学校行事や社会教育関係行事に参加する。		計画額	0	0	0	2,810	2,810		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	会議開催回数	定例会及び臨時会を開催した回数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	14	計画値	14	計画値	14	計画値	14
					実績値	16	実績値		実績値		実績値	
活動指標	教育機関訪問等回数	各種教育機関に訪問及び各種研修会に参加したのべ回数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	100	計画値	100	計画値	100	計画値	100
					実績値	112	実績値		実績値		実績値	
成果指標	審議案件数	定例会及び臨時会において審議した議案の件数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	70	計画値	70	計画値	70	計画値	70
					実績値	71	実績値		実績値		実績値	
成果指標			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
					実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	22点 /25点	5点	23点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由						理由						
教育委員会は、法律に基づいて設置されている行政委員会であり、教育行政における教育委員会の果たす役割の強化が求められているため。						本市においても、本年5月から「新教育長制度」へ移行したことを契機として、教育委員会組織の果たすべき役割は重要であるとする。						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	事務局運営事業
-----	---------

担当課	教育総務課
-----	-------

記入日	平成28年5月19日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	05	教育総務費
目	10	事務局費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 教育委員会事務局の全般的な管理・運営を行う。	教育委員会事務局の運営に係る各種事務及び業務の推進を図る。	計画額	0	0	0	91,270	91,270	—	—
			当初予算額	0	0	0	42,132	42,132		
			決算額	0	0	1,654	14,328	15,982		
H27	具体的取組 ・教育長の会議、研修への参加 ・規則及び規程等の管理 ・事務の点検及び評価 ・職員及び臨時職員の給与等の支払、各種手当の認定 ・市町村共済、公立学校共済に係る申請手続及び報告等 ・臨時職員に係る健保、雇保、労災手続(取得・喪失・認定等)	教育委員会事務局の運営に係る各種の事務及び業務であるため、それぞれに必要な業務内容を精査し、効率的な業務を行った。	計画額	0	0	0	22,570	22,570	1.3	0.0
			当初予算額	0	0	0	22,570	22,570		
			決算額	0	0	1,654	14,328	15,982		
H28	具体的取組 ・教育長の会議、研修への参加 ・規則及び規程等の管理 ・事務の点検及び評価 ・職員及び臨時職員の給与等の支払、各種手当の認定 ・市町村共済、公立学校共済に係る申請手続及び報告等 ・臨時職員に係る健保、雇保、労災手続(取得・喪失・認定等)		計画額	0	0	0	22,800	22,800		
			当初予算額	0	0	0	19,562	19,562		
			決算額							
H29	具体的取組 職員の健康診断、社会保険等保険料、事務消耗品、印刷、通信費等教育委員会事務局の運営経費である。		計画額	0	0	0	22,900	22,900		
			当初予算額							
			決算額							
H30	具体的取組 職員の健康診断、社会保険等保険料、事務消耗品、印刷、通信費等教育委員会事務局の運営経費である。		計画額	0	0	0	23,000	23,000		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	職員数	教育委員会事務局における市費職員の人数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	34	計画値	34	計画値	34	計画値	34
	臨時職員数	教育委員会事務局における臨時職員の人数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	12	計画値	12	計画値	12	計画値	12
成果指標	審議案件数	教育委員会の審議案件数。 (教育委員会運営事業と成果指標を共用)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	70	計画値	70	計画値	70	計画値	70
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	20点 /25点	4点	19点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由						理由						
教育委員会事務局の運営に係る事務及び業務であるため、業務の種類には、変更するものがないと思われる。業務の内容や取組み方を精査し、効率的な業務の推進を図る。						教育委員会事務局の運営のための経常的な事業であることから、現状維持としながらも、より効率的な取組みとなるよう精査に努めていきたい。						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	国際理解教育推進事業
-----	------------

担当課	教育総務課
-----	-------

記入日	平成28年5月17日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	05	教育総務費
目	10	事務局費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 中学校での日本人教師の外国語授業の補助、小学校での外国語活動等の補助及び幼稚園・児童クラブ等での外国語のふれあい・地域における外国文化の紹介、交流活動により国際理解教育の推進を図る。	外国の文化や言語についての理解を深め、国際化に対応できる人材を育成する。	計画額	10	0	1,320	58,895	60,225	—	—
			当初予算額	0	0	600	25,171	25,771		
			決算額	0	0	240	10,012	10,252		
H27	・市内幼稚園・小学校・中学校等に外国語指導助手(ALT)2名を派遣した。 ・公民館親子教室に外国語指導助手(ALT)を派遣した。 (「親子で英語であそぼう」計3回開催 7/11・10/17・12/6) ・国際理解推進事業「Easter Adventure」の開催 4/18	各学校等から提出される外国語指導助手(ALT)関係書類の様式を一部変更し、ALTをより活用しやすいものに努めた。	計画額	0	0	240	10,895	11,135	0.6	2.0
			当初予算額	0	0	240	10,895	11,135		
			決算額	0	0	240	10,012	10,252		
H28	具体的取組 市内中学校区毎に1名(計3名)の外国語指導助手(ALT)を派遣する。		計画額	10	0	360	15,000	15,370		
			当初予算額	0	0	360	14,276	14,636		
			決算額							
H29	市内中学校区毎に1名(計3名)の外国語指導助手(ALT)を派遣する。		計画額	0	0	360	16,500	16,860		
			当初予算額							
			決算額							
H30	市内中学校区毎に1名(計3名)の外国語指導助手(ALT)を派遣する。		計画額	0	0	360	16,500	16,860		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	外国語指導助手(ALT)人数	市内で語学指導等を行うALTの人数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	2	計画値	3	計画値	3	計画値	3
					実績値	2	実績値		実績値		実績値	
成果指標	中学校授業数	ALTの市内中学校での授業数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	時間	計画値	700	計画値	730	計画値	730	計画値	730
					実績値	951	実績値		実績値		実績値	
	小学校・幼稚園等派遣日数	ALTの小学校・幼稚園への派遣日数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	日	計画値	50	計画値	60	計画値	60	計画値	60
					実績値	93	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		4点	18点 /25点	5点		21点 /25点	
	2. 市民満足の上昇が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		3点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		3点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)							
	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止				● 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止							
理由	国際化に対応した英語教育改革が進められているなか、外国語指導助手(ALT)の必要性がより高まってきている。本市においても、平成28年度からALTが市内中学校毎に1名(計3名)配置されるので、各中学校を拠点校としてALTが今まで以上に質の高い授業を提供できるように関係機関と連携を図りながら、国際理解教育の推進に努めていきたい。				近年のグローバル化に対応していく人材育成の観点から、今後益々、外国語指導助手(ALT)の果たす役割は大きいと考える。こうしたことから、本市においては、平成28年度よりALTの増員を図り、市内幼稚園・小中学校での英語教育の充実に努めていくものである。							

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	学校教育推進事業
-----	----------

担当課	学校教育課
-----	-------

記入日	平成28年5月13日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	05	教育総務費
目	10	事務局費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	学校保健安全法に定められた就学時健康診断等の学校保健や、学校教育活動の円滑な実施に資する学校指導などの実施に係る事業である。 平成28年度からは、教育課程、学習指導等に関する専門的分野に係る事務に従事する指導主事を配置する事業を追加している。	学校保健事業の円滑な実施のほか、市教育方針や各年度における学校教育の重点の推進に向けた学校運営上の指導など、学校教育活動の充実のための取組や支援を行う。	計画額	0	0	6,672	36,102	42,774	—	—
			当初予算額	405	0	3,217	20,229	23,851		
			決算額	241	0	1,644	7,969	9,854		
H27	就学時健康診断、日本スポーツ振興センター災害共済給付事務、小児生活習慣病予防健診、小中学生を対象としたフッ化物洗口、感染症予防対策等の学校保健事業を行うとともに、市教育振興計画等に沿った学校教育活動を推進するための事業を実施した。	・小児生活習慣病予防健診における事後指導の対象児をメタボのみからメタボ予備軍に拡大した。 ・学力向上先進地視察を行い、市の現状分析や今後の対策について検討を行った。	計画額	0	0	1,653	8,943	10,596	1.3	0.1
			当初予算額	0	0	1,653	8,943	10,596		
			決算額	241	0	1,644	7,969	9,854		
H28	就学時健康診断、日本スポーツ振興センター災害共済給付事務、小児生活習慣病予防健診、小中学生を対象としたフッ化物洗口、感染症予防対策等の学校保健事業を行うとともに、市教育振興計画等に沿った学校教育活動を推進するための事業を実施する。 また、嘱託の指導主事1名を学校教育課に配置する。		計画額	0	0	1,653	8,943	10,596		
			当初予算額	405	0	1,564	11,286	13,255		
			決算額							
H29	就学時健康診断、日本スポーツ振興センター災害共済給付事務、小児生活習慣病予防健診、小中学生を対象としたフッ化物洗口、感染症予防対策等の学校保健事業を行うとともに、市教育振興計画等に沿った学校教育活動を推進するための事業を実施する。		計画額	0	0	1,683	9,108	10,791		
			当初予算額							
			決算額							
H30	就学時健康診断、日本スポーツ振興センター災害共済給付事務、小児生活習慣病予防健診、小中学生を対象としたフッ化物洗口、感染症予防対策等の学校保健事業を行うとともに、市教育振興計画等に沿った学校教育活動を推進するための事業を実施する。		計画額	0	0	1,683	9,108	10,791		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	小児生活習慣病予防健診受診率	健診対象児童のうち、実際に健診を受診した者の割合(健診受診者数÷対象児童数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値 95	実績値 93	計画値 95	実績値	計画値 95	実績値	計画値 95	実績値	
	市教委主催の教職員研修の実施回数	教職員に対する市教委主催の研修会の年間延べ実施回数(園長・校長研修会、中堅教員研修会、教務主任・現職教育主任研修会、初任者研修会、小中高生徒指連絡会等)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回数	計画値 13	実績値 14	計画値 13	実績値	計画値 13	実績値	計画値 13	実績値	
成果指標	小児生活習慣病予防健診における事後指導実施率	健診の結果、事後指導の対象とされた児童(メタボ又はメタボ予備軍)のうち、実際に事後指導を受けた者の割合(事後指導実施者数÷事後指導対象者数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値 60	実績値 59	計画値 60	実績値	計画値 60	実績値	計画値 65	実績値	
	言語活動に関する質問に肯定的に回答した児童の割合	全国学力・学習状況調査の質問紙調査(小6)において、「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか」との質問に「当てはまる」と回答した児童の割合	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	点	計画値 48	実績値 46	計画値 51	実績値	計画値 53	実績値	計画値 55	実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	21点 /25点	5点	22点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点	5点					
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	近年の生活環境の変化は子どもの心身の健康に大きな影響を与えており、教育面から園児、児童生徒の健康保持増進を支援していきます。具体的には、小児生活習慣病予防健診やフッ化物洗口などの実施により健康課題解決に向けての取組を推進します。また、子どもたちだけでなく、教職員に対するメンタルヘルス対策として面接指導医を配置するなど、教育現場に向けた働き掛けを行います。						次の世代を担う子どもたちが、未来に向けて「生きる力」を確実に身に付け、成長していくため、学校教育においては、「知・徳・体」のバランスのとれた教育活動を推進し、教育内容の一層の充実を図ることが求められている。このうち、学力面においては、確かな学力を培うため、基礎・基本の確実な定着を図り、子どもたちが学習意欲を高め、自ら学びに向かう力を付ける指導を進める必要がある。また、学習活動の過程においては、ふるさとへの理解と愛着を高めるため、地域の多様な資源を活用するとともに、教育の質の向上に欠かせない教職員の資質の向上について、県教育委員会とも連携しながら研修と指導の充実にも努める必要がある。さらには、子どもたちの学習活動を支える基本となる健康・体力を増進するため、学校保健活動や体力づくりを適切に行いながら、家庭との連携による望ましい生活習慣づくりを進めていく必要がある。						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	特別支援教育支援員配置事業
-----	---------------

担当課	学校教育課
-----	-------

記入日	平成28年5月13日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	05	教育総務費
目	10	事務局費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	小中学校に在籍する発達障害等を有する児童生徒に対し、個々の状況に応じた支援を行い、充実した学校生活が送れるよう特別支援教育支援員を配置する事業である。平成28年度からは、特別な配慮を必要とする児童生徒を支援するため、必要に応じ対象校に担任を補助する学校生活支援者や幼稚園生活補助員を配置する事業を追加している。	小中学校に在籍する発達障害等を有する児童生徒に対し、支援員を配置することにより、学習活動や学校生活上のサポートを行う。	計画額	0	0	0	121,800	121,800	—	—
			当初予算額	0	0	0	92,506	92,506		
			決算額	0	0	0	28,837	28,837		
H27	小中学校の通常学級に在籍する特別な配慮を必要とする児童生徒を支援するため、必要に応じ対象校に特別支援教育支援員31人を配置した。	・資質向上のための研修を初心者・経験者別に実施した。 ※H28年度から障害児支援事業と統合。H28年度は幼稚園生活補助員分も含めて予算計上(予算執行は幼保連携推進室)	計画額	0	0	0	30,450	30,450	0.2	44.0
			当初予算額	0	0	0	30,439	30,439		
			決算額	0	0	0	28,837	28,837		
H28	小中学校に在籍する特別な配慮を必要とする児童生徒を支援するため、必要に応じ対象校に特別支援教育支援員及び学校生活支援者を配置する。		計画額	0	0	0	30,450	30,450		
			当初予算額	0	0	0	62,067	62,067		
			決算額							
H29	小中学校に在籍する特別な配慮を必要とする児童生徒を支援するため、必要に応じ対象校に特別支援教育支援員及び学校生活支援者を配置する。		計画額	0	0	0	30,450	30,450		
			当初予算額							
			決算額							
H30	小中学校に在籍する特別な配慮を必要とする児童生徒を支援するため、必要に応じ対象校に特別支援教育支援員及び学校生活支援者を配置する。		計画額	0	0	0	30,450	30,450		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動 指標	特別支援教育支援員の配置人数	通常学級に在籍する発達障害等を有し、特別な配慮を要する児童生徒を支援するための特別支援教育支援員の配置人数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値 32	実績値 31	計画値 32	実績値	計画値 32	実績値	計画値 32	実績値	
	学校生活支援者の配置人数	特別支援学級に在籍する障害を有し、特別な配慮を要する児童生徒を支援するための学校生活支援者の配置人数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値 —	実績値 —	計画値 7	実績値	計画値 7	実績値	計画値 7	実績値	
成果 指標	通常の授業が成立しなくなった件数	通常学級において、授業中に児童生徒が教師の指示や制止を無視して勝手にしゃべったり立ち歩くなどして通常の授業が成立しなくなった件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値 0	実績値 0	計画値 0	実績値	計画値 0	実績値	計画値 0	実績値	
	特別支援学級における不登校児童生徒の割合	不登校児童生徒数のうち、特別支援学級に在籍する児童生徒数の割合	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値 —	実績値 —	計画値 10	実績値	計画値 10	実績値	計画値 10	実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	20点 /25点	4点	21点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		4点			
5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点	5点					
今後の 方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	通常学級や特別支援学級に在籍する発達障害等を有する特別な配慮を必要とする児童生徒が、必要な支援を受けながら円滑な学校生活を送ることができるよう、教育環境を整える必要があります。今後、支援が必要な児童生徒を的確に把握し、必要に応じて支援員を適正に配置します。						特別な支援や配慮を要する児童生徒に対し、児童生徒や学級の実情を踏まえて、学校教育活動上の適切な指導や必要な支援を行う支援員を配置することにより、児童生徒一人ひとりの状況に応じたきめ細かな特別支援教育を推進する必要があります。						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	学校教育活動支援事業
-----	------------

担当課	学校教育課
-----	-------

記入日	平成28年5月13日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	05	教育総務費
目	10	事務局費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	小学校学習指導要領において義務付けられている小学校5・6年生に対する外国語活動の指導補助を行うため、外国語活動支援員を配置する事業である。また、児童生徒の読書活動を推進するため、学校図書館の環境整備や読書活動の指導補助を行う学校図書館活動支援員を配置する事業である。	・外国語や外国文化への理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。 ・学校における読書環境を整備し、児童生徒の読書活動を推進する。	計画額	0	0	10,000	21,608	31,608	—	—
			当初予算額	0	0	10,000	5,804	15,804		
			決算額	0	0	5,000	1,432	6,432		
H27	学校教育活動支援員(外国語)2人を小学校に配置するとともに、全ての小中学校に学校図書館活動支援員を配置した。	・学校図書館活動支援員のうち図書館司書の資格を有する支援員を講師に、研修を実施した。 ・統合後の図書整理を円滑に行うため、統合校への配置時間を増やした。	計画額	0	0	5,000	1,652	6,652	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	5,000	1,652	6,652		
			決算額	0	0	5,000	1,432	6,432		
H28	学校教育活動支援員(外国語)を小学校に配置するとともに、全ての小中学校に学校図書館活動支援員を配置する。		計画額	0	0	5,000	6,652	11,652		
			当初予算額	0	0	5,000	4,152	9,152		
			決算額							
H29	学校教育活動支援員(外国語)を小学校に配置するとともに、全ての小中学校に学校図書館活動支援員を配置する。		計画額	0	0	0	6,652	6,652		
			当初予算額							
			決算額							
H30	学校教育活動支援員(外国語)を小学校に配置するとともに、全ての小中学校に学校図書館活動支援員を配置する。		計画額	0	0	0	6,652	6,652		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	学校教育活動支援員(外国語)による年間授業時間数	学校教育活動支援員(外国語)が実際に授業の支援を行った年間授業時間数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	時間	計画値 1,050	実績値 1,050	計画値 1,050	実績値	計画値 1,050	実績値	計画値 1,050	実績値	
	学校図書館活動支援員の配置校数	学校図書館の環境整備や児童生徒の読書活動推進の支援に当たる支援員を配置した学校数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値 12	実績値 12	計画値 12	実績値	計画値 11	実績値	計画値 11	実績値	
成果指標	外国語に興味を持った児童の割合	小学校5・6年生のうち、外国語学習に興味を持った児童数の割合(H28年度からアンケート実施予定)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値 -	実績値 -	計画値 80	実績値	計画値 80	実績値	計画値 80	実績値	
	読書の好きな児童の割合	小学校6年生のうち、県学習状況調査において「本を読むのが好き」及び「どちらかといえば好き」と答えた児童の割合	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値 80	実績値 78	計画値 80	実績値	計画値 80	実績値	計画値 80	実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	18点 /25点	4点		20点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点	4点					
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	学校教育活動支援員の配置については、継続的に事業を実施し、中学校での円滑な英語授業の実施につながるよう支援するものです。また、活字離れが深刻化している今日、児童の頃からの読書の習慣付けも踏まえて、各学校にあった図書館機能の充実を図るものです。						小学校の第5学年及び第6学年における外国語活動では、外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養うことが目標とされている。こうした授業を効果的に実施するためには、外国語に堪能な人材の協力を得る指導体制を充実することが必要である。また、読書活動の充実を通じて、確かな学力の育成や豊かな人間性を形成するため、学校図書館の利活用の推進が求められており、平成27年4月1日に施行された改正学校図書館法では、学校への学校司書(学校教育活動支援員)の配置が努力義務とされたところである。このため、今後も引き続き学校図書館の機能向上の役割を担う学校図書館活動支援員を配置する必要がある。						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	学校問題支援アドバイザー配置事業
-----	------------------

担当課	学校教育課
-----	-------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	05	教育総務費
目	10	事務局費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	学校問題支援アドバイザーとして、スクールソーシャルワーカーを雇用し、必要に応じて小中学校に派遣する。	専門的な立場から児童生徒、保護者や教職員からの相談に応じ、支援を行うことにより、児童生徒の問題行動の未然防止、早期発見及び早期解決を図る。	計画額	2,944	0	0	3,339	6,283	—	—
			当初予算額	2,944	0	0	3,339	6,283		
			決算額	2,898	0	0	3,029	5,927		
H27	児童生徒、保護者や教職員からの相談に応じ、多様な支援方法を探り、児童生徒を取り巻く環境を整えていくため、嘱託のスクールソーシャルワーカー2人を雇用し、小中学校に派遣した。	・教育相談担当者の連携を強化するため年2回合同研修会を実施した。	計画額	2,944	0	0	3,339	6,283	0.2	2.2
			当初予算額	2,944	0	0	3,339	6,283		
			決算額	2,898	0	0	3,029	5,927		
H28	※H28年度から教育相談体制支援事業に統合		計画額							
			当初予算額							
			決算額							
H29			計画額							
			当初予算額							
			決算額							
H30			計画額							
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	スクールソーシャルワーカーの派遣校数	スクールソーシャルワーカーを派遣した学校数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	校	計画値	小学校5 中学校3	計画値	-	計画値	-	計画値	-
					実績値	小学校5 中学校3	実績値	-	実績値	-	実績値	-
活動指標	スクールソーシャルワーカーの支援対象児童生徒数	スクールソーシャルワーカーの支援の対象となった児童生徒数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	小学生44 中学生51	計画値	-	計画値	-	計画値	-
					実績値	小学生44 中学生51	実績値	-	実績値	-	実績値	-
成果指標	支援した児童生徒のうち問題が解決又は好転した割合	スクールソーシャルワーカーの支援の対象となった児童生徒の抱える問題の件数うち、問題が解決及び支援中であるが好転した件数の割合	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	小学生40.0 中学生28.6	計画値	-	計画値	-	計画値	-
					実績値	小学生40.0 中学生28.6	実績値	-	実績値	-	実績値	-
成果指標	児童生徒1,000人当たりの不登校児童生徒数	児童生徒1,000人当たりの不登校児童生徒数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	小学生1.5 中学生28.0	計画値	-	計画値	-	計画値	-
					実績値	小学生2.9 中学生31.0	実績値	-	実績値	-	実績値	-
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		5点	20点	5点	21点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		3点		4点			
						20点	25点	4点	25点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止						○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止					
理由	支援を必要とする児童生徒については、様々な要因を背景に抱えており、それぞれの状況や置かれている立場をスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、心の教室相談員が理解し、専門性を生かした継続的な働き掛けが必要です。また、児童生徒が発するSOSを見逃さないように多方面からの視点で支援することも重要であり、健康福祉部子育て支援課など必要に応じて他の機関との連携を図っており、一定の成果を収めています。しかしながら、一人ひとりの学校生活をより充実したものにしていくためには、継続的な支援を要する機会が多い上、対応が必要な案件数も多く、現在の2名の配置では、学校現場からの要請に十分に 대응することができない状態です。そのため、スクールソーシャルワーカーを1名増員し、各中学校区ごとの配置にすることでよりきめ細やかな対応を行うとともに、H28年度以降は教育相談体制支援事業に統合して教育相談制度の充実を目指します。						少子化や核家族化の進行、共働き家庭の増加、急速な情報化の進展等、子どもたちを取り巻く社会の急激な変化により、子どものコミュニケーション能力の低下や、家庭や地域社会における教育力の低下などが大きな問題となっている。このような中、学校では、いじめや不登校、発達障害等への対応に加え、生活習慣の確立や児童虐待といった家庭生活等に起因する問題への対応を余儀なくされている。こうした問題に適切に対応していくためには、教員とは異なる専門性や経験を有する専門的な人材を学校に配置し、教員と共にその専門性を発揮する体制が求められており、特に、教育と福祉の両面に関して、専門的な知識・技術を有するスクールソーシャルワーカーへの学校からのニーズは年々高まっている。本市においては、現在、社会福祉士の資格を有する2名のスクールソーシャルワーカーを小中学校からの要望を受け、派遣しているが、学校からのニーズに十分応えることが難しい状況となっている。このため、スクールソーシャルワーカーを更に増員し、教育相談体制づくりの充実を図り、様々な課題を抱える子どもに対してきめ細かな対応を行っていく必要がある。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	障害児支援事業
-----	---------

担当課	学校教育課
-----	-------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	05	教育総務費
目	10	事務局費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 小中学校の特別支援学級や幼稚園に在籍する心身に障害等を有する児童生徒・園児のうち、特に配慮を要する者の学校(園)生活を支援するため、担任を補助する学校生活支援者や幼稚園生活補助員を配置する事業である。	小中学校の特別支援学級や幼稚園に在籍する配慮を要する児童生徒等に対し、支援員を配置することにより、学校(園)生活上のサポートを行う。	計画額	0	0	0	31,770	31,770	—	—
			当初予算額	0	0	0	31,770	31,770		
			決算額	0	0	0	27,761	27,761		
H27	小中学校の特別支援学級に在籍する特別な配慮を必要とする児童生徒の学校生活を支援するため、対象校に学校生活支援者8人を配置した。また、幼稚園に在籍する特別な配慮を必要とする園児の園生活を支援するため、対象園に幼稚園生活補助員13人を配置した。	・資質向上のための研修を初心者・経験者別に実施した。	計画額	0	0	0	31,770	31,770	0.3	8.0
			当初予算額	0	0	0	31,770	31,770		
			決算額	0	0	0	27,761	27,761		
H28	※H28年度から特別支援教育支援員配置事業に統合		計画額	0	0	0	0	0		
			当初予算額							
			決算額							
H29	具体的取組		計画額	0	0	0	0	0		
			当初予算額							
			決算額							
H30			計画額	0	0	0	0	0		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	学校生活支援者の配置人数	特別支援学級に在籍する特別な配慮を要する児童生徒を支援するための学校生活支援者の配置人数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	8	計画値	-	計画値	-	計画値	-	
	幼稚園生活補助員の配置人数	幼稚園に在籍する特別な配慮を要する園児を支援するための幼稚園生活補助員の配置人数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	13	計画値	-	計画値	-	計画値	-	
成果指標	特別支援学級における不登校児童生徒の割合	不登校児童生徒数のうち、特別支援学級に在籍する児童生徒数の割合	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	11	計画値	-	計画値	-	計画値	-	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	21点 /25点	4点	21点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止						○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止						
理由	配慮を必要とする児童生徒や園児が、集団生活に適応しながら充実した学校生活を送ることができるよう、個々の実態に応じた支援を行うため、支援員を継続的に配置していく必要があります。また、今後も、支援員の資質向上のため、支援の在り方についての研修を定期的実施していくことが求められることから、特別支援教育支援員配置事業に統合して継続していくこととします。						特別な支援や配慮を要する児童生徒や園児に対し、児童生徒等や学級の実情を踏まえて、学校教育活動上の適切な指導や必要な支援を行う支援員を配置することにより、児童生徒等一人ひとりの状況に応じたきめ細かな特別支援教育を推進する必要がある。なお、H28年度以降は事業統合を行い、特別支援教育支援員配置事業として実施することとする。						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	心の教室相談員設置事業(小学校)
-----	------------------

担当課	学校教育課
-----	-------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	10	小学校費
目	05	学校管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	児童、保護者や教職員の悩みの相談、その他学校の教育活動への支援等を行うため、心の教室相談員を配置する事業である。相談員は、教職経験者やカウンセラー経験者など本事業の趣旨を理解し、積極的に取り組む意欲のある者のうちから委嘱し、概ね週1回半日程度各学校において相談活動に従事する。	心の教室相談員が学校長をはじめ、学級担任・スクールカウンセラー・支援担当教職員との連携を図り、児童及び保護者の心の悩みや問題の早期発見・防止を図る。	計画額	0	0	0	672	672	—	—
			当初予算額	0	0	0	672	672		
			決算額	0	0	0	588	588		
H27	児童が悩みを気軽に話せ、ストレスが和らぎ、心のゆとりを持てるような学校教育環境づくりのため、教職経験者やカウンセラー経験者など児童にとって身近な立場となる第三者的な相談員を学校に配置した。	・担当教員、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー等教育相談関係者同士の連携を図った。	計画額	0	0	0	672	672	0.0	0.2
			当初予算額	0	0	0	672	672		
			決算額	0	0	0	588	588		
H28	※H28年度から教育相談体制支援事業に統合		計画額							
			当初予算額							
			決算額							
H29	具体的取組		計画額							
			当初予算額							
			決算額							
H30			計画額							
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	心の教室相談員配置校数	心の教室相談員を配置した小学校数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	校	計画値	7	計画値	-	計画値	-	計画値	-
					実績値	7	実績値	-	実績値	-	実績値	-
活動指標	心の教室相談員の年間勤務時間数	心の教室相談員が勤務し、児童と関わった年間時間数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	時間	計画値	672	計画値	-	計画値	-	計画値	-
					実績値	588	実績値	-	実績値	-	実績値	-
成果指標	児童1,000人当たりの不登校児童数	児童1,000人当たりの不登校児童数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	1.5	計画値	-	計画値	-	計画値	-
					実績値	2.9	実績値	-	実績値	-	実績値	-
成果指標			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
					実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	20点 /25点	4点	20点 /25点		
	2. 市民満足の上昇が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止						○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止					
理由	支援を必要とする児童生徒については、様々な要因を背景に抱えており、それぞれの状況や置かれていた立場をスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、心の教室相談員が理解し、専門性を生かした継続的な働き掛けが必要です。また、児童生徒が発するSOSを見逃さないように多方面からの視点で支援することも重要であり、健康福祉部子育て支援課など必要に応じて他の機関との連携を図っています。一人ひとりの学校生活をより充実したものにしていくため、引き続き相談体制の充実を図る必要があることから、H28年度以降は教育相談体制支援事業に統合して教育相談制度の充実を目指します。						少子化や核家族化の進行、共働き家庭の増加、急速な情報化の進展等、子どもたちを取り巻く社会の急激な変化により、子どものコミュニケーション能力の低下や、家庭や地域社会における教育力の低下などが大きな問題となっている。このような中、学校では、いじめや不登校、発達障害等への対応に加え、生活習慣の確立や児童虐待といった家庭生活等に起因する問題等への対応を余儀なくされている。こうした問題に適切に対応していくためには、教員とは異なる専門性や経験を有する専門的な人材を学校に配置し、教員と共にその専門性や経験を発揮する体制が求められている。 心の教室相談員は、教員でも保護者でもない第三者的な立場で児童生徒に接し、児童生徒との何気ない会話や交流から児童生徒の異変に気付いたり、悩みの相談へとつながるなど、児童生徒の相談相手として貴重な存在となっている。今後も、こうした人材を学校に配置し、教育相談体制づくりの充実を図り、様々な課題を抱える子どもに対してきめ細かな対応を行っていく必要がある。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	スクールカウンセラー配置事業
-----	----------------

担当課	学校教育課
-----	-------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	10	小学校費
目	05	学校管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	県教育委員会により、全ての小中学校にスクールカウンセラーが派遣されているが、12学級以上の小学校に対し、県と市町の共同事業により派遣時間を追加するものであり、事業に要する経費の一部(所要経費の2分の1)を市町が負担するものである。	いじめ等の問題行動等の早期発見・早期対応や未然防止を図るとともに、心に問題を抱える児童生徒、保護者や教職員に対する校内の教育相談体制を充実する。	計画額	0	0	0	607	607	—	—
			当初予算額	0	0	0	607	607		
			決算額	0	0	0	481	481		
H27	12学級以上の小学校(4校)に対するスクールカウンセラーの派遣時間を追加した。	・担当教員、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー等教育相談関係者同士の連携を図った。	計画額	0	0	0	607	607	0.0	0.2
			当初予算額	0	0	0	607	607		
			決算額	0	0	0	481	481		
H28	※H28年度から教育相談体制支援事業に統合		計画額							
			当初予算額							
			決算額							
H29	具体的取組		計画額							
			当初予算額							
			決算額							
H30			計画額							
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	スクールカウンセラー配置校数	12学級以上の小学校へのスクールカウンセラーの配置校数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	校	計画値	4	計画値	-	計画値	-	計画値	-
					実績値	4	実績値	-	実績値	-	実績値	-
活動指標	スクールカウンセラーによる相談件数	児童生徒がスクールカウンセラーに相談を行った延べ件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	500	計画値	-	計画値	-	計画値	-
					実績値	452	実績値	-	実績値	-	実績値	-
成果指標	児童生徒1,000人当たりの不登校児童生徒数	児童生徒1,000人当たりの不登校児童生徒数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	小学生1.5 中学生28.0	計画値	-	計画値	-	計画値	-
					実績値	小学生2.9 中学生31.0	実績値	-	実績値	-	実績値	-
成果指標			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
					実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		5点	22点 /25点	5点	22点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		5点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		4点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)							
	○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止				○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止							
理由	支援を必要とする児童生徒については、様々な要因を背景に抱えており、それぞれの状況や置かれている立場をスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、心の教室相談員が理解し、専門性を生かした継続的な働き掛けが必要です。また、児童生徒が発するSOSを見逃さないように多方面からの視点で支援することも重要であり、健康福祉部子育て支援課など必要に応じて他の機関との連携を図っています。一人ひとりの学校生活をより充実したものにしていくため、引き続き相談体制の充実を図る必要があることから、H28年度以降は教育相談体制支援事業に統合して教育相談制度の充実を目指します。				少子化や核家族化の進行、共働き家庭の増加、急速な情報化の進展等、子どもたちを取り巻く社会の急激な変化により、子どものコミュニケーション能力の低下や、家庭や地域社会における教育力の低下などが大きな問題となっている。このような中、学校では、いじめや不登校、発達障害等への対応に加え、生活習慣の確立や児童虐待といった家庭生活等に起因する問題等への対応を余儀なくされている。こうした問題に適切に対応していくためには、教員とは異なる専門性や経験を有する専門的な人材を学校に配置し、教員と共にその専門性や経験を発揮する体制が求められている。 スクールカウンセラーは、児童の臨床心理に関して高度に専門的な知識・経験を有する専門家であり、いじめ等の問題行動等の早期発見・早期対応や未然防止を図り、校内の教育相談体制を充実するために欠かせない専門家である。今後も、こうした人材を学校に配置し、教育相談体制づくりを推進し、様々な課題を抱える子どもに対してきめ細かな対応を行っていく必要がある。							

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	小学校教育振興事業
-----	-----------

担当課	学校教育課
-----	-------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	10	小学校費
目	10	教育振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 児童の豊かな読書経験の機会を充実し、読書活動を推進するため、学校図書等の整備を行う事業である。また、観察・実験・体験等の活動を通じた基礎学力の向上を図るため、教育課程に対応した教材・教具の整備を行う事業である。	学校図書及び教材備品の充実により、児童の豊かな読書経験並びに基礎学力の向上に資する。	計画額	626	0	0	14,760	15,386	—	—
			当初予算額	380	0	6,995	6,906	14,281		
			決算額	214	0	4,458	3,476	8,148		
H27	学校図書及び教材備品等を計画的に整備した。教材備品の整備に際しては、国庫補助事業である理科教育振興補助事業等を活用した。	まちづくり基金を活用して、学校図書の充実を図ったほか、理科教育振興補助事業等を活用し、教材備品の整備を行った。	計画額	155	0	0	3,656	3,811	0.2	0.0
			当初予算額	155	0	0	3,656	3,811		
			決算額	214	0	4,458	3,476	8,148		
H28	学校図書及び教材備品等を計画的に整備する。教材備品の整備に際しては、国庫補助事業である理科教育振興補助事業等を活用する。		計画額	155	0	0	3,656	3,811		
			当初予算額	225	0	6,995	3,250	10,470		
			決算額							
H29	学校図書及び教材備品等を計画的に整備する。教材備品の整備に際しては、国庫補助事業である理科教育振興補助事業等を活用する。		計画額	158	0	0	3,724	3,882		
			当初予算額							
			決算額							
H30	学校図書及び教材備品等を計画的に整備する。教材備品の整備に際しては、国庫補助事業である理科教育振興補助事業等を活用する。		計画額	158	0	0	3,724	3,882		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	小学校1校当たりの図書購入額	小学校1校当たりの図書購入額 (図書購入額÷学校数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	千円	計画値	200	計画値	200	計画値	200	計画値	200
					実績値	453	実績値		実績値		実績値	
活動指標	小学校1校当たりの教材購入額	小学校1校当たりの教材購入額 (教材購入額÷学校数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	千円	計画値	200	計画値	200	計画値	200	計画値	200
					実績値	230	実績値		実績値		実績値	
成果指標	学校図書館図書標準の達成状況	学校図書館(小学校)における図書標準に定められた冊数に対する蔵書数の市全体の割合	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	150	計画値	150	計画値	150	計画値	150
					実績値	145	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		4点	21点 /25点	4点	21点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		3点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		5点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止					
理由	平成28年1月策定のさぬき市教育大綱において「読書のまち さぬき」として、読書を中心とした教育活動の充実を基本方針に掲げており、児童が豊かな読書経験を積み、知的活動に関わることができる機会が増えるよう、学校図書の充実を図る必要があります。また、基礎学力の向上のため、教材備品の充実を図る必要があります。						児童生徒が読書に親しむ習慣を身に付け、確かな学力や豊かな人間性を育むためには、学校図書館の蔵書の整備、充実を図ることが必要である。また、学校で使われる各種の教材教具は、学習活動における教育効果を高め、児童生徒の基礎的・基本的な学習理解を助ける上で極めて重要であり、その充実は不可欠なものである。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	心の教室相談員設置事業(中学校)
-----	------------------

担当課	学校教育課
-----	-------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	15	中学校費
目	05	学校管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 生徒、保護者や教職員の悩みの相談、その他学校の教育活動への支援等を行うため、心の教室相談員を配置する事業である。相談員は、教職経験者やカウンセラー経験者など本事業の趣旨を理解し、積極的に取り組む意欲のある者のうちから委嘱し、概ね週3回半日程度各学校において相談活動に従事する。	心の教室相談員が学校長をはじめ、学級担任・スクールカウンセラー・支援担当教職員との連携を図り、生徒及び保護者の心の悩みや問題の早期発見・防止を図る。	計画額	0	0	0	945	945	—	—
			当初予算額	0	0	0	945	945		
			決算額	0	0	0	902	902		
H27	生徒が悩みを気軽に話せ、ストレスが和らぎ、心のゆとりを持てるような学校教育環境づくりのため、教職経験者やカウンセラー経験者など生徒にとって身近な立場となる第三者的な相談員を学校に配置した。	・担当教員、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー等教育相談関係者同士の連携を図った。	計画額	0	0	0	945	945	0.0	0.2
			当初予算額	0	0	0	945	945		
			決算額	0	0	0	902	902		
H28	※H28年度から教育相談体制支援事業に統合		計画額							
			当初予算額							
			決算額							
H29	具体的取組		計画額							
			当初予算額							
			決算額							
H30			計画額							
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	心の教室相談員配置校数	心の教室相談員を配置した中学校数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	校	計画値	3	計画値	-	計画値	-	計画値	-	
					実績値	3	実績値	-	実績値	-	実績値	-	
活動指標	心の教室相談員の年間勤務時間数	心の教室相談員が勤務し、生徒と関わった年間時間数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	時間	計画値	945	計画値	-	計画値	-	計画値	-	
					実績値	902	実績値	-	実績値	-	実績値	-	
成果指標	生徒1,000人当たりの不登校生徒数	生徒1,000人当たりの不登校生徒数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	28	計画値	-	計画値	-	計画値	-	
					実績値	31	実績値	-	実績値	-	実績値	-	
成果指標			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値		
					実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	20点 /25点	4点	20点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止						○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止						
理由	支援を必要とする児童生徒については、様々な要因を背景に抱えており、それぞれの状況や置かれていた立場をスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、心の教室相談員が理解し、専門性を生かした継続的な働き掛けが必要です。また、児童生徒が発するSOSを見逃さないように多方面からの視点で支援することも重要であり、健康福祉部子育て支援課など必要に応じて他の機関との連携を図っています。一人ひとりの学校生活をより充実したものにしていくため、引き続き相談体制の充実を図る必要があることから、H28年度以降は教育相談体制支援事業に統合して教育相談制度の充実を目指します。						少子化や核家族化の進行、共働き家庭の増加、急速な情報化の進展等、子どもたちを取り巻く社会の急激な変化により、子どものコミュニケーション能力の低下や、家庭や地域社会における教育力の低下などが大きな問題となっている。このような中、学校では、いじめや不登校、発達障害等への対応に加え、生活習慣の確立や児童虐待といった家庭生活等に起因する問題等への対応を余儀なくされている。こうした問題に適切に対応していくためには、教員とは異なる専門性や経験を有する専門的な人材を学校に配置し、教員と共にその専門性や経験を発揮する体制が求められている。 心の教室相談員は、教員でも保護者でもない第三者的な立場で児童生徒に接し、児童生徒との何気ない会話や交流から児童生徒の異変に気付いたり、悩みの相談へとつながるなど、児童生徒の相談相手として貴重な存在となっている。今後も、こうした人材を学校に配置し、教育相談体制づくりの充実を図り、様々な課題を抱える子どもに対してきめ細かな対応を行っていく必要がある。						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	生徒就学援助事業
-----	----------

担当課	学校教育課
-----	-------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	15	中学校費
目	10	教育振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 経済的理由により、就学が困難な生徒の家庭に対して、学校生活に要する費用の一部を援助する事業である。また、特別支援学級に在籍する生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力に応じて必要な援助を行う事業である。	経済的理由等により、就学が困難な生徒の保護者及び特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対し、負担能力等に応じた適切な援助を行う。	計画額	1,160	0	0	68,764	69,924	—	—
			当初予算額	644	0	0	32,522	33,166		
			決算額	313	0	0	15,026	15,339		
H27	就学援助費等として、該当の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学生徒学用品費、修学旅行費、校外活動費、医療費、給食費を支給した。	就学援助費支給要綱に基づき、対象者の認定及び援助費の支給を行ったほか、マイナンバー条例施行に伴い所要の要綱改正を行った。	計画額	290	0	0	17,191	17,481	0.1	0.0
			当初予算額	290	0	0	17,191	17,481		
			決算額	313	0	0	15,026	15,339		
H28	就学援助費等として、該当の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学生徒学用品費、修学旅行費、校外活動費、医療費、給食費を支給する。		計画額	290	0	0	17,191	17,481		
			当初予算額	354	0	0	15,331	15,685		
			決算額							
H29	就学援助費等として、該当の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学生徒学用品費、修学旅行費、校外活動費、医療費、給食費を支給する。		計画額	290	0	0	17,191	17,481		
			当初予算額							
			決算額							
H30	就学援助費等として、該当の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学生徒学用品費、修学旅行費、校外活動費、医療費、給食費を支給する。		計画額	290	0	0	17,191	17,481		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	就学援助費平均支給額	要保護及び準要保護児童生徒就学援助費の生徒1人当たり平均支給額(年間支給額÷受給者数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	千円	計画値	100	計画値	101	計画値	101	計画値	101	
					実績値	101	実績値		実績値		実績値		
	就学奨励費平均支給額	特別支援教育就学奨励費の生徒1人当たり平均支給額(年間支給額÷受給者数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	千円	計画値	51	計画値	47	計画値	47	計画値	47	
					実績値	47	実績値		実績値		実績値		
成果指標	就学援助費受給率	中学校の全生徒数のうち、就学援助費の支給を受けている者の割合(認定生徒数÷全生徒数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	12.0	計画値	12.0	計画値	12.0	計画値	12.0	
					実績値	11.6	実績値		実績値		実績値		
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値		
					実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	23点 /25点	4点	21点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	義務教育の円滑な実施を目的に、経済的理由により就学困難な生徒の保護者に対して、給食費や学用品の購入等に要する費用を継続的に支給する必要があるため、現在の支給水準を維持する必要があります。						経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者への支援については、学校教育法第19条の規定により、市町村において適切に実施されなければならないこととされている。また、子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、貧困の状況にある子どもが健やかに育成される環境を整備するとともに、教育の機会均等を図るため、子どもの貧困対策を総合的に推進することを目的に、子どもの貧困対策の推進に関する法律が施行され、同法第10条の規定により、地方公共団体は、就学の援助、学資の援助その他の貧困の状況にある子どもの教育に関する支援のために必要な施策を講ずるものとされている。これらの規定の趣旨を踏まえ、保護者の経済的な状況に応じた就学援助を適切に実施していく必要がある。						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	中学校教育振興事業
-----	-----------

担当課	学校教育課
-----	-------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	15	中学校費
目	10	教育振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	生徒の豊かな読書経験の機会を充実し、読書活動を推進するため、学校図書等の整備を行う事業である。また、観察・実験・体験等の活動を通じた基礎学力の向上を図るため、教育課程に対応した教材・教具の整備などを行う事業である。	学校図書及び教材備品の充実により、生徒の豊かな読書経験並びに基礎学力の向上に資する。	計画額	1,744	0	0	19,076	20,820	—	—
			当初予算額	432	0	0	9,279	9,711		
			決算額	400	0	530	4,725	5,655		
H27	学校図書及び教材備品等を計画的に整備した。教材備品の整備に際しては、国庫補助事業である理科教育振興補助事業等を活用した。また、運動部活動の競技力の向上を図るために地域で活躍するプロスポーツチームを招致したほか、老朽化した吹奏楽用楽器を計画的に更新した。	図書購入予算を増額し、学校図書の充実を図ったほか、理科教育振興補助事業等を活用し、教材備品の整備を行った。	計画額	432	0	0	4,725	5,157	0.2	0.0
			当初予算額	432	0	0	4,725	5,157		
			決算額	400	0	530	4,725	5,655		
H28	学校図書及び教材備品等を計画的に整備する。教材備品の整備に際しては、国庫補助事業である理科教育振興補助事業等を活用する。また、プロの指導者を招致すること等により部活動の競技力等の向上を図るとともに、老朽化した吹奏楽用楽器を計画的に更新する。		計画額	432	0	0	4,725	5,157		
			当初予算額	0	0	0	4,554	4,554		
			決算額							
H29	学校図書及び教材備品等を計画的に整備する。教材備品の整備に際しては、国庫補助事業である理科教育振興補助事業等を活用する。また、老朽化した吹奏楽用楽器を計画的に更新する。		計画額	440	0	0	4,813	5,253		
			当初予算額							
			決算額							
H30	学校図書及び教材備品等を計画的に整備する。教材備品の整備に際しては、国庫補助事業である理科教育振興補助事業等を活用する。また、老朽化した吹奏楽用楽器を計画的に更新する。		計画額	440	0	0	4,813	5,253		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	中学校1校当たりの図書購入額	中学校1校当たりの図書購入額 (図書購入額÷学校数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	千円	計画値	400	計画値	400	計画値	400	計画値	400
					実績値	500	実績値		実績値		実績値	
活動指標	中学校1校当たりの教材購入額	中学校1校当たりの教材購入額 (教材購入額÷学校数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	千円	計画値	1,000	計画値	1,000	計画値	1,000	計画値	1,000
					実績値	1,275	実績値		実績値		実績値	
成果指標	学校図書館図書標準の達成状況	学校図書館(中学校)における図書標準に定められた冊数に対する蔵書数の市全体の割合	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	130	計画値	130	計画値	130	計画値	130
					実績値	126	実績値		実績値		実績値	
成果指標			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
					実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	21点 /25点	4点	21点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)					二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					● 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	平成28年1月策定のさぬき市教育大綱において「読書のまち さぬき」として、読書を中心とした教育活動の充実を基本方針に掲げており、生徒が豊かな読書経験を積み、知的活動に関わることができる機会が増えるよう、学校図書の充実を図る必要があります。また、基礎学力の向上のため、教材備品の充実を図る必要があります。					児童生徒が読書に親しむ習慣を身に付け、確かな学力や豊かな人間性を育むためには、学校図書館の蔵書の整備、充実を図ることが必要である。また、学校で使われる各種の教材教具は、学習活動における教育効果を高め、児童生徒の基礎的・基本的な学習理解を助ける上で極めて重要であり、その充実は不可欠なものである。						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	人権同和教育指導者資質向上事業
-----	-----------------

担当課	人権推進課
-----	-------

記入日	平成28年5月16日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	20	人権教育費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容		事業費(千円)				担当職員数(人)		
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)
				国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27   H30	事業概要 人権・同和教育指導者に対する資質向上のため、研修会及び研究大会への参加支援をする。	学校教職員等の人権・同和教育指導者の資質向上のため、県内外で開催される研究大会への参加支援に取り組んでいる。	計画額	0	0	0	4,283	4,283	—	—
			当初予算額	0	0	0	2,601	2,601		
			決算額	0	0	0	814	814		
H27	各種研修会に参加し、人権意識・人権感覚を周知啓発した。 ・全国人権保育研究集会 ・四国地区人権教育研究大会 ・香川県就学前人権教育研究集会 ・全国人権・同和教育研究大会 ・全人教教育課題別研究会 ・さぬき市人権まなび講座先進地視察(隔年実施) 他	各種研修会・研究大会に参加し、人権・同和教育指導者に対する資質向上を図るとともに、先進的な事例研究を行うことで、人権感覚を磨きながら人権・同和教育の推進した。	計画額	0	0	0	1,073	1,073	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	1,073	1,073		
			決算額	0	0	0	814	814		
H28	具体的取組 各種研修会に参加し、人権意識・人権感覚を身につける。 ・全国人権保育研究集会 ・四国地区人権教育研究大会 ・香川県就学前人権教育研究集会 ・全国人権・同和教育研究大会 ・全人教教育課題別研究会 ・さぬき市人権まなび講座先進地視察(隔年実施) 他		計画額	0	0	0	1,070	1,070		
			当初予算額	0	0	0	1,528	1,528		
			決算額							
H29	各種研修会に参加し、人権意識・人権感覚を身につける。 ・全国人権保育研究集会 ・四国地区人権教育研究大会 ・香川県就学前人権教育研究集会 ・全国人権・同和教育研究大会 ・全人教教育課題別研究会 ・さぬき市人権まなび講座先進地視察(隔年実施) 他		計画額	0	0	0	1,070	1,070		
			当初予算額							
			決算額							
H30	各種研修会に参加し、人権意識・人権感覚を身につける。 ・全国人権保育研究集会 ・四国地区人権教育研究大会 ・香川県就学前人権教育研究集会 ・全国人権・同和教育研究大会 ・全人教教育課題別研究会 ・さぬき市人権まなび講座先進地視察(隔年実施) 他		計画額	0	0	0	1,070	1,070		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	人権・同和教育主任研修会開催回数	市内保・幼・小・中学校人権・同和教育主任に対する研修会開催回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	5	計画値	5	計画値	5	計画値	5
					実績値	5	実績値		実績値		実績値	
成果指標	人権・同和教育指導者資質向上研修会参加者数	人権・同和教育指導者に対する資質向上研修会参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	120	計画値	120	計画値	120	計画値	120
					実績値	114	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
評価	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	18点 /25点	4点	18点 /25点	4点	18点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点						3点
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点						4点
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	2点						2点
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点						5点
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	研修会・研修大会等開催参加事業と統合して、(仮称)「人権同和教育研修事業」に変更する方向で検討する。事業内容については、従来のとおり、人権・同和教育指導者の資質向上を目的とする研修会の開催や研究会の参加を支援するものである。						人権・同和教育は、修学前の教育により関心を持ってもらい、小・中・高と連携して行くことが重要である。そのためには、指導者として必要な人権意識や人権感覚を身につけることにより、差別のない社会の形成を実現するための資質向上が期待できる。事業統合に関しては、今後検討したい。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	人権同和教育支援事業
-----	------------

担当課	人権推進課
-----	-------

記入日	平成28年5月16日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	20	人権教育費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)	事業費(千円)				担当職員数(人)		
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)
				国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27   H30	学校、PTA及び各種研究団体における人権・同和教育事業に対し、活動を支援するとともに、じんけんフェスタinさぬきの開催により市民に対して幅広い啓発活動を行う。	人権同和教育における啓発活動を支援することにより、学校(園)での人権教育の推進を図り、各種差別に対する理解を深めるように促進する。	計画額	0	0	0	23,267	23,267	—	—
			当初予算額	0	0	0	11,762	11,762		
			決算額	0	0	0	5,500	5,500		
H27	学校教育及び社会教育を通じた人権・同和教育を推進した。 ・学校が主催する人権講演会等の活動支援 ・人権・同和教育研究グループの活動支援 ・さぬき市人権・同和教育研究協議会の支援 ・人権劇団「未来」の活動支援 ・じんけんフェスタinさぬきの開催	じんけんフェスタinさぬきを「辛立文化センター冬のつどい」と辛立文化センターにて同時開催し、イベント運営経費の削減及びより多くの参加を得ることできた。	計画額	0	0	0	5,867	5,867	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	5,867	5,867		
			決算額	0	0	0	5,500	5,500		
H28	学校教育及び社会教育を通じた人権・同和教育を推進する。 ・学校が主催する人権講演会等の活動支援 ・人権・同和教育研究グループの活動支援 ・さぬき市人権・同和教育研究協議会の支援 ・人権劇団「未来」の活動支援 ・じんけんフェスタinさぬきの開催		計画額	0	0	0	5,800	5,800		
			当初予算額	0	0	0	5,895	5,895		
			決算額							
H29	学校教育及び社会教育を通じた人権・同和教育を推進する。 ・学校が主催する人権講演会等の活動支援 ・人権・同和教育研究グループの活動支援 ・さぬき市人権・同和教育研究協議会の支援 ・人権劇団「未来」の活動支援 ・じんけんフェスタinさぬきの開催		計画額	0	0	0	5,800	5,800		
			当初予算額							
			決算額							
H30	学校教育及び社会教育を通じた人権・同和教育を推進する。 ・学校が主催する人権講演会等の活動支援 ・人権・同和教育研究グループの活動支援 ・さぬき市人権・同和教育研究協議会の支援 ・人権劇団「未来」の活動支援 ・じんけんフェスタinさぬきの開催		計画額	0	0	0	5,800	5,800		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	人権・同和教育支援団体数	人権・同和教育支援に係る支援団体数 幼稚園・小・中学校のPTA組織、その他団体3	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	団体	計画値 23	実績値 22	計画値 23	実績値	計画値 22	実績値	計画値 22	実績値	
	じんけんフェスタの開催	幼稚園、小・中学生による人権啓発活動の発表会を開催する	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回数	計画値 1	実績値 1	計画値 1	実績値	計画値 1	実績値	計画値 1	実績値	
成果指標	人権・同和教育支援団体の活動参加者数	人権・同和教育支援支援団体における実施事業の参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値 10,000	実績値 10,469	計画値 10,000	実績値	計画値 10,000	実績値	計画値 10,000	実績値	
	人権フェスタの参加者数	人権フェスタの参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値 1,500	実績値 1,700	計画値 1,500	実績値	計画値 1,500	実績値	計画値 1,500	実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	19点 /25点	4点	19点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由						理由							
人権・同和教育の啓発活動をこれまで以上に推進するには、各種団体の協力連携を行い既存する人権問題について、よりよい理解と認識を深められるようにする。ついては、人権に関する行事の企画運営を行い一層工夫・改善していく。						人権尊重する教育団体等を支援することにより、差別のない明るい社会の形成に努める必要があり、学校や園が実施する、人権映画・講演会の要望も年々増加している。また、PTAにも参加を依頼するなどして、親子で一緒に考える場を提供し、人権啓発に努めていく。							

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	人権・同和啓発事業
-----	-----------

担当課	人権推進課
-----	-------

記入日	平成28年5月16日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	20	人権教育費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容		事業費(千円)				担当職員数(人)			
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	人権・同和教育に対する啓発活動を行う。	幼・小・中学生から標語・作文・習字・硬筆・ポスターを募集し、作品集や展示を行うことにより、市民に対する人権啓発活動に活用している。	計画額	0	0	0	1,249	1,249	—	—	
				当初予算額	0	0	0	596			596
				決算額	0	0	0	222			222
H27	人権・同和教育に関する資料を市広報誌に掲載することや学校を通じて配布することで、啓発を行った。 ・広報誌掲載 ・人権・啓発資料学校配布 ・人権・同和啓発作品募集・展示・文集作成配布	作品を市役所や各支所等に展示することにより、多くの市民が身近に人権問題を感じてもらえる機会を提供した。	計画額	0	0	0	319	319	0.2	0.0	
				当初予算額	0	0	0	319			319
				決算額	0	0	0	222			222
H28	人権・同和教育に関する資料を市広報誌に掲載することや学校を通じて配布することで、啓発を行う。 ・広報誌掲載 ・人権・啓発資料学校配布 ・人権・同和啓発作品募集・展示・文集作成配布		計画額	0	0	0	310	310			
				当初予算額	0	0	0	277			277
				決算額							
H29	人権・同和教育に関する資料を市広報誌に掲載することや学校を通じて配布することで、啓発を行う。 ・広報誌掲載 ・人権・啓発資料学校配布 ・人権・同和啓発作品募集・展示・文集作成配布		計画額	0	0	0	310	310			
				当初予算額							
				決算額							
H30	人権・同和教育に関する資料を市広報誌に掲載することや学校を通じて配布することで、啓発を行う。 ・広報誌掲載 ・人権・啓発資料学校配布 ・人権・同和啓発作品募集・展示・文集作成配布		計画額	0	0	0	310	310			
				当初予算額							
				決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	幼・小・中学校への依頼回数	人権・同和啓発作品簿募集・展示・文集作成配布回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 4	実績値 4	計画値 4	実績値	計画値 4	実績値	計画値 4	実績値	
	広報「さめき」掲載回数	広報「さめき」に『人権教育シリーズ』を掲載した回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 12	実績値 12	計画値 12	実績値	計画値 12	実績値	計画値 12	実績値	
成果指標	人権・同和教育作品応募数	幼・小・中学生から応募があった作品数(標語・作文・習字・硬筆・ポスター)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	点	計画値 300	実績値 223	計画値 300	実績値	計画値 300	実績値	計画値 300	実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	16点 /25点	4点		17点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	2点		2点			
5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点	4点					
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充    ● 現状維持    ○ 要改善    ○ 抜本的見直し    ○ 統合・廃止						○ 拡充    ● 現状維持    ○ 要改善    ○ 抜本的見直し    ○ 統合・廃止						
理由						<p>人権同和問題について、さらなる普及活動を実践する。 また、本事業と人権同和教育支援事業の統合についても検討したい。</p> <p>新聞・雑誌の購入などにより、常に情報の収集に努めるとともに、人権意識を高め、業務に反映する。 また、人権作文集製作に関しては増刷要望があるなど、事業効果が認められるため今後も継続していきたい。事業統合に関しては、今後検討していきたい。</p>							

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	学校給食事業
-----	--------

担当課	学校教育課
-----	-------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	35	保健体育費
目	45	学校給食費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 全ての市立幼稚園、小中学校に安全でおいしい学校給食を提供し、食育の推進を図るため、学校給食共同調理場を管理運営する事業である。	市内の幼稚園・小学校・中学校に安全でおいしい給食を提供し、食育の推進を図ることを目的とする。	計画額	0	0	880,929	384,531	1,265,460	—	—
			当初予算額	0	0	471,299	229,219	700,518		
			決算額	0	0	215,742	94,573	310,315		
H27	2か所の共同調理場において、年間約200日・1日約4,600食の学校給食の調理、提供を行った。また、老朽化した施設設備を計画的に整備するため、大川調理場においてコンベクションオープン更新や空調設備の増設を、志度調理場において食器・食缶洗浄機の一部の更新を行った。	・計画していた大型調理機等の更新を行い、調理の効率化を図った。	計画額	0	0	223,929	96,531	320,460	13.5	0.0
			当初予算額	0	0	223,929	96,531	320,460		
			決算額	0	0	215,742	94,573	310,315		
H28	2か所の共同調理場において、年間約200日・1日約4,400食の学校給食の調理、提供を行う。また、老朽化した施設設備を計画的な整備を行う。		計画額	0	0	220,000	96,000	316,000		
			当初予算額	0	0	247,370	132,688	380,058		
			決算額							
H29	2か所の共同調理場において、年間約200日・1日約4,300食の学校給食の調理、提供を行う。また、老朽化した施設設備の計画的な整備を行う。		計画額	0	0	219,000	96,000	315,000		
			当初予算額							
			決算額							
H30	2か所の共同調理場において、年間約200日・1日約4,200食の学校給食の調理、提供を行う。また、老朽化した施設設備の計画的な整備を行う。		計画額	0	0	218,000	96,000	314,000		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	給食実施日数	年間の給食実施日数(調理場の稼働日数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	日	計画値 202	実績値 202	計画値 203	実績値	計画値 202	実績値	計画値 202	実績値	
	1日当たりの調理食数	2か所の調理場における5月1日現在の1日当たりの調理食数の合計数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	食	計画値 4,588	実績値 4,588	計画値 4,386	実績値	計画値 4,300	実績値	計画値 4,222	実績値	
成果指標	地場産物使用率	学校給食に使用した食品総数に占める、県内産の食品数の割合	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値 31	実績値 31	計画値 32	実績値	計画値 32	実績値	計画値 33	実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	18点 /25点	5点	20点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		4点			
5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点	3点					
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	今後市内2つある調理場運営の方法、及び正規職員の退職による減少と、臨時職員の増加による将来的な職員体制の見直しも必要と考えます。						学校給食は、栄養バランスのとれた食事を提供し、健康の増進、体力の向上を図るとともに、食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で、重要な役割を果たしており、安全で確実に業務を実施する必要がある。また、地場産物の活用や郷土料理の導入などを進めながら、学校給食を「生きた教材」として活用することで、学校給食を通じた食育の推進を図る必要がある。なお、中長期的な視点に立ち、調理場の職員体制の在り方を含めた運営方法の見直しについて、検討を進める必要がある。						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	大川学校給食事業
-----	----------

担当課	学校教育課
-----	-------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	35	保健体育費
目	45	学校給食費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 大川共同調理場管内の幼稚園、小中学校に1日約3,000食の給食を実施するために必要な臨時調理員等を雇用する事業である。	大川調理場管内の幼稚園・小中学校に安全でおいしい給食を提供する。	計画額	0	0	0	45,692	45,692	—	—
			当初予算額	0	0	0	45,692	45,692		
			決算額	0	0	0	39,976	39,976		
H27	調理員17人、運転手5人計23人の臨時職員を雇用した。	調理や事務に支障を来すことなく、給食を提供できた。	計画額	0	0	0	45,692	45,692	0.3	22.0
			当初予算額	0	0	0	45,692	45,692		
			決算額	0	0	0	39,976	39,976		
H28	※H28年度から学校給食事業に統合		計画額							
			当初予算額							
			決算額							
H29	具体的取組		計画額							
			当初予算額							
			決算額							
H30			計画額							
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	臨時職員数	調理、配送に必要な臨時職員の人数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	23	計画値	-	計画値	-	計画値	-
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	23	実績値	-	実績値	-	実績値	-
成果指標	給食業務に支障を来した日数	臨時職員の雇用や配置に起因して、給食の調理や配送に支障を来した日数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	日	計画値	0	計画値	-	計画値	-	計画値	-
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	0	実績値	-	実績値	-	実績値	-
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	18点 /25点	5点	20点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止						○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止					
理由												
平成28年度から学校給食事業に統合。人員数の見直しを含め、調理員等の資質向上を図る必要があります。						学校給食業務を確実に運営するため、調理、配送業務に携わる臨時職員を適切に雇用する必要がある。						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	志度学校給食事業
-----	----------

担当課	学校教育課
-----	-------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	35	保健体育費
目	45	学校給食費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 志度共同調理場管内の幼稚園、小中学校に1日約1,700食の給食を実施するために必要な臨時調理員等を雇用する事業である。	志度調理場管内の幼稚園・小学校・中学校に安全で・おいしい給食を提供する。	計画額	0	0	0	24,775	24,775	—	—
			当初予算額	0	0	0	24,775	24,775		
			決算額	0	0	0	23,036	23,036		
H27	調理員12人、事務職員1人計13人の臨時職員を雇用した。	調理や事務に支障を来すことなく、給食を提供できた。	計画額	0	0	0	24,775	24,775	0.3	13.0
			当初予算額	0	0	0	24,775	24,775		
			決算額	0	0	0	23,036	23,036		
H28	※H28年度から学校給食事業に統合		計画額							
			当初予算額							
			決算額							
H29	具体的取組		計画額							
			当初予算額							
			決算額							
H30			計画額							
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	臨時職員数	調理、事務に必要な臨時職員の人数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	13	計画値	-	計画値	-	計画値	-	
					実績値	13	実績値	-	実績値	-	実績値	-	
成果指標	給食業務に支障を来した日数	臨時職員の雇用や配置に起因して、給食の調理や事務に支障を来した日数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	日	計画値	0	計画値	-	計画値	-	計画値	-	
					実績値	0	実績値	-	実績値	-	実績値	-	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値		
					実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	18点 /25点	5点	20点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止						○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止						
理由													
平成28年度から学校給食事業に統合。人員数の見直しを含め、調理員等の資質向上を図る必要があります。						学校給食業務を確実に運営するため、調理、事務に携わる臨時職員を適切に雇用する必要がある。							

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	教育相談体制支援事業
-----	------------

担当課	学校教育課
-----	-------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	①	①「生きる力」を育む学校教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	05	教育総務費
目	10	事務局費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	児童生徒、保護者や教職員に対する相談活動に応じ、学校における教育相談体制の整備を図るため、スクールソーシャルワーカー、心の教室相談員及びスクールカウンセラーを派遣、配置する。	専門的な立場から児童生徒、保護者や教職員からの相談に応じ、支援を行うことにより、児童生徒の問題行動の未然防止、早期発見及び早期解決を図る。	計画額	13,248	0	0	14,526	27,774	—	—
			当初予算額	4,458	0	0	7,166	11,624		
			決算額							
H27	※H28年度から学校問題支援アドバイザー配置事業、心の教室相談員設置事業、スクールカウンセラー配置事業を本事業に一本化。		計画額						-	-
			当初予算額							
			決算額							
H28	・嘱託のスクールソーシャルワーカー3人を小中学校に派遣 ・児童生徒の身近な相談に応じる心の教室相談員を小中学校に配置 ・スクールカウンセラーを県から小中学校に派遣(12学級以上の小学校への追加派遣分に対し負担金を支出)		計画額	4,416	0	0	4,842	9,258		
			当初予算額	4,458	0	0	7,166	11,624		
			決算額							
H29	・嘱託のスクールソーシャルワーカー3人を小中学校に派遣 ・児童生徒の身近な相談に応じる心の教室相談員を小中学校に配置 ・スクールカウンセラーを県から小中学校に派遣(12学級以上の小学校への追加派遣分に対し負担金を支出)		計画額	4,416	0	0	4,842	9,258		
			当初予算額							
			決算額							
H30	・嘱託のスクールソーシャルワーカー3人を小中学校に派遣 ・児童生徒の身近な相談に応じる心の教室相談員を小中学校に配置 ・スクールカウンセラーを県から小中学校に派遣(12学級以上の小学校への追加派遣分に対し負担金を支出)		計画額	4,416	0	0	4,842	9,258		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動 指標	スクールソーシャルワーカーの配置校数	スクールソーシャルワーカーを派遣した学校数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	校	計画値	-	計画値	12	計画値	11	計画値	11	
	心の教室相談員の年間勤務時間数	心の教室相談員が勤務し、児童と関わった年間時間数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	時間	計画値	-	計画値	1,724	計画値	1,724	計画値	1,724	
成果 指標	スクールソーシャルワーカーが支援した児童生徒のうち問題が好転及び解決した割合	支援の対象となった児童生徒数のうち問題が解決及び支援中であるが好転した児童	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	-	計画値	小学生40.0 中学生30.0	計画値	小学生40.0 中学生30.0	計画値	小学生40.0 中学生30.0	
	児童生徒1,000人当たりの不登校児童生徒数	児童生徒1,000人当たりの不登校児童生徒数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	-	計画値	小学生1.5 中学生28.0	計画値	小学生1.5 中学生28.0	計画値	小学生1.5 中学生28.0	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	22点 /25点	5点	22点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点	5点					
一次評価(担当者)						二次評価(所属長)							
方向性	○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						● 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
今後の方向性 理由	支援を必要とする児童生徒については、様々な要因を背景に抱えており、それぞれの状況や置かれている立場をスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、心の教室相談員が理解し、専門性を生かした継続的な働き掛けが必要です。また、児童生徒が発するSOSを見逃さないように多方面からの視点で支援することも重要であり、健康福祉部子育て支援課など必要に応じて他の機関との連携を図っています。一人ひとりの学校生活をより充実したものにしていくため、引き続き相談体制の充実を図る必要があります。						少子化や核家族化の進行、共働き家庭の増加、急速な情報化の進展等、子どもたちを取り巻く社会の急激な変化により、子どものコミュニケーション能力の低下や、家庭や地域社会における教育力の低下などが大きな問題となっている。このような中、学校では、いじめや不登校、発達障害等への対応に加え、生活習慣の確立や児童虐待といった家庭生活等に起因する問題への対応を余儀なくされている。こうした問題に適切に対応していくためには、教員とは異なる専門性や経験を有する専門的な人材を学校に配置し、教員と共にその専門性を発揮する体制が求められている。 このため、教育と福祉の両面に関して専門的な知識・技術を有するスクールソーシャルワーカーや、学校において児童生徒の身近な相談相手となる心の教室相談員、臨床心理の専門家であるスクールカウンセラーを学校に派遣し、教育相談体制づくりの充実を図り、様々な課題を抱える子どもに対してきめ細かな対応を行っていく必要がある。						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	児童就学援助事業
-----	----------

担当課	学校教育課
-----	-------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	②	②就学前教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	10	小学校費
目	10	教育振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 経済的理由により、就学が困難な児童の家庭に対して、学校生活に要する費用の一部を援助する事業である。また、特別支援学級に在籍する児童の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力に応じて必要な援助を行う事業である。	経済的理由により就学困難な児童の保護者に対して、就学援助費を支給することにより、就学を支援し、もって義務教育の円滑な実施に資する。	計画額	1,336	0	0	62,128	63,464	—	—
			当初予算額	1,051	0	0	31,764	32,815		
			決算額	636	0	0	13,815	14,451		
H27	就学援助費等として、該当の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学児童学用品費、修学旅行費、校外活動費、医療費、給食費を支給した。	就学援助費支給要綱に基づき、対象者の認定及び援助費の支給を行ったほか、マイナンバー条例施行に伴い所要の要綱改正を行った。	計画額	334	0	0	15,532	15,866	0.1	0.0
			当初予算額	334	0	0	15,532	15,866		
			決算額	636	0	0	13,815	14,451		
H28	具体的取組 就学援助費等として、該当の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学児童学用品費、修学旅行費、校外活動費、医療費、給食費を支給する。		計画額	334	0	0	15,532	15,866		
			当初予算額	717	0	0	16,232	16,949		
			決算額							
H29			計画額	334	0	0	15,532	15,866		
			当初予算額							
			決算額							
H30			計画額	334	0	0	15,532	15,866		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	就学援助費平均支給額	要保護及び準要保護児童生徒就学援助費の児童1人当たり平均支給額(年間支給額÷受給者数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	千円	計画値	68	計画値	68	計画値	68	計画値	68
					実績値	66	実績値		実績値		実績値	
活動指標	就学奨励費平均支給額	特別支援教育就学奨励費の児童1人当たり平均支給額(年間支給額÷受給者数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	千円	計画値	32	計画値	32	計画値	32	計画値	32
					実績値	33	実績値		実績値		実績値	
成果指標	就学援助費受給率	小学校の全児童数のうち、就学援助費の支給を受けている者の割合(認定児童数÷全児童数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	8.0	計画値	8.0	計画値	8.0	計画値	8.0
					実績値	8.3	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		5点	23点 /25点	4点	21点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		5点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	義務教育の円滑な実施を目的に、経済的理由により就学困難な児童の保護者に対して、給食費や学用品の購入等に要する費用を継続的に支給する必要があるため、現在の支給水準を維持する必要があります。						経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者への支援については、学校教育法第19条の規定により、市町村において適切に実施されなければならないこととされている。また、子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、貧困の状況にある子どもが健やかに育成される環境を整備するとともに、教育の機会均等を図るため、子どもの貧困対策を総合的に推進することを目的に、子どもの貧困対策の推進に関する法律が施行され、同法第10条の規定により、地方公共団体は、就学の援助、学資の援助その他の貧困の状況にある子どもの教育に関する支援のために必要な施策を講ずるものとされている。これらの規定の趣旨を踏まえ、保護者の経済的な状況に応じた就学援助を適切に実施していく必要がある。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	私立幼稚園補助事業
-----	-----------

担当課	子育て支援課幼保連携推進室
-----	---------------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	②	②就学前教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	20	幼稚園費
目	05	幼稚園管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 私立幼稚園に通う園児を持つ保護者の所得状況に応じて、経済的負担を軽減し、幼稚園への就園機会の拡充を図ることを目的に幼稚園の保育料等の軽減措置を講じる事業である。	私立幼稚園に通う園児を持つ保護者の所得状況に応じて、経済的負担を軽減し、幼稚園への就園機会の拡充を図る。	計画額	4,068	0	0	13,527	17,595	—	—
			当初予算額	1,369	0	0	4,521	5,890		
			決算額							
H27	※学校教育課から移管。		計画額						-	-
			当初予算額							
			決算額							
H28	具体的取組 世帯の所得や兄弟(姉妹)の状況に応じて保育料及び入園料を減免し、保護者の経済的負担の軽減を行なった私立幼稚園設置者に対し、幼稚園就園奨励費補助金を交付する。		計画額	1,356	0	0	4,509	5,865		
			当初予算額	1,369	0	0	4,521	5,890		
			決算額							
H29	世帯の所得や兄弟(姉妹)の状況に応じて保育料及び入園料を減免し、保護者の経済的負担の軽減を行なった私立幼稚園設置者に対し、幼稚園就園奨励費補助金を交付する。		計画額	1,356	0	0	4,509	5,865		
			当初予算額							
			決算額							
H30	世帯の所得や兄弟(姉妹)の状況に応じて保育料及び入園料を減免し、保護者の経済的負担の軽減を行なった私立幼稚園設置者に対し、幼稚園就園奨励費補助金を交付する。		計画額	1,356	0	0	4,509	5,865		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	補助対象園児数	私立幼稚園通園児童のうち負担軽減対象園児数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	41	計画値	41	計画値	41	計画値	41	
					実績値	41	実績値		実績値		実績値		
成果指標	対象園児一人当たりの負担軽減金額	対象園児一人当たりの負担経費金額(補助金支出総額÷対象園児数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	千円	計画値	143	計画値	143	計画値	143	計画値	143	
					実績値	129	実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	18点 /25点	4点	20点 /25点				
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点				4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点				4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点				4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点				4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
	私立幼稚園に通う園児を持つ保護者の所得状況に応じて、経済的負担を軽減し、幼稚園への就園機会の拡充を図ることを目的に幼稚園の保育料等の軽減措置を講じる事業であり、継続して実施する必要があります。						私立幼稚園に通う園児のいる保護者に対し、所得状況に応じ、保育料等の軽減措置を講じて経済的な負担を軽減することにより、公私立幼稚園間の保護者負担の格差を是正し、かつ、幼稚園への就園機会の拡充を図るものである。国においても、幼児教育の振興を図る観点から、低所得世帯や多子世帯の負担軽減のため国庫補助(所要経費の3分の1程度)が行われており、こうした制度を活用しながら事業を実施する必要がある。						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	私立幼稚園補助事業
-----	-----------

担当課	学校教育課
-----	-------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	②	②就学前教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	20	幼稚園費
目	05	幼稚園管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 私立幼稚園に通う園児を持つ保護者の所得状況に応じて、経済的負担を軽減し、幼稚園への就園機会の拡充を図ることを目的に幼稚園の保育料等の軽減措置を講じる事業である。	私立幼稚園に通う園児を持つ保護者の所得状況に応じて、経済的負担を軽減し、幼稚園への就園機会の拡充を図る。	計画額	1,250	0	0	4,615	5,865	—	—
			当初予算額	1,250	0	0	4,615	5,865		
			決算額	1,553	0	0	3,755	5,308		
H27	世帯の所得や兄弟(姉妹)の状況に応じて保育料及び入園料を減免し、保護者の経済的負担の軽減を行なった私立幼稚園設置者に対し、幼稚園就園奨励費補助金を交付した。	・国の就園奨励費補助基準の改定に伴い、国の基準に沿った補助を実施できるよう要綱の一部改正を行った。	計画額	1,250	0	0	4,615	5,865	0.2	0.0
			当初予算額	1,250	0	0	4,615	5,865		
			決算額	1,553	0	0	3,755	5,308		
H28	※H28年度から幼保連携推進室へ事業移管		計画額							
			当初予算額							
			決算額							
H29	具体的取組		計画額							
			当初予算額							
			決算額							
H30			計画額							
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	補助対象園児数	私立幼稚園通園児童のうち負担軽減対象園児数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	41	計画値	-	計画値	-	計画値	-
					実績値	41	実績値	-	実績値	-	実績値	-
成果指標	対象園児一人当たりの負担軽減金額	対象園児一人当たりの負担経費金額(補助金支出総額÷対象園児数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	千円	計画値	143	計画値	-	計画値	-	計画値	-
					実績値	129	実績値	-	実績値	-	実績値	-
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
評価	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	18点 /25点	4点	20点 /25点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点				4点		
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点				4点		
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点				4点		
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点				4点		
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)							
	○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止				○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止							
理由	私立幼稚園に通う園児を持つ保護者の所得状況に応じて、経済的負担を軽減し、幼稚園への就園機会の拡充を図ることを目的に幼稚園の保育料等の軽減措置を講じる事業であり、継続して実施する必要があることから、H28年度から幼保連携推進室に事業移管して幼保一体となった運用を目指します。				私立幼稚園に通う園児のいる保護者に対し、所得状況に応じ、保育料等の軽減措置を講じて経済的な負担を軽減することにより、公私立幼稚園間の保護者負担の格差を是正し、かつ、幼稚園への就園機会の拡充を図るものである。国においても、幼児教育の振興を図る観点から、低所得世帯や多子世帯の負担軽減のため国庫補助(所要経費の3分の1程度)が行われており、こうした制度を活用しながら事業を実施する必要がある。							

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	幼稚園施設整備事業
-----	-----------

担当課	教育総務課
-----	-------

記入日	平成28年5月18日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	②	②就学前教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	20	幼稚園費
目	05	幼稚園管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30 事業概要	幼稚園施設の適正・効率的な整備を行い、良好な教育環境の維持を図る。	幼稚園施設の危険箇所、破損箇所等を聞き取りや現場確認により把握し、工事、修繕を行うことで、施設の環境改善、安全確保を図る。	計画額	0	0	0	27,988	27,988	—	—
			当初予算額	0	0	0	14,035	14,035		
			決算額	0	0	0	6,018	6,018		
H27	主に幼稚園施設の改修工事及び営繕工事を実施した。	緊急性の高い箇所については、優先的に改修・修繕工事を実施し、教育環境の改善及び園児の安全確保に努めた。	計画額	0	0	0	4,988	4,988	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	4,988	4,988		
			決算額	0	0	0	6,018	6,018		
H28 具 体的 取 組	主に幼稚園施設の改修工事及び営繕工事を実施する。		計画額	0	0	0	6,000	6,000		
			当初予算額	0	0	0	9,047	9,047		
			決算額							
H29	主に幼稚園施設の改修工事及び営繕工事を行う経費である。		計画額	0	0	0	8,000	8,000		
			当初予算額							
			決算額							
H30	主に幼稚園施設の改修工事及び営繕工事を行う経費である。		計画額	0	0	0	9,000	9,000		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	修繕件数	劣化又は故障した施設・設備の効用を回復させた修繕及び工事の件数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	16	計画値	16	計画値	24	計画値	24
					実績値	27	実績値		実績値		実績値	
成果指標	施設・設備の危険箇所数	聞き取りや現場確認により把握した施設・設備の危険箇所数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	箇所	計画値	0	計画値	0	計画値	0	計画値	0
					実績値	4	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	20点 /25点	4点	21点 /25点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点						
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点						
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点						
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点						
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止					
理由	幼稚園の中には老朽化が進んでいる施設も多く、安全性の確保と適正な維持管理を継続して行っていくためには、計画的な工事、修繕等が必要である。また、幼稚園からの修繕要望等は年々増加傾向にあり、事業の拡充が必要である。						施設は年数の経過に伴い、確実に老朽化への道を辿っていることから、そのための維持修繕は必要不可欠であり、今後においても計画的に教育環境の保全及び園児の安全確保に努めていかなければならないと考える。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	幼稚園施設管理事業(教育総務課分)
-----	-------------------

担当課	教育総務課
-----	-------

記入日	平成28年5月18日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	②	②就学前教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	20	幼稚園費
目	05	幼稚園管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 公立幼稚園8園の運営及び施設の維持管理を行う事業である。	事務の効率化及び施設の定期点検による安全確保等を図る。	計画額	0	0	1,941	25,985	27,926	—	—
			当初予算額	67	0	2,722	9,278	12,067		
			決算額	0	0	0	5,646	5,646		
H27	市立各幼稚園の運営に必要な事務機器借上及び施設の維持管理に必要な機器保守点検、土地借上等を実施した。	保守点検結果に基づいた修繕等により施設の安全性が確保された。	計画額	0	0	1,541	4,765	6,306	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	1,571	4,765	6,336		
			決算額	0	0	0	5,646	5,646		
H28	具体的取組 市立各幼稚園の運営に必要な事務機器借上及び施設の維持管理に必要な機器保守点検、土地借上等を実施する。		計画額	0	0	0	7,420	7,420		
			当初予算額	67	0	1,151	4,513	5,731		
			決算額							
H29	市立各幼稚園の運営に必要な事務機器借上料等及び施設の維持管理に必要な機器保守点検経費、土地借上料その他の費用である。		計画額	0	0	183	7,517	7,700		
			当初予算額							
			決算額							
H30	市立各幼稚園の運営に必要な事務機器借上料等及び施設の維持管理に必要な機器保守点検経費、土地借上料その他の費用である。		計画額	0	0	217	6,283	6,500		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	保守点検回数	施設の安全性を確保するために行った保守点検の回数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	36	計画値	36	計画値	36	計画値	36
					実績値	36	実績値		実績値		実績値	
成果指標	施設・設備の危険箇所数	聞き取りや現場確認により把握した施設・設備の危険箇所数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	箇所	計画値	0	計画値	0	計画値	0	計画値	0
					実績値	4	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		3点	19点 /25点	4点		21点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		3点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		5点		5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
	理由						理由					
	幼稚園施設の安全確保と適正な維持管理を行うために必要である。						施設の安全性を確保するためには、年間を通じての維持管理に努めていく必要があるが、それに伴う経費については必要性も精査しながら取り組んでいきたいと考える。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	幼稚園施設管理事業(幼保連携推進室分)
-----	---------------------

担当課	子育て支援課幼保連携推進室
-----	---------------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	②	②就学前教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	20	幼稚園費
目	05	幼稚園管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	市立幼稚園の運営及び施設の維持管理を行う事業である。	基本施策である「主体性・創造性・生きがいを育む教育・文化のまちづくり」の達成に向けて、教育環境の整備と教育内容の充実を図る。	計画額	0	0	74,151	206,040	280,191	—	—
			当初予算額	0	0	24,717	72,915	97,632		
			決算額							
H27	※学校保健関係予算を除き、学校教育課から移管。		計画額						-	-
			当初予算額							
			決算額							
H28	幼稚園8園の運営及び施設の維持管理		計画額	0	0	24,717	68,680	93,397		
			当初予算額	0	0	24,717	72,915	97,632		
			決算額							
H29	幼稚園8園の運営及び施設の維持管理		計画額	0	0	24,717	68,680	93,397		
			当初予算額							
			決算額							
H30	幼稚園8園の運営及び施設の維持管理		計画額	0	0	24,717	68,680	93,397		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値		計画値		計画値		計画値		
活動 指標	幼稚園数	市立幼稚園の数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	園	計画値	8	計画値	8	計画値	8	計画値	8	
	研究指定事業に取り組む幼稚園数	国・県・市等の指定を受け、授業研究等に取り組む延べ幼稚園数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		園	計画値	3	計画値	3	計画値	3	計画値	3
成果 指標	園児一人当たりの幼稚園運営及び施設管理経費	幼稚園運営及び施設管理に係る経費(事業費決算額÷園児数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	千円	計画値	163	計画値	163	計画値	163	計画値	163	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略			計画値		計画値		計画値		計画値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	21点 /25点	5点	22点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点	5点					
今後の 方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ● 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	幼稚園の運営及び施設の維持管理を適切に行い、基本施策である「主体性・創造性・生きがいを育む教育・文化のまちづくり」の達成に向けて、教育環境の整備と教育内容の充実を図る必要があります。						幼児期の教育においては、その後の義務教育や生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであることを踏まえ、豊かな心や意欲・態度など「生きる力」の基礎を育むため、保護者や地域の協力を得ながら、幼児教育内容の充実を図る必要がある。また、そのためには、幼稚園における良好な教育環境を整備するとともに、その維持管理を適切に行っていく必要がある。						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	幼稚園施設管理事業(学校教育課分)
-----	-------------------

担当課	学校教育課
-----	-------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	②	②就学前教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	20	幼稚園費
目	05	幼稚園管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 市立幼稚園の運営及び施設の維持管理を行う事業である。	基本施策である「主体性・創造性・生きがいを育む教育・文化のまちづくり」の達成に向けて、教育環境の整備と教育内容の充実を図る。	計画額	0	0	98,868	274,720	373,588	—	—
			当初予算額	0	0	24,717	72,708	97,425		
			決算額	100	0	27,950	54,863	82,913		
H27	・幼稚園8園の運営及び施設の維持管理 ・研究指定による授業等研究(県学力向上モデル校事業1園、県幼児教育研究発表園1園、県人権・同和教育研究大会報告園1園)	・さぬき南幼稚園が県の学力向上モデル校事業(幼小連携実践研究)の指定を受け、研究に取り組んだ。 ※H28年度から学校保健関係予算を除き「幼保連携推進室」に移管する。	計画額	0	0	24,717	68,680	93,397	40.9	24.0
			当初予算額	0	0	24,717	68,680	93,397		
			決算額	100	0	27,950	54,863	82,913		
H28	具体的取組 幼稚園8園の運営及び施設の維持管理		計画額	0	0	24,717	68,680	93,397		
			当初予算額	0	0	0	4,028	4,028		
			決算額							
H29	幼稚園8園の運営及び施設の維持管理		計画額	0	0	24,717	68,680	93,397		
			当初予算額							
			決算額							
H30	幼稚園8園の運営及び施設の維持管理		計画額	0	0	24,717	68,680	93,397		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動 指標	幼稚園数	市立幼稚園の数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	園	計画値	8	計画値	8	計画値	8	計画値	8
	研究指定事業に取り組む幼稚園数	国・県・市等の指定を受け、授業研究等に取り組む延べ幼稚園数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		園	計画値	3	計画値	3	計画値	3	計画値
成果 指標	園児一人当たりの幼稚園運営及び施設管理経費	幼稚園運営及び施設管理に係る経費(事業費決算額÷園児数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	千円	計画値	163	計画値	163	計画値	163	計画値	163
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略			計画値		計画値		計画値		計画値
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	21点 /25点	5点	22点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点	5点					
一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
方向性	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
今後の方向性 理由	幼稚園の運営及び施設の維持管理を適切に行い、基本施策である「主体性・創造性・生きがいを育む教育・文化のまちづくり」の達成に向けて、教育環境の整備と教育内容の充実を図る必要があります。						幼児期の教育においては、その後の義務教育や生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであることを踏まえ、豊かな心や意欲・態度など「生きる力」の基礎を育むため、保護者や地域の協力を得ながら、幼児教育内容の充実を図る必要がある。また、そのためには、幼稚園における良好な教育環境を整備するとともに、その維持管理を適切に行っていく必要がある。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	幼稚園預かり保育事業
-----	------------

担当課	学校教育課
-----	-------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	②	②就学前教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	20	幼稚園費
目	05	幼稚園管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 少子高齢化の中、地域の実態や保護者ニーズに応じて、家庭と連携した子育て支援を図るため、通常の教育時間終了後及び長期休業期間中に幼稚園の責任の下、預かり保育を実施する事業である。	少子高齢化の中、地域の実態や保護者ニーズに応じて、家庭と連携した子育て支援を図るため、通常の教育時間終了後及び長期休業期間中に幼稚園の責任の下、預かり保育を実施する事業である。	計画額	0	0	8,538	3,079	11,617	—	—
			当初予算額	0	0	8,538	3,079	11,617		
			決算額	0	0	9,507	148	9,655		
H27	保護者のニーズに応じた子育て支援の一環として、預かり保育指導員を雇用し、幼稚園教育時間の終了後、預かり保育を実施した。	・降園時間が30分繰り上げられたことに伴い、各園で午睡の時間を確保するなど、預かり保育環境の改善を図った。	計画額	0	0	8,538	3,079	11,617	0.5	10.0
			当初予算額	0	0	8,538	3,079	11,617		
			決算額	0	0	9,507	148	9,655		
H28	※H28年度から幼保連携推進室へ事業移管		計画額							
			当初予算額							
			決算額							
H29	具体的取組		計画額							
			当初予算額							
			決算額							
H30			計画額							
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	預かり保育指導員数	預かり保育に携わる臨時職員(預かり保育指導員)の数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	9	計画値	-	計画値	-	計画値	-
					実績値	12	実績値	-	実績値	-	実績値	-
成果指標	預かり保育利用人数	預かり保育を利用した園児数 年間:140人 一時:45人	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	200	計画値	-	計画値	-	計画値	-
					実績値	185	実績値	-	実績値	-	実績値	-
評価	チェック項目(1~5点で評価)					一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	19点 /25点	4点	20点 /25点		
	2. 市民満足の上昇が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)					二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止					○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止						
理由	降園後に保育をする者がいない世帯の園児を対象に、幼稚園管理下での預かり保育を実施することにより、園児の健やかな成長の確保と保護者の子育て支援を図るものです。今後も、核家族化等の進展により、保護者の子育てへの不安や孤立感が高まる中、子育て支援の一環として、地域の実態や保護者のニーズに応じるため、通常の教育時間終了後や長期休業期間中に、預かり保育を継続していく必要があることから、H28年度から幼保連携推進室に事業移管して幼保一体となった運用を目指します。					核家族化の進展や共働き家庭の増加により、子育てへの不安や孤立感を有する保護者が増加している中、就労しているが、子どもを幼稚園に通わせ、幼児教育を受けさせたいという保護者のニーズに応えるため、幼稚園での預かり保育は、子育て支援の一環として必要な施策となっている。また、単に子どもを預かるだけではなく、養育的な機能を重視しつつ、通常の教育課程の延長として子どもの発達段階に応じた遊びや生活を通じ、保護者と共に子どもの育ちを支援していく場であるという点でも、大きな意義を有している。						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	幼稚園預かり保育事業
-----	------------

担当課	子育て支援課幼保連携推進室
-----	---------------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	②	②就学前教育の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	20	幼稚園費
目	05	幼稚園管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 少子高齢化の中、地域の実態や保護者ニーズに応じて、家庭と連携した子育て支援を図るため、通常教育時間終了後及び長期休業期間中に幼稚園の責任の下、預かり保育を実施する事業である。	少子高齢化の中、地域の実態や保護者ニーズに応じて、家庭と連携した子育て支援を図るため、通常教育時間終了後及び長期休業期間中に幼稚園の責任の下、預かり保育を実施する事業である。	計画額	0	0	25,614	9,237	34,851	—	—
			当初予算額	0	0	9,682	1,533	11,215		
			決算額							
H27	※学校教育課から移管。		計画額						-	-
			当初予算額							
			決算額							
H28	具体的取組 保護者のニーズに応じた子育て支援の一環として、預かり保育指導員を雇用し、幼稚園教育時間の終了後、預かり保育を実施する。		計画額	0	0	8,538	3,079	11,617		
			当初予算額	0	0	9,682	1,533	11,215		
			決算額							
H29	保護者のニーズに応じた子育て支援の一環として、預かり保育指導員を雇用し、幼稚園教育時間の終了後、預かり保育を実施する。		計画額	0	0	8,538	3,079	11,617		
			当初予算額							
			決算額							
H30	保護者のニーズに応じた子育て支援の一環として、預かり保育指導員を雇用し、幼稚園教育時間の終了後、預かり保育を実施する。		計画額	0	0	8,538	3,079	11,617		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	預かり保育指導員数	預かり保育に携わる臨時職員(預かり保育指導員)の数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	9	計画値	9	計画値	9	計画値	9
					実績値	12	実績値		実績値		実績値	
成果指標	預かり保育利用人数	預かり保育を利用した園児数 年間: 140人 一時: 45人	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	200	計画値	200	計画値	200	計画値	200
					実績値	185	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	19点 /25点	4点		20点 /25点
	2. 市民満足の上昇が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		4点		
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		4点		
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		4点		
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		4点		
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	降園後に保育をする者がいない世帯の園児を対象に、幼稚園管理下での預かり保育を実施することにより、園児の健やかな成長の確保と保護者の子育て支援を図るものです。今後も、核家族化等の進展により、保護者の子育てへの不安や孤立感が高まる中、子育て支援の一環として、地域の実態や保護者のニーズに応じるため、通常の教育時間終了後や長期休業期間中に、預かり保育を継続していく必要があります。						核家族化の進展や共働き家庭の増加により、子育てへの不安や孤立感を有する保護者が増加している中、就労しているが、子どもを幼稚園に通わせ、幼児教育を受けさせたいという保護者のニーズに応えるため、幼稚園での預かり保育は、子育て支援の一環として必要な施策となっている。また、単に子どもを預かるだけではなく、養育的な機能を重視しつつ、通常の教育課程の延長として子どもの発達段階に応じた遊びや生活を通じ、保護者と共に子どもの育ちを支援していく場であるという点でも、大きな意義を有している。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	指導主事配置事業
-----	----------

担当課	学校教育課
-----	-------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	③	③教職員の資質の向上

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	05	教育総務費
目	10	事務局費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30 事業概要	教育課程、学習指導等に関する専門的分野に係る事務に従事する指導主事を配置する事業である。	教育課程、学校指導等に関する専門分野に係る事務に従事する職員を学校教育課に配置し、学校教育活動の円滑な実施に資する。	計画額	0	0	0	2,720	2,720	—	—
			当初予算額	0	0	0	2,720	2,720		
			決算額	0	0	0	2,640	2,640		
H27	嘱託の指導主事1名を学校教育課に配置した。	・学校指導に関するこのうち、特に教育相談関係事務や学校保健関係事務の補助を行った。	計画額	0	0	0	2,720	2,720	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	2,720	2,720		
			決算額	0	0	0	2,640	2,640		
H28   H29   H30 具体的取組	※H28年度から学校教育推進事業に統合		計画額							
			当初予算額							
			決算額							
H29			計画額							
			当初予算額							
			決算額							
H30			計画額							
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	所掌分野の研修会の開催回数	教育相談担当教員、心の教室相談員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の合同研修会の開催回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	2	計画値	-	計画値	-	計画値	-	
					実績値	2	実績値	-	実績値	-	実績値	-	
成果指標	児童生徒1,000人当たりの不登校児童生徒数	児童生徒1,000人当たりの不登校児童生徒数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	小学生1.5 中学生28.0	計画値	-	計画値	-	計画値	-	
					実績値	小学生2.9 中学生31.0	実績値	-	実績値	-	実績値	-	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値		
					実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	20点 /25点	4点	20点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止						○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止						
理由	<p>嘱託の指導主事は、教育課程、学習指導等に関する専門的分野に係る各種事務を行うことにより、正規の指導主事等の職務を補佐するとともに、教育相談担当教員、心の教室相談員、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー等への指導、助言を行うことで、各種専門職の資質向上及び連絡調整の役割を担っています。</p> <p>今後も学校教育推進事業として継続して配置することにより、他事業との連携の強化を含め、より円滑な学校教育活動への支援を充実することが期待できることから、H28年度から学校教育推進事業と統合して継続実施します。</p>						<p>市教育委員会が学校に対して行う指導、助言は、学校における教育活動を適正、円滑に実施していくために必要不可欠なものであり、学力、生徒指導、体力・健康増進を始め幅広い分野にわたり、かつ、専門性が求められる。また、いじめ、不登校、発達障害や生活習慣の乱れなど児童生徒を取り巻く今日的な諸課題が増加しており、その対応に困難さを有する案件も多くなっている。こうした専門的事項を掌るため、現在、市教育委員会事務局には、県から派遣された指導主事等の職員が2名配置されているが、これら職員を補佐するとともに、より機動的、効果的に学校への指導、助言を行うため、人的な支援策が引き続き必要である。なお、H28年度以降は事業統合を行い、学校教育推進事業として実施することとする。</p>						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	奨学金事業
-----	-------

担当課	教育総務課
-----	-------

記入日	平成28年5月16日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	④	④教育環境の整備・充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	05	教育総務費
目	10	事務局費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	経済的理由により進学・就学が困難である者に対し、奨学金を無利子で貸与し、卒業後貸付期間に2年を加えた期間内で返還させる。 高校・高等専門学校:月額15,000円 大学・短大・専修学校:月額37,000円	教育機会の均等の確保を図り、次代を担う人材の育成に寄与する。	計画額	0	0	116,349	9,691	126,040	—	—
			当初予算額	0	0	59,490	3,014	62,504		
			決算額	0	0	30,948	444	31,392		
H27	高校・高等専門学校の生徒3名、大学・短大・専修学校の学生70名に貸し付け、のべ112名から返還を受けた。 また、返還者に現況届を提出させた。	・債権管理強化の観点から、返還者に現住所等の現況届を提出させた。 ・今後の奨学金制度の見直しの参考とするため、貸付者に対しアンケート調査を実施した。	計画額	0	0	28,849	2,691	31,540	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	28,849	2,691	31,540		
			決算額	0	0	30,948	444	31,392		
H28	高校・高等専門学校の生徒6名、大学・短大・専修学校の学生60名に貸し付け、108名から返還を受ける。 返還者に現況届を提出させる。		計画額	0	0	30,000	1,500	31,500		
			当初予算額	0	0	30,641	323	30,964		
			決算額							
H29	高校・高等専門学校の生徒3名、大学・短大・専修学校の学生60名に貸し付け、108名から返還を受ける。 返還者に現況届を提出させる。		計画額	0	0	30,000	1,500	31,500		
			当初予算額							
			決算額							
H30	高校・高等専門学校の生徒3名、大学・短大・専修学校の学生60名に貸し付け、108名から返還を受ける。 返還者に現況届を提出させる。		計画額	0	0	27,500	4,000	31,500		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	貸付金額	当該年度に交付した奨学金貸付金の額。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	万円	計画値	3,154	計画値	3,091	計画値	3,000	計画値	3,000
	償還金額	貸し付けた奨学金の当該年度に償還(返還)された金額。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	2,885	計画値	3,064	計画値	3,000	計画値	3,000
成果指標	奨学金交付決定者数	当該年度に奨学金を新規に交付することにより、進学又は修学することができた学生等の人数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	18	計画値	19	計画値	17	計画値	17
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	19点 /25点	3点	20点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		5点			
5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点	3点					
方向性	○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
今後の方向性 理由	償還金長期滞納者への対応における課題をふまえて連帯保証人化など債権管理の強化の必要があること及びまち・ひと・しごと創生総合戦略において、若者の定住促進策として「さぬき市奨学金返還金の減額」や「(独)日本学生支援機構奨学金返還者に対する元金及び利子補助」を掲げられたことから、制度の改善が必要と考える。						まち・ひと・しごと創生総合戦略において、若者の定住促進策として「さぬき市奨学金返還金の減額」や「(独)日本学生支援機構奨学金返還者に対する元金及び利子補助」を掲げられたことから、制度の改善・拡充が必要であるとする。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	学校再編計画推進事業
-----	------------

担当課	学校再編対策室
-----	---------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	④	④教育環境の整備・充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	05	教育総務費
目	10	事務局費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	学校等の統合に関し保護者・地域・学校等との意見交換、協議、検討を行い、学校等の施設・設備環境の整備に必要な業務を実施する。	文科省の教育指針、学校再編計画や本市教育指針等を踏まえ、より良い学習環境を提供できるよう説明会等により理解を深め、意見聴取、協議、検討し、子どもの健全育成を図ることを目的とする。	計画額	0	95,300	0	15,230	110,530	—	—
			当初予算額	0	95,300	0	10,690	105,990		
			決算額	0	0	0	2,935	2,935		
H27	学校等の統合のため、関係者等に対する説明会等を実施するなど、意見を聴取し、統合の時期・場所等について決定した。「前山・長尾小学校」の統合に際し、保護者又は地域説明会を実施(計4回)。「神前・石田小学校」の統合に際し、保護者又は地域説明会を実施(計12回)。「津田地区の幼稚園及び保育所」の統合に関する保護者説明会を実施(計4回)	次年度における小学校の統合に関する統合準備委員会等を設置し、統合についての詳細事項を決定した。	計画額	0	0	0	3,445	3,445	0.7	0.1
			当初予算額	0	0	0	3,445	3,445		
			決算額	0	0	0	2,935	2,935		
H28	「前山・長尾小学校」、「神前・石田小学校」の統合に関する詳細を決定するため、統合学校単位で準備委員会(保護者、地域、学校)を設置し、協議を行う。また、「津田地区の幼稚園及び保育所」の統合に関する関連工事の実施。		計画額	0	95,300	0	7,245	102,545		
			当初予算額	0	95,300	0	7,245	102,545		
			決算額							
H29	学校再編計画推進のため、関係者等に対する説明会又は統合準備委員会を実施するなどし、意見聴取するとともに理解を深め、統合に関する詳細を決定する。		計画額	0	0	0	2,270	2,270		
			当初予算額							
			決算額							
H30	学校再編計画推進のため、関係者等に対する説明会又は統合準備委員会を実施するなどし、意見聴取するとともに理解を深め、統合に関する詳細を決定する。		計画額	0	0	0	2,270	2,270		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	統合準備委員会及び保護者説明会等の実施回数	小学校等の統合に関する保護者説明会、地域説明会、統合準備委員会等の実施回数を示す。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 10	実績値 20	計画値 5	実績値	計画値 4	実績値	計画値 4	実績値	
	統合に関する情報提供についての実施回数	統合に関する説明会、統合準備委員会などの決定事項について、広報、たより等により関係地域に対し情報提供した実施回数を示す。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 2	実績値 2	計画値 2	実績値	計画値 4	実績値	計画値 4	実績値	
成果指標	統合に関する進捗状況	学校再編計画に示す学校等の統合に関し、その進捗状況を数値化する。小14校1分校を6校、中6校を3校、幼12園1分園を6園(15/34) ・当該年度末学校(園)数/計画学校(園)数15	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値 71	実績値 71	計画値 71	実績値	計画値 75	実績値	計画値 75	実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	22点 /25点	4点	21点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		5点			
5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点	5点					
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	学校の統廃合については、生徒・児童・園児がストレスなく統合することが重要であり、保護者・地域の心情や意向に十分配慮し、意見を集約しながら理解を深めていかなければならない。本事業は、再編計画期間において、また限られた財源の中で統合を推進し、老朽化した施設の整備や近年の授業形態に対応した設備整備を行う必要があり、それらを各学校に等しく整備することを旨とするものであり、再編計画の完了まで引き続き事業を継続するものである。						昨今の少子化に伴い、市内の園児・児童・生徒数が急激に減少し、多くの幼稚園・小学校・中学校の小規模化が顕著になったことから策定された学校再編計画を推進することにより、児童等の教育環境の整備・充実を図らなければならないことから、その事前の統合協議を行うことは必須である。また、教育施設の整備に係る不要施設の撤去など関連工事も必要である。						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	公立学校施設台帳図面整備事業
-----	----------------

担当課	教育総務課
-----	-------

記入日	平成28年5月18日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	④	④教育環境の整備・充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	05	教育総務費
目	10	事務局費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 公立学校施設台帳システムを整備し、学校施設の適切な情報管理を行う。	学校施設の施設情報や大規模改修履歴等の情報をシステムにて管理する。	計画額	0	0	0	924	924	—	—
			当初予算額	0	0	0	724	724		
			決算額	0	0	0	724	724		
H27	公立学校施設台帳システムの最新情報の登録処理 (登録処理対象施設:さぬき南小学校・さぬき南幼稚園・志度中学校)	前年度に整備したさぬき南小学校、さぬき南幼稚園及び志度中学校の施設データを更新した。	計画額	0	0	0	724	724	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	724	724		
			決算額	0	0	0	724	724		
H28	具体的取組 公立学校施設台帳システムの最新情報の登録処理 ※志度中学校改修に伴う登録処理を予定していたが、校舎面積の増減等の作業が不要となったことから、28年度は事業を実施しない。		計画額	0	0	0	200	200		
			当初予算額	0	0	0	0	0		
			決算額							
H29	公立学校施設台帳システムの最新情報の登録処理 (登録処理対象施設未定のため事業計画額も未定)		計画額	0	0	0	0	0		
			当初予算額							
			決算額							
H30	公立学校施設台帳システムの最新情報の登録処理 (登録処理対象施設未定のため事業計画額も未定)		計画額	0	0	0	0	0		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	登録処理件数	整備した学校施設の情報を登録処理した件数。 (登録処理対象施設が生じた場合に計上)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	3	計画値	0	計画値	0	計画値	0
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	3	実績値		実績値		実績値	
成果指標	最新情報への更新比率	学校施設データを最新情報へ更新した比率。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	100	計画値	100	計画値	100	計画値	100
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	100	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	18点 /25点	3点	17点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	公立学校施設台帳は、学校施設の施設規模・建築年月・構造等を把握するとともに、過去の大規模改修履歴や国庫補助金充当の有無、各施設の工事図面等、学校施設に係る様々な情報を管理している。また、毎年公立学校施設の実態調査が行われており、これについては文科省から指定されたデータ形式での提出しなければならないことから、今後も継続して管理する必要があると考える。						公立学校施設台帳は、学校施設の施設規模・建築年月・構造等を把握するとともに、過去の大規模改修履歴や国庫補助金充当の有無、各施設の工事図面等、学校施設に係る様々な情報を管理していることなどから、今後も継続していく必要がある事業だと考える。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	遠距離通学児童生徒支援事業
-----	---------------

担当課	教育総務課
-----	-------

記入日	平成28年5月18日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	④	④教育環境の整備・充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	05	教育総務費
目	10	事務局費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 遠距離通学が必要になった児童生徒を対象としたスクールバスの運行事業である。	スクールバスを運行することにより、遠距離通学が必要な生徒の負担を軽減する。	計画額	0	0	0	439,671	439,671	—	—
			当初予算額	0	0	0	202,655	202,655		
			決算額	0	0	0	77,754	77,754		
H27	津田小(北山・鶴羽地区)・長尾小・中(多和地区)・志度小(末地区)・さぬき北小(小田・鴨部地区)・さぬき南中(田面地区)・志度中(小田・鴨部地区)・さぬき南小(田面地区他)においてスクールバスを運行した。	運行ルートは、乗車場所を含め、バスが安全に走行できる経路のなかで最短距離のものを選択した。また、全車両にスタッドレスタイヤを装着し、冬場の安全運行に努めた。	計画額	0	0	0	108,171	108,171	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	108,171	108,171		
			決算額	0	0	0	77,754	77,754		
H28	具体的取組 津田小(北山・鶴羽地区)・長尾小・中(多和地区)・志度小(末地区)・さぬき北小(小田・鴨部地区)・さぬき南中(田面地区)・志度中(小田・鴨部地区)・さぬき南小(田面地区他)においてスクールバスを運行する。		計画額	0	0	0	108,500	108,500		
			当初予算額	0	0	0	94,484	94,484		
			決算額							
H29	津田小(北山・鶴羽地区)・長尾小・中(多和地区)・志度小(末地区)・さぬき北小(小田・鴨部地区)・さぬき南中(田面地区)・志度中(小田・鴨部地区)・さぬき南小(田面地区他)においてスクールバスを運行するため、受託業者所有バスを用いた輸送業務委託と、市所有バスを用いた運行管理業務委託及びその維持管理に必要な経費である。		計画額	0	0	0	111,500	111,500		
			当初予算額							
			決算額							
H30	津田小(北山・鶴羽地区)・長尾小・中(多和地区)・志度小(末地区)・さぬき北小(小田・鴨部地区)・さぬき南中(田面地区)・志度中(小田・鴨部地区)・さぬき南小(田面地区他)においてスクールバスを運行するため、受託業者所有バスを用いた輸送業務委託と、市所有バスを用いた運行管理業務委託及びその維持管理に必要な経費である。		計画額	0	0	0	111,500	111,500		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	運行日数	スクールバスの年間運行便数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	便	計画値	6,653	計画値	6,320	計画値	6,300	計画値	6,300
					実績値	5,593	実績値		実績値		実績値	
成果指標	利用者数	スクールバスを利用して通学する児童・生徒の数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	442	計画値	424	計画値	450	計画値	450
					実績値	442	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	2点	19点 /25点	5点	3点		22点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点			4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点			5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点			5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点			5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
	理由						理由					
	学校統廃合により遠距離通学となった児童・生徒の負担を軽減する手段として有効であり、登下校時の安全確保の観点からも継続の必要がある。						市立学校の統廃合に伴い、遠距離通学となった児童・生徒の負担を軽減する手段として必要不可欠な事業であると考えており、登下校時の安全確保の観点からも継続して取り組んでいく必要がある。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	小学校パソコン管理事業
-----	-------------

担当課	教育総務課
-----	-------

記入日	平成28年5月13日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	④	④教育環境の整備・充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	10	小学校費
目	05	学校管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	情報教育の充実を図るため、小学校における児童のパソコン授業に使用する教育用パソコンと教員が校務で使用する校務用パソコンの維持管理事業である。	情報化社会に対応できる児童を育てる、情報教育の充実を図ることを目的とした事業である。	計画額	0	0	0	137,177	137,177	—	—
			当初予算額	0	0	0	80,123	80,123		
			決算額	0	0	0	25,772	25,772		
H27	小学校の教育用及び校務用パソコンの賃借料、ウイルス対策ソフトの更新、回線使用料、修繕費用及び保守料である。	児童、教諭が安心して情報教育を受けられる環境を整えた。	計画額	0	0	0	28,577	28,577	0.3	0.0
			当初予算額	0	0	0	28,577	28,577		
			決算額	0	0	0	25,772	25,772		
H28	小学校の教育用及び校務用パソコンの賃借料、ウイルス対策ソフトの更新、回線使用料、修繕費用及び保守料である。教育委員会サーバ及び校務用パソコンを更新する。		計画額	0	0	0	37,700	37,700		
			当初予算額	0	0	0	51,546	51,546		
			決算額							
H29	小学校の教育用及び校務用パソコンの賃借料、ウイルス対策ソフトの更新、回線使用料、修繕費用及び保守料である。		計画額	0	0	0	39,900	39,900		
			当初予算額							
			決算額							
H30	小学校の教育用及び校務用パソコンの賃借料、ウイルス対策ソフトの更新、回線使用料、修繕費用及び保守料である。		計画額	0	0	0	31,000	31,000		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	教育用パソコンの貸借台数	小学校における教育用パソコンの貸借台数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	台	計画値	238	計画値	238	計画値	238	計画値	60	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	238	実績値		実績値		実績値		
成果指標	教育用コンピュータ1台当たりの児童数	市立小学校全児童数／教育用パソコン現有台数。 ※値が少ないほど、充実している。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	7	計画値	6	計画値	5	計画値	4	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	7	実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	20点 ／25点	5点		21点 ／25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		3点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						
理由	国の目標値では、コンピュータ教室へ児童1人当たり1台の設置、普通、特別教室用コンピュータの設置及び校内LANの整備が求められている。特定の教科に限らずどの教科でも活用されるため当事業の有効性は高いと考える。 情報化社会に対応できる児童を育てるため、多様化するコンピュータ学習に対応できるよう、教諭の研修にも努めていかなくてはならない。						世界的な規模で日進月歩しているIT化社会へ対応していくためには、義務教育課程の時点から積極的にパソコン等を活用したコンピュータ学習を行うことの有益性は極めて高いと考えられる。従って、国の指針等に沿うよう、今後においても事業の拡充は不可欠であるとする。						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	小学校施設整備事業
-----	-----------

担当課	教育総務課
-----	-------

記入日	平成28年5月17日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	④	④教育環境の整備・充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	10	小学校費
目	05	学校管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 小学校施設の改修工事及び営繕補修を行う。	小学校施設の危険箇所、破損箇所等を聞き取りや現場確認により把握し、工事・修繕を行うことで、施設の環境改善、安全確保を図る。	計画額	0	0	0	37,354	37,354	—	—
			当初予算額	0	0	8,348	14,940	23,288		
			決算額	0	0	0	8,278	8,278		
H27	主に小学校施設の改修工事及び営繕工事を実施した。	緊急性の高い箇所から優先的に工事・修繕を実施し、教育環境の改善及び生徒の安全確保に努めた。	計画額	0	0	0	7,354	7,354	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	7,354	7,354		
			決算額	0	0	0	8,278	8,278		
H28	具体的取組 主に小学校施設の改修工事及び営繕工事を実施する。		計画額	0	0	0	10,000	10,000		
			当初予算額	0	0	8,348	7,586	15,934		
			決算額							
H29		主に小学校施設の改修工事及び営繕工事を行う経費である。	計画額	0	0	0	10,000	10,000		
			当初予算額							
			決算額							
H30		主に小学校施設の改修工事及び営繕工事を行う経費である。	計画額	0	0	0	10,000	10,000		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	修繕件数	劣化又は故障した施設・設備の効用を回復させた修繕及び工事の件数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	16	計画値	16	計画値	24	計画値	24
					実績値	23	実績値		実績値		実績値	
成果指標	施設・設備の危険箇所数	聞き取りや現場確認により把握した施設・設備の危険箇所数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	箇所	計画値	0	計画値	1	計画値	0	計画値	0
					実績値	3	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	20点 /25点	4点	21点 /25点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点						
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点						
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点						
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点						
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止					
理由	小学校の中には老朽化が進んでいる施設も多く、安全性の確保と適正な維持管理を継続して 行っていくためには、計画的な工事、修繕等が必要である。また、小学校からの修繕要望は 年々増加傾向にあり、事業の拡充が必要である。						施設は年数の経過に伴い、確実に老朽化への道を辿っていることから、そのための維持修繕は 必要不可欠であり、今後においても計画的に教育環境の保全及び小学校の安全確保に努めて いかなければならないと考える。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	小学校施設管理事業(教育総務課分)
-----	-------------------

担当課	教育総務課
-----	-------

記入日	平成28年5月17日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	④	④教育環境の整備・充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	10	小学校費
目	05	学校管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 小学校9校の学校運営及び施設の維持管理を行う事業である。	事務の効率化及び施設の定期点検による安全確保等を目的とする。	計画額	0	0	60	66,057	66,117	—	—
			当初予算額	0	0	0	33,226	33,226		
			決算額	0	0	0	15,836	15,836		
H27	各小学校の運営に必要な事務機器借上及び施設の維持管理に必要な機器保守点検、土地借上等を実施した。	保守点検結果に基づいた修繕等により、施設の安全性が確保された。	計画額	0	0	0	17,025	17,025	0.3	0.0
			当初予算額	0	0	0	17,025	17,025		
			決算額	0	0	0	15,836	15,836		
H28	各小学校の運営に必要な事務機器借上及び施設の維持管理に必要な機器保守点検、土地借上等を実施する。		計画額	0	0	20	17,072	17,092		
			当初予算額	0	0	0	16,201	16,201		
			決算額							
H29	各小学校の運営に必要な事務機器借上料等及び施設の維持管理に必要な機器保守点検経費、土地借上料その他の費用である。		計画額	0	0	20	15,980	16,000		
			当初予算額							
			決算額							
H30	各小学校の運営に必要な事務機器借上料等及び施設の維持管理に必要な機器保守点検経費、土地借上料その他の費用である。		計画額	0	0	20	15,980	16,000		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	保守点検回数。	施設の安全性を確保するために行った保守点検の回数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	142	計画値	142	計画値	133	計画値	133
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	142	実績値		実績値		実績値	
成果指標	施設・設備の危険箇所数。	聞き取りや現場確認により把握した施設・設備の危険箇所数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	箇所	計画値	0	計画値	1	計画値	0	計画値	0
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	3	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	19点 /25点	4点		21点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由						理由						
小学校施設の安全確保と適正な維持管理を行うために必要である。						施設の安全性を確保するためには、年間を通じての維持管理に努めていく必要があるが、それに伴う経費については必要性も精査しながら取り組んでいきたいと考える。						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	小学校施設管理事業(学校教育課分)
-----	-------------------

担当課	学校教育課
-----	-------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	④	④教育環境の整備・充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	10	小学校費
目	05	学校管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要	小学校の学校運営及び施設の維持管理を行う事業である。 基本施策である「主体性・創造性・生きがいを育む教育・文化のまちづくり」の達成に向けて、教育環境の整備と教育内容の充実を図る。	計画額	0	0	80	429,312	429,392	—	—
			当初予算額	0	0	40	202,589	202,629		
			決算額	800	0	136	101,320	102,256		
H27	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校9校の学校運営及び施設の維持管理</li> <li>・小学校教科書の改訂に伴う教師用教科書・指導書の購入</li> <li>・研究指定による授業等研究(県学力向上モデル校事業2校、県心の交流事業1校、市新設校教育研究事業2校、市ふるさと教育推進事業1校、その他1校)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気代節減のため、電力会社による研修を行ったほか、各校の電気代の推移をグラフ化し、節減の意識付けを行った。</li> <li>・学校事務職員に対し、会計課職員による適正な会計事務処理等についての研修を行った。</li> </ul>	計画額	0	0	20	107,328	107,348	4.4	7.0
			当初予算額	0	0	20	107,328	107,348		
			決算額	800	0	136	101,320	102,256		
H28	具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校9校の学校運営及び施設の維持管理</li> </ul>	計画額	0	0	20	107,328	107,348		
			当初予算額	0	0	20	95,261	95,281		
			決算額							
H29	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校8校の学校運営及び施設の維持管理</li> </ul>		計画額	0	0	20	107,328	107,348		
			当初予算額							
			決算額							
H30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校8校の学校運営及び施設の維持管理</li> </ul>		計画額	0	0	20	107,328	107,348		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動 指標	小学校数	市立小学校の数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	校	計画値	9	計画値	9	計画値	8	計画値	8
	研究指定事業に取り組む 小学校数	国・県・市等の指定を受け、授業研究等に取り組む延 べ小学校数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	7	計画値	5	計画値	5	計画値	5
成果 指標	児童一人当たりの学校運 営及び施設管理経費	学校運営及び施設管理に係る経費 (事業費決算額÷児童数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	千円	計画値	42	計画値	42	計画値	42	計画値	42
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	21点 /25点	5点	22点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
方向性	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
今後の 方向性 理由	小学校の学校運営及び施設の維持管理を適切に行い、基本施策である「主体性・創造性・生きがいを育む教育・文化のまちづくり」の達成に向けて、教育環境の整備と教育内容の充実を図る必要があります。						次の世代を担う子どもたちが未来に向けて「生きる力」を確実に育むためには、学校における教育内容の充実を図る必要がある。また、そのためには、学校における良好な学習環境を整備するとともに、その維持管理を適切に行っていく必要がある。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	小学校統合事業
-----	---------

担当課	学校再編対策室
-----	---------

記入日	平成28年5月19日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	④	④教育環境の整備・充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	10	小学校費
目	05	学校管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 さぬき市の将来を担う子どもたちのよりよい学習環境を準備し、学校再編(統合)を円滑に進める。	平成20年6月に策定した「さぬき市学校再編計画」の後期計画期間の計画内容を具体的に推進し、円滑な学校の統合になるよう諸準備や調整を図る。	計画額	0	0	0	12,426	12,426	—	—
			当初予算額	0	0	0	2,096	2,096		
			決算額	0	0	0	0	0		
H27	「長尾・前山小」及び「神前・石田小」の統合が円滑になるよう各統合校の児童間の交流学習の実施。 ・統合時期、位置が未定であったことから、事業実施を見送った。	平成28年度事業実施に向け、学校間での調整を依頼した。	計画額	0	0	0	476	476	0.7	0.1
			当初予算額	0	0	0	476	476		
			決算額	0	0	0	0	0		
H28	具体的取組 「長尾・前山小」及び「神前・石田小」の統合が円滑になるよう各統合校の児童間の交流学習の実施。 ・前山小の閉校による「閉校記念事業」に係る補助金交付予定 ・前山小の物品移転の実施予定 ・「前山・長尾小」間における交流学習実施を予定 ・「神前・石田小」間における交流学習実施等を予定		計画額	0	0	0	4,200	4,200		
			当初予算額	0	0	0	1,620	1,620		
			決算額							
H29	学校再編計画の後期計画期間で計画している該当学校の保護者等で組織する「統合準備委員会」を設置し、統合に向けての準備を進める。円滑な統合となるよう該当学校の児童交流学習を支援する。		計画額	0	0	0	600	600		
			当初予算額							
			決算額							
H30	学校再編計画の後期計画期間で計画している該当学校の保護者等で組織する「統合準備委員会」を設置し、統合に向けての準備を進める。円滑な統合となるよう該当学校の児童交流学習を支援する。加えて、閉校となる学校の「閉校記念事業補助金」を交付することにより、円滑な事業実施が図れるよう支援する。		計画額	0	0	0	7,150	7,150		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	交流(学習等)実施回数 (前山小学校分)	スムーズな統合に向け、児童間の交流を深めるために交流学習の実施回数(前山小学校分) ※28年度で終了予定	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 1	実績値 0	計画値 2	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
	交流(学習等)実施回数 (神前・石田小学校分)	スムーズな統合に向け、児童間の交流を深めるために交流学習を実施する。(神前・石田小学校分)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 1	実績値 0	計画値 1	実績値	計画値 2	実績値	計画値 2	実績値	
成果指標	交流平均時間数(前山小学校分)	円滑に統合できるよう両小学校の児童が共に過ごした延べ時間数で推し量る。 ・交流延べ時間数 ※28年度で終了予定	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	時間	計画値 2	実績値 0	計画値 4	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
	交流平均時間数(神前・石田小学校分)	円滑に統合できるよう両小学校の児童が共に過ごした延べ時間数で推し量る。 ・交流延べ時間数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	時間	計画値 2	実績値 0	計画値 4	実績値	計画値 4	実績値	計画値 4	実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	23点 /25点	5点		23点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	本市において、人口が著しく減少していることに伴って、少子化が顕著となり、適正な学校規模の確保が難しくなっている。加えて学校規模の小規模化が進み、教育・学習活動に影響や課題が浮上している現状があることから、よりよい教育環境の整備の観点から、平成20年6月に「さぬき市学校再編計画」を策定した。本事業は、当該計画に基づき、再編統合に向けた具体的な準備を進める事業であり、時限付きである。再編統合の時期が決定し、それまでに完了しなければならない事業であることから、現状を維持する必要がある。						学校の統合において、保護者等の方々が特に懸念されることは統合した学校の教育環境に適応できるかどうか等であり、これらを円滑に進めるため、交流学習等を行うことで児童の精神的な不安を解消するために必要である。						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	吊り天井対策事業(小学校)
-----	---------------

担当課	教育総務課
-----	-------

記入日	平成28年5月10日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	④	④教育環境の整備・充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	10	小学校費
目	05	学校管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 地震時に致命的な事故を引き起こす可能性が高いとされる屋内運動場等の大規模空間に設置された吊り天井について、天井撤去・補強等の落下防止対策事業である。	地震時の吊り天井落下による被害を防ぐため、落下防止対策を講じるものである。	計画額	3,436	6,700	405	0	10,541	—	—
			当初予算額	3,436	6,700	405	0	10,541		
			決算額	4,753	5,000	311	0	10,064		
H27	小学校施設のうち、延床面積200㎡以上又は高さ6m以上に設置された吊り天井等については、落下防止対策を実施する必要があるため、さぬき北小学校屋内運動場で対策工事を行った。(27年度で事業終了)	屋内運動場の天井部材(金網板)を撤去することにより、天井等落下防止対策が完了した。	計画額	3,436	6,700	405	0	10,541	0.2	0.0
			当初予算額	3,436	6,700	405	0	10,541		
			決算額	4,753	5,000	311	0	10,064		
H28	※27年度で事業終了		計画額	0	0	0	0	0		
			当初予算額							
			決算額							
H29	具体的取組		計画額	0	0	0	0	0		
			当初予算額							
			決算額							
H30			計画額	0	0	0	0	0		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	事業進捗率	吊り天井対策事業(小学校)の進捗率。(設計、工事)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	100	計画値	-	計画値	-	計画値	-	
					実績値	100	実績値	-	実績値	-	実績値	-	
成果指標	天井等落下防止対策箇所(室)数	吊り天井撤去又は天井改修により天井等落下防止対策が完了した室数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	室	計画値	1	計画値	-	計画値	-	計画値	-	
					実績値	1	実績値	-	実績値	-	実績値	-	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値		
					実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	17点 /25点	5点	19点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	1点		1点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止						○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止						
理由						理由							
平成27年度をもって全ての工事が完了したため、事業は廃止となった。						平成27年度をもって全ての工事が完了したため、事業は廃止となった。							

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	中学校パソコン管理事業
-----	-------------

担当課	教育総務課
-----	-------

記入日	平成28年5月13日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	④	④教育環境の整備・充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	15	中学校費
目	05	学校管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	情報教育の充実を図るため、中学校における生徒のパソコン授業に使用する教育用パソコンと教員が校務で使用する校務用パソコンの維持管理事業である。	情報化社会に対応できる生徒を育てる、情報教育の充実を図ることを目的とした事業である。	計画額	0	0	0	75,503	75,503	—	—
			当初予算額	0	0	0	38,559	38,559		
			決算額	0	0	0	9,642	9,642		
H27	中学校の教育用及び校務用パソコンの賃借料、ウイルス対策ソフトの更新、回線使用料、修繕費用及び保守料である。	生徒、教諭が安心して情報教育を受けられる環境を整えた。	計画額	0	0	0	15,103	15,103	0.3	0.0
			当初予算額	0	0	0	15,103	15,103		
			決算額	0	0	0	9,642	9,642		
H28	中学校の教育用及び校務用パソコンの賃借料、ウイルス対策ソフトの更新、回線使用料、修繕費用及び保守料である。教育委員会サーバ及び校務用パソコンを更新する。		計画額	0	0	0	17,800	17,800		
			当初予算額	0	0	0	23,456	23,456		
			決算額							
H29	中学校の教育用及び校務用パソコンの賃借料、ウイルス対策ソフトの更新、回線使用料、修繕費用及び保守料である。教育用パソコンを更新する。(2校)		計画額	0	0	0	20,800	20,800		
			当初予算額							
			決算額							
H30	中学校の教育用及び校務用パソコンの賃借料、ウイルス対策ソフトの更新、回線使用料、修繕費用及び保守料である。		計画額	0	0	0	21,800	21,800		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	教育用パソコンの貸借台数	中学校における教育用パソコンの貸借台数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	台	計画値	80	計画値	80	計画値	80	計画値	30
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	80	実績値		実績値		実績値	
成果指標	教育用コンピュータ1台当たりの生徒数	市立中学校全生徒数/教育用パソコン現有台数 ※値が少ないほど、充実している。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	8	計画値	7	計画値	6	計画値	5
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	8	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)					一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	20点 /25点	5点	21点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		3点			
今後の方向性	一次評価(担当者)					二次評価(所属長)						
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止					<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						
理由	国の目標値では、コンピュータ教室へ生徒1人当たり1台の設置、普通、特別教室用コンピュータの設置及び校内LANの整備が求められている。特定の教科に限らずどの教科でも活用されるため当事業の有効性は高いと考える。 情報化社会に対応できる生徒を育てるため、多様化するコンピュータ学習に対応できるよう、教諭の研修にも努めていかなくてはならない。					世界的な規模で日進月歩しているIT化社会へ対応していくためには、義務教育課程の時点から積極的にパソコン等を活用したコンピュータ学習を行うことの有益性は極めて高いと考えられる。従って、国の指針等に沿うよう、今後においても事業の拡充は不可欠であるとする。						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	中学校施設整備事業
-----	-----------

担当課	教育総務課
-----	-------

記入日	平成28年5月17日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	④	④教育環境の整備・充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	15	中学校費
目	05	学校管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 中学校施設の適正・効率的な整備を行い、良好な教育環境の維持を図る。	中学校施設の危険箇所、破損箇所等を聞き取りや現場確認により把握し、工事・修繕を行うことで施設の環境改善、安全確保を図る。	計画額	0	0	0	12,700	12,700	—	—
			当初予算額	0	0	30,000	8,479	38,479		
			決算額	0	0	0	2,726	2,726		
H27	主に中学校施設の改修工事及び営繕補修を実施した。	緊急性の高い箇所から優先的に工事・修繕を実施し、教育環境の改善及び生徒の安全確保に努めた。	計画額	0	0	0	2,800	2,800	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	2,800	2,800		
			決算額	0	0	0	2,726	2,726		
H28	具体的取組 主に中学校施設の改修工事及び営繕補修を実施する。		計画額	0	0	0	2,900	2,900		
			当初予算額	0	0	30,000	5,679	35,679		
			決算額							
H29		主に中学校施設の改修工事及び営繕補修を行う経費である。	計画額	0	0	0	3,500	3,500		
			当初予算額							
			決算額							
H30		主に中学校施設の改修工事及び営繕補修を行う経費である。	計画額	0	0	0	3,500	3,500		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	修繕件数	劣化又は故障した施設・設備の効用を回復させた修繕及び工事の件数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	6	計画値	6	計画値	9	計画値	9
					実績値	13	実績値		実績値		実績値	
成果指標	施設・設備の危険箇所数	聞き取りや現場確認により把握した施設・設備の危険箇所数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	箇所	計画値	0	計画値	0	計画値	0	計画値	0
					実績値	0	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	20点 /25点	4点	21点 /25点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点						
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点						
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点						
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点						
今後の方向性	一次評価(担当者)					二次評価(所属長)						
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止					<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						
理由	施設の安全性確保と適正な維持管理を継続して行くためには、計画的な工事、修繕等が必要である。中学校3校のなかでも、長尾中学校は、校舎等の老朽化が顕著であり、年々修繕要望が増加していることから、事業の拡充が必要である。					施設は年数の経過に伴い、確実に老朽化への道を辿っていることから、そのための維持修繕は必要不可欠であり、今後においても計画的に教育環境の保全及び中学校の安全確保に努めていかなければならないと考える。						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	中学校施設管理事業(教育総務課分)
-----	-------------------

担当課	教育総務課
-----	-------

記入日	平成28年5月17日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	④	④教育環境の整備・充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	15	中学校費
目	05	学校管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 中学校3校の学校運営及び施設の維持管理を行う事業である。	事務の効率化及び施設の定期点検による安全確保等を図ることを目的とする。	計画額	0	0	150	31,612	31,762	—	—
			当初予算額	0	0	0	16,120	16,120		
			決算額	0	0	0	7,505	7,505		
H27	各中学校の運営に必要な事務機器借上及び施設の維持管理に必要な機器保守点検、土地借上等を実施した。	保守点検結果に基づいた修繕等により、施設の安全性が確保された。	計画額	0	0	0	7,835	7,835	0.3	0.0
			当初予算額	0	0	0	7,835	7,835		
			決算額	0	0	0	7,505	7,505		
H28	具体的取組 各中学校の運営に必要な事務機器借上及び施設の維持管理に必要な機器保守点検、土地借上等を実施する。		計画額	0	0	50	7,877	7,927		
			当初予算額	0	0	0	8,285	8,285		
			決算額							
H29	各中学校の運営に必要な事務機器借上料等及び施設の維持管理に必要な機器保守点検経費、土地借上料その他の費用である。		計画額	0	0	50	7,950	8,000		
			当初予算額							
			決算額							
H30	各中学校の運営に必要な事務機器借上料等及び施設の維持管理に必要な機器保守点検経費、土地借上料その他の費用である。		計画額	0	0	50	7,950	8,000		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	保守点検回数	施設の安全性を確保するために行った保守点検の回数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	54	計画値	54	計画値	54	計画値	54
					実績値	54	実績値		実績値		実績値	
成果指標	施設・設備の危険箇所数	聞き取りや現場確認により把握した施設・設備の危険箇所数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	箇所	計画値	0	計画値	0	計画値	0	計画値	0
					実績値	0	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	19点 /25点	4点	21点 /25点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点						
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点						
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点						
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点						
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
	中学校施設の安全確保と適正な維持管理を行うために必要である。						施設の安全性を確保するためには、年間を通じての維持管理に努めていく必要があるが、それに伴う経費については必要性も精査しながら取り組んでいきたいと考える。					
	理由											

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	中学校施設管理事業(学校教育課分)
-----	-------------------

担当課	学校教育課
-----	-------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	④	④教育環境の整備・充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	15	中学校費
目	05	学校管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	計画額	事業費(千円)				担当職員数(人)		
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源			
H27   H30	事業概要 中学校の学校運営及び施設の維持管理を行う事業である。	基本施策である「主体性・創造性・生きがいを育む教育・文化のまちづくり」の達成に向けて、教育環境の整備と教育内容の充実を図る。	計画額	0	0	200	230,492	230,692	—	—
			当初予算額	0	0	80	118,052	118,132		
			決算額	345	0	41	45,018	45,404		
H27	・中学校3校の学校運営及び施設の維持管理 ・研究指定による授業等研究(県心の交流事業2、市統合校教育研究事業2校、市ふるさと教育推進事業1校、その他1校)	・電気代節減のため、電力会社による研修を行ったほか、各校の電気代の推移をグラフ化し、節減の意識付けを行った。・学校事務職員に対し、会計課職員による適正な会計事務処理等についての研修を行った。	計画額	0	0	50	57,623	57,673	1.4	1.0
			当初予算額	0	0	50	57,623	57,673		
			決算額	345	0	41	45,018	45,404		
H28	具体的取組 ・中学校3校の学校運営及び施設の維持管理		計画額	0	0	50	57,623	57,673		
			当初予算額	0	0	30	60,429	60,459		
			決算額							
H29	・中学校3校の学校運営及び施設の維持管理		計画額	0	0	50	57,623	57,673		
			当初予算額							
			決算額							
H30	・中学校3校の学校運営及び施設の維持管理		計画額	0	0	50	57,623	57,673		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値		計画値		計画値		計画値		
活動 指標	中学校数	市立中学校の数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	校	計画値	3	計画値	3	計画値	3	計画値	3	
					実績値	3	実績値		実績値		実績値		
活動 指標	研究指定事業に取り組む 中学校数	国・県・市等の指定を受け、授業研究等に取り組む延 べ中学校数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	校	計画値	6	計画値	3	計画値	3	計画値	3	
					実績値	6	実績値		実績値		実績値		
成果 指標	生徒一人当たりの学校運 営及び施設管理経費	学校運営及び施設管理に係る経費 (事業費決算額÷生徒数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	千円	計画値	36	計画値	36	計画値	36	計画値	36	
					実績値	36	実績値		実績値		実績値		
成果 指標			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値		
					実績値		実績値		実績値		実績値		
評 価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	21点 /25点	5点	22点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今 後 の 方 向 性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理 由	中学校の学校運営及び施設の維持管理を適切に行い、基本施策である「主体性・創造性・生き がいを育む教育・文化のまちづくり」の達成に向けて、教育環境の整備と教育内容の充実を図 る必要があります。						次の世代を担う子どもたちが未来に向けて「生きる力」を確実に育むためには、学校における教 育内容の充実を図る必要がある。また、そのためには、学校における良好な学習環境を整備す るとともに、その維持管理を適切に行っていく必要がある。						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	中学校統合事業
-----	---------

担当課	学校再編対策室
-----	---------

記入日	平成28年5月19日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	④	④教育環境の整備・充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	15	中学校費
目	05	学校管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 さぬき市の将来を担う子どもたちのよりよい学習環境を準備し、学校再編や学校施設整備を円滑に進める。	平成20年6月に策定した「さぬき市学校再編計画」の後期計画期間の計画内容を具体的に推進し、円滑な学校の統合になるよう諸準備や調整を図る。	計画額	0	7,000	492	0	7,492	—	—
			当初予算額	0	14,000	984	0	14,984		
			決算額	0	0	0	0	0		
H27	志度・志度東中学校の統合に伴い土日・祝日及び長期休業日の通学支援を実施するに当たり、志度東中学校既存駐輪場を活用予定であったが、学校跡地の利活用の観点から撤去予定であることから、その代替として新たに新設する。(駐輪台数50台)・学校跡地の利活用計画が未定であったことから、事業実施を見送った。	・学校跡地利活用計画の中に、駐輪場又は駐輪スペースの確保を盛り込むことを依頼した。 ※H28年度に旧志度東中学校の既存駐輪場が撤去となることから、代替案を検討する。	計画額	0	7,000	492	0	7,492	0.1	0.0
			当初予算額	0	7,000	492	0	7,492		
			決算額	0	0	0	0	0		
H28	津田・さぬき南中学校の統合に伴い土日・祝日及び長期休業日の通学支援を実施するに当たり、津田中学校既存駐輪場を活用していたが、津田中学校跡地に津田地区幼稚園・保育所統合施設を整備することとなったことから既存駐輪場を撤去するため、その代替として新たに新設する。 ・駐輪場整備(50台)		計画額	0	0	0	0	0		
			当初予算額	0	7,000	492	0	7,492		
			決算額							
H29	※28年度で事業終了予定		計画額	0	0	0	0	0		
			当初予算額							
			決算額							
H30			計画額	0	0	0	0	0		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	遠距離通学者支援用駐輪場整備数	学校の統合によって、遠距離通学となった生徒に対し、津クールバスでの通学支援を実施するため、それに関連する駐輪場の整備である。 ・遠距離通学生徒用駐輪場整備箇所数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	箇所	計画値 1	実績値 0	計画値 1	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
成果指標	通学支援用駐輪場の駐輪可能台数	学校の統合によって、遠距離通学となった生徒に対し、津クールバスでの通学支援を実施するため、それに関連する駐輪場の整備である。 ・駐輪場の駐輪可能台数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	台	計画値 50	実績値 0	計画値 50	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	23点 /25点	5点	22点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	本市において、人口が著しく減少していることに伴って、少子化が顕著となり、適正な学校規模の確保が難しくなっている。加えて学校規模の小規模化が進み、教育・学習活動に影響や課題が浮上している現状があることから、よりよい教育環境の整備の観点から、平成20年6月に「さぬき市学校再編計画」を策定した。 本事業は、その学校統合により遠距離通学者となった生徒に対し、スクールバスでの通学を支援するため、その乗降場所まで自転車等を利用する生徒のための事業であることから、現状を維持する必要がある、時限付きの事業である。						統合した中学校へ通学する生徒に対し、スクールバスの乗降場所へ通学用自転車の駐輪場を整備することは、総合計画にある教育環境の整備・充実を図るためにも必要である。 また、通学の安全確保や防犯面からも事業の必要性があると考えます。						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	吊り天井対策事業(中学校)
-----	---------------

担当課	教育総務課
-----	-------

記入日	平成28年5月10日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	④	④教育環境の整備・充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	15	中学校費
目	05	学校管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 地震時に致命的な事故を引き起こす可能性が高いとされる屋内運動場等の大規模空間に設置された吊り天井について、天井撤去・補強等の落下防止対策事業である。	地震時の吊り天井落下による被害を防ぐため、落下防止対策を講じるものである。	計画額	3,348	22,000	1,247	0	26,595	—	—
			当初予算額	3,348	22,000	1,247	0	26,595		
			決算額	3,348	20,900	1,201	0	25,449		
H27	中学校施設のうち、延床面積200㎡以上又は高さ6m以上に設置された吊り天井等については、落下防止対策を実施する必要があるため、さぬき南中学校屋内運動場で対策工事を行った。(27年度で事業終了)	武道場及びトレーニングルームの天井を改修することにより、天井等落下防止対策が完了した。	計画額	3,348	22,000	1,247	0	26,595	0.2	0.0
			当初予算額	3,348	22,000	1,247	0	26,595		
			決算額	3,348	20,900	1,201	0	25,449		
H28	※27年度で事業終了		計画額	0	0	0	0	0		
			当初予算額							
			決算額							
H29	具体的取組		計画額	0	0	0	0	0		
			当初予算額							
			決算額							
H30			計画額	0	0	0	0	0		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	事業進捗率	吊り天井対策事業(中学校)の進捗率。(設計、工事)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	100	計画値	-	計画値	-	計画値	-	
					実績値	100	実績値	-	実績値	-	実績値	-	
成果指標	天井等落下防止対策箇所(室)数	吊り天井撤去又は天井改修により天井等落下防止対策が完了した室数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	室	計画値	2	計画値	-	計画値	-	計画値	-	
					実績値	2	実績値	-	実績値	-	実績値	-	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値		
					実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	17点 /25点	5点	19点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	1点		1点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止						○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止						
理由						理由							
平成27年度をもって全ての工事が完了したため、事業は廃止となった。						平成27年度をもって全ての工事が完了したため、事業は廃止となった。							

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	志度中学校改修事業
-----	-----------

担当課	教育総務課
-----	-------

記入日	平成28年5月10日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	④	④教育環境の整備・充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	15	中学校費
目	15	学校建設費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 志度中学校と志度東中学校の統合に伴い、志度中学校校舎の改修を行うものである。	志度中学校と志度東中学校が平成27年4月に統合することから、必要な教室数の確保と学習環境の向上のため志度中学校校舎等の改修を行うものである。	計画額	15,181	67,100	3,546	0	85,827	—	—
			当初予算額	15,181	67,100	3,546	0	85,827		
			決算額	22,934	55,200	2,989	0	81,123		
H27	平成26年度改修工事による増築棟完成後に着手した、旧音楽室・美術室・職員室・保健室等の改修及び屋上防水改修工事等を実施した。(27年度で事業終了)	工程会議等で学校の要望を抽出すると共に、施工に際し細かい打合せを行うことで、工程通り工事を進めることができた。	計画額	15,181	67,100	3,546	0	85,827	0.3	0.0
			当初予算額	15,181	67,100	3,546	0	85,827		
			決算額	22,934	55,200	2,989	0	81,123		
H28	※27年度で事業終了		計画額	0	0	0	0	0		
			当初予算額							
			決算額							
H29	具体的取組		計画額	0	0	0	0	0		
			当初予算額							
			決算額							
H30			計画額	0	0	0	0	0		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	事業進捗率	志度中学校整備事業の進捗率。(設計、工事)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	100	計画値	-	計画値	-	計画値	-
					実績値	100	実績値	-	実績値	-	実績値	-
成果指標	改修床面積	増築棟を含めた改修床面積。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	m <sup>2</sup>	計画値	491	計画値	-	計画値	-	計画値	-
					実績値	491	実績値	-	実績値	-	実績値	-
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	17点 /25点	5点	19点 /25点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点						
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	1点						
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点						
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点						
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止						○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止					
	理由						理由					
	平成27年度をもって全ての工事が完了したため、事業は廃止となった。						平成27年度をもって全ての工事が完了したため、事業は廃止となった。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	統合小学校整備事業
-----	-----------

担当課	教育総務課
-----	-------

記入日	平成28年5月10日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	22	(22) 学校教育の充実
主要施策	④	④教育環境の整備・充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	10	小学校費
目	15	学校建設費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 旧天王中学校の施設を神前・石田統合小学校として利用するために改修・整備を行う。	学校規模の適正化と学習環境の整備を図ると共に、施設整備においては、高機能且つ多様な教育に対応できる学習環境を整備する。	計画額	0	0	0	192,210	192,210	—	—
			当初予算額	0	46,300	0	17,770	64,070		
			決算額	0	0	0	0	0		
H27	神前・石田統合小学校施設に係る基本設計及び耐震診断の実施準備に着手した。 ※平成27年12月開催市議会で補正予算の承認を得た後、2月から基本設計を開始したが、業務期間が不足するため、予算を全額繰越すこととした。	各校から教室配置等の意見を抽出し、設計内容へ反映させた。	計画額	0	0	0	0	0	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	0	0		
			決算額	0	0	0	0	0		
H28	実施設計、外構設計、ボーリング調査及び樹木の伐採を行う。		計画額	0	0	0	64,070	64,070		
			当初予算額	0	46,300	0	17,770	64,070		
			決算額							
H29	建築工事、外構工事及び樹木の伐採を行う。		計画額	0	0	0	64,070	64,070		
			当初予算額							
			決算額							
H30	樹木の伐採及び児童用机・椅子等の備品整備を行う。		計画額	0	0	0	64,070	64,070		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	事業進捗率	統合小学校整備事業の進捗率。(当該年度の設計及び工事に関する進捗行程に基づく達成度を表す) ※H28実施設計、H29建築工事、H30建築工事	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	0	計画値	100	計画値	100	計画値	100
					実績値	0	実績値		実績値		実績値	
成果指標	竣工床面積	統合小学校の竣工床面積。(H27時点での予定床面積)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	m <sup>2</sup>	計画値	0	計画値	0	計画値	0	計画値	5,463
					実績値	0	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	21点 /25点	5点	4点	23点 /25点		
	2. 市民満足の上昇が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点						
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点						
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点						
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点						
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	学校再編計画に基づき、神前小学校及び石田小学校の統合に向けて施設を整備するものであり、必要な事業であるとする。施設整備においては、設計段階から入念な打合せを行って、神前小・石田小両校の意見を抽出することにより、充実した学習環境且つ安全に配慮した施設を整備することができる。とする。						学校再編計画に基づき、神前小学校及び石田小学校の統合に向けて施設を整備するものであり、計画的に事業を進めていく必要があるとする。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	家庭教育支援事業
-----	----------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	23	(23) 家庭と地域の教育力の強化
主要施策	①	①家庭教育の啓発と推進

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	05	社会教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーターを配置し、家庭教育の広報啓発活動や、先輩保護者や保護者同士のコミュニケーションの場づくり、親育ちプログラム後の子育て相談や座談会、講演会、講座等の開催、県や他課の事業とのコーディネート、将来的には各部署の子育て情報の集約を目指す。</li> <li>・ファシリテーターによる親育ちプログラムの実施。</li> </ul>	専門知識を持った人材をコーディネーターとして配置し、体験講座や講演会、親育ちプログラム、就学前保護者啓発事業の実施等、家庭教育の充実を図ることを目的とする。	計画額	758	0	36	12,011	12,805	—	—
			当初予算額	338	0	18	6,075	6,431		
			決算額	200	0	2	2,876	3,078		
H27	家庭教育の問題は、先輩保護者や保護者同士のコミュニケーションが緊密であれば助けになることが多いことから、ファシリテーターと保護者同士が話し合い、お互いの良さに触れ合いながら学んでいく場所づくり(親育ちプログラム)提供をはじめ、子育て相談や座談会、講演会等を開催した。	県委託事業のみんなで朝ごはんプロジェクトや就学前保護者啓発事業の実施した。その他、マネー講座や親育ちプログラム等を開催したほか、家庭教育の広報啓発活動として新たに「育ちのツボ」を毎月発行した。	計画額	188	0	9	2,999	3,196	0.2	1.7
			当初予算額	188	0	9	2,999	3,196		
			決算額	200	0	2	2,876	3,078		
H28	ファシリテーターと保護者同士が話し合い、お互いの良さに触れ合いながら学んでいく場所づくり(親育ちプログラム)提供、子育て相談や座談会、講演会等の開催、県や他課の事業とのコーディネートをする中で、親の不安解消を図る。		計画額	190	0	9	3,002	3,201		
			当初予算額	150	0	9	3,076	3,235		
			決算額							
H29	ファシリテーターと保護者同士が話し合い、お互いの良さに触れ合いながら学んでいく場所づくり(親育ちプログラム)提供、子育て相談や座談会、講演会等の開催、県や他課の事業とのコーディネートをする中で、親の不安解消を図る。各部署の子育て情報の集約に取り組む。		計画額	190	0	9	3,005	3,204		
			当初予算額							
			決算額							
H30	ファシリテーターと保護者同士が話し合い、お互いの良さに触れ合いながら学んでいく場所づくり(親育ちプログラム)提供、子育て相談や座談会、講演会等の開催、県や他課の事業とのコーディネートをする中で、親の不安解消を図る。各部署の子育て情報の集約に取り組む。		計画額	190	0	9	3,005	3,204		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	家庭教育講座・講演会等開催回数	家庭教育講座・講演会等開催回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 28	実績値 28	計画値 28	実績値	計画値 28	実績値	計画値 30	実績値
	就学前保護者啓発回数	就学前保護者啓発回数 (H29前山小学校統廃合のため計画値減)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 17	実績値 17	計画値 16	実績値	計画値 16	実績値	計画値 16	実績値
成果指標	家庭教育講座・講演会等参加者数	家庭教育講座・講演会等参加者数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値 1,000	実績値 1,039	計画値 1,000	実績値	計画値 1,000	実績値	計画値 1,000	実績値
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	19点 /25点	5点	19点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
方向性	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
今後の方向性理由	核家族化の中で、地域での子育て学習の必要性は増大していることから、引き続き、家庭教育講座や講演会等を実施し、家庭教育の充実を図る。					核家族化の中で、地域での子育て学習の必要性は増大していることから、これまでの活動を行いながら、学校等の関係機関と連携し、家庭教育関係の情報を工夫して市民に分かりやすく提供することで、家庭教育の充実を図る。						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	放課後子ども教室推進事業
-----	--------------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	23	(23) 家庭と地域の教育力の強化
主要施策	②	②家庭・地域・学校の連携による教育環境の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	05	社会教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 教育委員会と福祉部局が連携を図り、少子化や核家族化の進行、就労形態の多様化及び家庭や地域の子育て機能・教育力の低下等子どもを取り巻く環境を踏まえ、小学校区で放課後の子どもの安全な活動場所を確保し、総合的な放課後対策として実施し、次世代を担う児童の健全育成を支援することを目的とする。	放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用し、地域の方々の参画を得て、子どもたちに学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の機会を提供する。	計画額	5,824	0	668	2,954	9,446	—	—
			当初予算額	3,123	0	366	1,576	5,065		
			決算額	860	0	166	1,095	2,121		
H27	現在4か所で子ども教室を実施した。運営委員会を開催したほか、コーディネーター(1人)を配置し、各小学校・ボランティア・福祉部局等との連携を図りつつ事業を進めた。	4か所で子ども教室を継続して実施するとともに、未実施校区のさめき北小学校で平成28年度から教室が設置できるよう、学校やボランティアへの協力依頼を行った。	計画額	1,456	0	167	736	2,359	0.3	1.0
			当初予算額	1,456	0	167	736	2,359		
			決算額	860	0	166	1,095	2,121		
H28	具体的取組 現在4か所で子ども教室を実施。運営委員会の開催及び、コーディネーター(1人)を配置し、各小学校・ボランティア・福祉部局等との連携を図り事業を進める。また、ボランティアの募集を行い、未実施の地区に教室が設置できるよう働きかける。		計画額	1,456	0	167	736	2,359		
			当初予算額	1,667	0	199	840	2,706		
			決算額							
H29	現在4か所で子ども教室を実施。運営委員会の開催及び、コーディネーター(1人)を配置し、各小学校・ボランティア・福祉部局等との連携を図り事業を進める。また、ボランティアの募集を行い、未実施の地区に教室が設置できるよう働きかける。		計画額	1,456	0	167	741	2,364		
			当初予算額							
			決算額							
H30	現在4か所で子ども教室を実施。運営委員会の開催及び、コーディネーター(1人)を配置し、各小学校・ボランティア・福祉部局等との連携を図り事業を進める。また、ボランティアの募集を行い、未実施の地区に教室が設置できるよう働きかける。		計画額	1,456	0	167	741	2,364		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
					計画値		計画値		計画値		計画値			
活動指標	放課後子ども教室実施箇所数	放課後子ども教室実施箇所数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	箇所	計画値 4		計画値 5		計画値 5		計画値 5			
	放課後子ども教室実施回数	各放課後子ども教室開催実施回数 (H29前山小学校統廃合のため計画値減)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 320		計画値 320		計画値 200		計画値 200			
成果指標	放課後子ども教室参加述べ人数	各放課後子ども教室参加述べ人数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値 6,600		計画値 7,000		計画値 7,000		計画値 7,000			
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値			
評価	チェック項目(1~5点で評価)					一次評価(担当者)		二次評価(所属長)						
						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計					
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	18点 /25点	5点	19点 /25点				
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	2点		3点					
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点					
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点					
5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点	5点							
今後の方向性	一次評価(担当者)					二次評価(所属長)								
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止					<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止								
理由	放課後の安全な居場所づくりの必要性は増加していることから、今後、地域の要望により事業実施地区が拡大することに伴い、コストの増加が見込まれる。					放課後の安全な居場所づくりの必要性は増加していることから、未実施校区の実施検討、利用児童の増加に伴うボランティアの確保・連携を行い放課後子ども教室活動の更なる充実・推進を図る。 今後、地域の要望により事業実施地区が拡大することに伴い、コストの増加が見込まれる。								

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	学校支援ボランティア推進事業
-----	----------------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	23	(23) 家庭と地域の教育力の強化
主要施策	②	②家庭・地域・学校の連携による教育環境の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	05	社会教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	地域住民が学校支援ボランティアとして学校の教育活動を支援する体制づくりを推進することにより、地域住民が学校や児童生徒と関わりながら自らの知識や経験を活用する機会の拡充を図り、もって市民参加による地域の教育力の向上に寄与する。	学校や子どもの活動を総合的に支援する体制を整備し、子どもへの教育がより充実されるとともに、地域住民が自らの知識や経験を生かす場が広がり、生涯学習社会の実現や地域の教育力の向上を目的とする。	計画額	7,132	0	0	3,568	10,700	—	—
			当初予算額	3,524	0	0	1,762	5,286		
			決算額	1,426	0	0	721	2,147		
H27	既実施のさめぎ南中学校区に加え、新たに志度中学校区に学校支援地域コーディネーターを配置し、学校の要望を踏まえて様々な地域住民の参加を得ながら、授業の補助、部活動の指導、校内の環境整備、登下校時の安全確保に係る活動、学校行事の運営支援などを行った。	志度中学校区にコーディネーターを配置し、活動依頼内容に応じてボランティアを派遣した。また、養成講座を2回開催し、学校、地域、ボランティアの交流に努めた。「たより」による活動報告、啓発活動も継続している。	計画額	1,480	0	0	739	2,219	0.3	0.0
			当初予算額	1,480	0	0	739	2,219		
			決算額	1,426	0	0	721	2,147		
H28	学校支援ボランティア運営委員会と学校支援地域教育協議会の設置。長尾中学校区にも学校支援地域コーディネーターを配置し、学校の要望を踏まえて様々な地域住民の参加を得ながら、授業の補助、部活動の指導、花壇や樹木の整備等の校内の環境整備、登下校時における子どもの安全確保に係る活動、学校行事の運営支援などを行う。		計画額	1,884	0	0	943	2,827		
			当初予算額	2,044	0	0	1,023	3,067		
			決算額							
H29	学校支援ボランティア運営委員会と学校支援地域教育協議会の設置。全中学校区に学校支援地域コーディネーターを配置し、学校の要望を踏まえて様々な地域住民の参加を得ながら、授業の補助、部活動の指導、花壇や樹木の整備等の校内の環境整備、登下校時における子どもの安全確保に係る活動、学校行事の運営支援などを行う。		計画額	1,884	0	0	943	2,827		
			当初予算額							
			決算額							
H30	学校支援ボランティア運営委員会と学校支援地域教育協議会の設置。全中学校区に学校支援地域コーディネーターを配置し、学校の要望を踏まえて様々な地域住民の参加を得ながら、授業の補助、部活動の指導、花壇や樹木の整備等の校内の環境整備、登下校時における子どもの安全確保に係る活動、学校行事の運営支援などを行う。		計画額	1,884	0	0	943	2,827		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値		
活動指標	学校支援ボランティア活動日数	学校でのボランティア活動日数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	日	計画値 1,250	実績値 1,667	計画値 2,500	実績値	計画値 2,500	実績値	計画値 2,500	実績値		
	学校支援ボランティア活動実施か所数	学校支援ボランティア活動実施小・中学校・幼稚園・保育所・児童館等数 (H29前山小学校統廃合のため計画値減)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	か所数	計画値 23	実績値 23	計画値 32	実績値	計画値 31	実績値	計画値 31	実績値		
成果指標	学校支援ボランティア活動実績延べ人数	学校支援ボランティア活動実績延べ人数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値 10,000	実績値 24,271	計画値 11,000	実績値	計画値 11,000	実績値	計画値 11,000	実績値		
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)					一次評価(担当者)		二次評価(所属長)						
						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計					
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	18点 /25点	5点	19点 /25点				
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点					
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	2点		3点					
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	2点		2点					
5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点	5点							
一次評価(担当者)					二次評価(所属長)									
方向性	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					● 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止								
今後の方向性 理由	豊富な人材を有効活用できるよう、学校等に積極的に活動依頼を呼び掛け、学校等が既に持っている人材バンクや地域の既存のボランティア団体との交流を図り、連携して学校支援を行うようにしていく。 また学校の統合により、二つの地区を一人のコーディネーターが担当していることから、今後配置人数の増加に伴い、コスト増加が見込まれる。					地域教育協議会の会議において、各地区の課題や目標が共通設定され、学校・家庭・地域の連携効果とそれぞれの教育力の向上が期待でき、豊富な人材を有効活用できるよう、学校等に積極的に活動依頼を呼び掛け、学校等が既に持っている人材バンクや地域の既存のボランティア団体との交流を図り、連携して学校支援を行うようにしていく。 学校の統合により、二つの地区を一人のコーディネーターが担当していることから、今後配置人数の増加や支援の増加に伴い、コスト増加が見込まれる。								

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	社会教育事業
-----	--------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	①	①生涯学習の推進

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	05	社会教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容		事業費(千円)				担当職員数(人)		
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
				国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27   H30	社会教育(生涯学習)の全般的な推進を行う。さぬき市の生涯学習の推進方針等の審議を行う社会教育委員の会を開催する。	社会教育全般にかかる事業であるとともに、専門分野に属さないが多岐にわたる事業を行う。	計画額	0	0	0	19,647	19,647	—	—
			当初予算額	0	0	0	17,047	17,047		
			決算額	0	0	0	13,089	13,089		
H27	社会教育全般に関する事業を処理した。さぬき市の生涯学習の推進方針等の審議を行う社会教育委員の会などを開催した。	統合により廃校となった中学校に設置されていた空調機器を社会教育施設に移設し機器の有効利用を図った。また、第2次生涯学習基本計画を社会教育委員の会で立案検討し、策定した。	計画額	0	0	0	15,692	15,692	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	15,692	15,692		
			決算額	0	0	0	13,089	13,089		
H28	社会教育全般に関する事業を処理する。さぬき市の生涯学習の推進方針等の審議を行う社会教育委員の会などを開催する。		計画額	0	0	0	1,069	1,069		
			当初予算額	0	0	0	1,355	1,355		
			決算額							
H29	社会教育全般に関する事業を処理する。さぬき市の生涯学習の推進方針等の審議を行う社会教育委員の会などを開催する。		計画額	0	0	0	1,815	1,815		
			当初予算額							
			決算額							
H30	社会教育全般に関する事業を処理する。さぬき市の生涯学習の推進方針等の審議を行う社会教育委員の会などを開催する。		計画額	0	0	0	1,071	1,071		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	社会教育委員の会開催回数	市の生涯学習の推進方針等の審議を行う。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	4	計画値	2	計画値	2	計画値	2
					実績値	2	実績値		実績値		実績値	
成果指標	住民満足度	生涯学習基本計画見直し時の住民アンケート等を用いて住民満足度を図る。(3年に1度程度) ※H27-29については、H26実施アンケートにおける「生涯学習の必要性」に対する肯定的回答率を代用する。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	60	計画値	60	計画値	60	計画値	80
					実績値	63	実績値		実績値		実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
					実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	17点 /25点	4点		18点 /25点
	2. 市民満足の上昇が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点		
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点		
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点		
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点		
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	本事業は、社会教育分野における個別案件以外のもの、または、多分野に渡るものを取り扱っており、緊急性及び多機能的に事業拡大することも考えられるが、平常時における事業については現状維持としたい。						本事業は、社会教育分野における個別案件以外のもの、または、多分野に渡るものを取り扱っており、緊急性及び多機能的に事業拡大することも考えられるが、平常時における事業については生涯学習の中心的役割を担う社会教育委員の会において、適切な助言や指導をいただいていることから現状維持とする。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	成人式実施事業
-----	---------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	①	①生涯学習の推進

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	05	社会教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 成人式典及び交流会事業、記念冊子の企画等から当日受付等運営業務に至るまでを、新成人の手で決め、行う。	新成人による実行委員会を立ち上げ、成人式の企画運営に取り組む中で、新成人の社会人としての自覚を促すことを目的とする。	計画額	0	0	0	5,200	5,200	—	—
			当初予算額	0	0	0	2,600	2,600		
			決算額	0	0	0	1,023	1,023		
H27	式典や交流会をはじめ、記念冊子の企画から当日受付等運営業務に至るまで全てを新成人の手で行う実行委員会形式で成人式を開催した。 参加者379人／対象者527人	県外在住の実行委員とも自発的・積極的に情報の共有や意見交換を行い、企画、運営に至るまで新成人たちの手による成人式となった。新成人たちの社会人としての自覚や地元への愛着心を高めた。	計画額	0	0	0	1,300	1,300	0.4	0.0
			当初予算額	0	0	0	1,300	1,300		
			決算額	0	0	0	1,023	1,023		
H28	新成人自らの手で成人式を創りあげる経緯を以って、社会人としての自覚を促すとともに、心に残る成人式とする。		計画額	0	0	0	1,300	1,300		
			当初予算額	0	0	0	1,300	1,300		
			決算額							
H29	新成人自らの手で成人式を創りあげる経緯を以って、社会人としての自覚を促すとともに、心に残る成人式とする。		計画額	0	0	0	1,300	1,300		
			当初予算額							
			決算額							
H30	新成人自らの手で成人式を創りあげる経緯を以って、社会人としての自覚を促すとともに、心に残る成人式とする。		計画額	0	0	0	1,300	1,300		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	成人式実行委員会参加者数	新成人たちの手による企画・運営を目的として開催される実行委員会への延べ参加人数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	80	計画値	80	計画値	80	計画値	80
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	91	実績値		実績値		実績値	
成果指標	成人式参加率	成人式出席対象者数に対する参加率。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	75	計画値	75	計画値	75	計画値	75
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	72	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	20点 /25点	4点	20点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点			
一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
方向性	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
今後の方向性 理由	新成人の実行委員による声かけ・勧誘により成人式の参加率も増加傾向にあり、出身中学校間の交流も盛んであるため、現状維持としたい。						さぬき市出身及び在住の新成人が一堂に会する機会を設け、新成人の門出を祝うとともに、成人としての自覚を持ち、責任感ある社会人への成長を促す催しとして必要であり、今までと同様に、新成人の実行委員による声かけ・勧誘により成人式の参加率も増加傾向にあり、出身中学校間の交流も盛んであるため現状維持とする。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	青年会補助支援事業
-----	-----------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	①	①生涯学習の推進

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	05	社会教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 活動家研修会や青年大会地区予選等を主催し、勤労青年の交流を深める。	青年間における相互理解と親善を図り、以って地域社会の発展に寄与する。	計画額	0	0	0	292	292	—	—
			当初予算額	0	0	0	146	146		
			決算額	0	0	0	73	73		
H27	青年間における相互理解と親善を図るため、活動助成を行った。 県青年会負担金 23千円、青年会活動補助金50千円	新たな会員を募ることを目的とし、親睦を図るための企画を立ち上げ、県内で行われるイベントにも積極的に参加した。	計画額	0	0	0	73	73	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	73	73		
			決算額	0	0	0	73	73		
H28	青年間における相互理解と親善を図り、以って地域社会の発展に寄与する。		計画額	0	0	0	73	73		
			当初予算額	0	0	0	73	73		
			決算額							
H29	青年間における相互理解と親善を図り、以って地域社会の発展に寄与する。		計画額	0	0	0	73	73		
			当初予算額							
			決算額							
H30	青年間における相互理解と親善を図り、以って地域社会の発展に寄与する。		計画額	0	0	0	73	73		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	青年会会員数	青年会活動の基本となる会員数を増加させることにより活動内容の多様化や、更なる会員確保につながるため。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	20	計画値	20	計画値	20	計画値	25	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	13	実績値		実績値		実績値		
成果指標	青年会主催事業数	青年会の活動として、主催事業の企画・運営を指標とすることで活性化を図る。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	3	計画値	3	計画値	4	計画値	4	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	4	実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	18点 /25点	4点	18点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	生涯学習の基本理念として『いつでも・どこでも・どんなときでも』学習する意欲をかき立てる素地を造ることが目標とされており、乳幼児期から高齢期までの各年代をとおした生涯学習の観点から、青年期の多感な時期を様々な活動を行うことで自身及び子孫の繁栄を目指せるため、現状維持としたい。						青少年を取り巻く環境が厳しさを増す中、健やかな成長の手助けとなる指導者の養成や青少年育成団体への支援は地域の青少年健全育成活動の促進を図るうえで必要であり、生涯学習の基本理念として『いつでも・どこでも・どんなときでも』学習する意欲を掻き立てる素地を造らなければならないとされている。乳幼児期から高齢期の各年代を通しての生涯学習の観点から、青年期の多感な時期を様々な活動を行うことで自身及び子孫の繁栄を目指せるため、現状維持とする。						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	婦人団体補助支援事業
-----	------------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	①	①生涯学習の推進

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	05	社会教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	<p>事業概要</p> <p>婦人団体連絡協議会は、市内地区婦人会の相互の連携及び、現代に則する婦人の資質を高める地位の向上を図る。女性団体連絡会は、市内の女性団体が共に支援協力することにより、それぞれが地域社会における役割を果たし、さめき市の発展に寄与することを目的とする。</p>	<p>婦人団体連絡協議会や女性団体連絡会へ補助金を交付し、団体が協力し、相互に支援し合うことにより、それぞれの団体が地域社会における役割を果たすことを目的とする。</p>	計画額	0	0	0	4,660	4,660	—	—
			当初予算額	0	0	0	2,330	2,330		
			決算額	0	0	0	1,165	1,165		
H27	<p>具体的取組</p> <p>さめき市婦人団体連絡協議会は、婦人会相互の情報交換や研修、講演会、また、家庭、学校、地域社会との連携する活動及び、ボランティア活動に関する活動を行った。女性団体連絡会は市のまちづくり事業や、教育、福祉、経済産業分野において、学習と支援協力を行い、地域、家庭、学校との連携により住みよい社会づくりに貢献していく活動を行った。</p>	<p>婦人団体連絡協議会は、適切な指導や助言のほか、自主的な活動に対して援助を行うよう努めた。女性団体については、各団体との情報の共有化を図り、学習機会の提供に努めた。</p>	計画額	0	0	0	1,165	1,165	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	1,165	1,165		
			決算額	0	0	0	1,165	1,165		
H28	<p>具体的取組</p> <p>さめき市婦人団体連絡協議会は、婦人会相互の情報交換や研修、講演会、また、家庭、学校、地域社会との連携する活動及び、ボランティア活動に関する活動を行う。女性団体連絡会は市のまちづくり事業や、教育、福祉、経済産業分野において、学習と支援協力を行い、地域、家庭、学校との連携により住みよい社会づくりに貢献していく活動を行う。</p>		計画額	0	0	0	1,165	1,165		
			当初予算額	0	0	0	1,165	1,165		
			決算額							
H29	<p>具体的取組</p> <p>さめき市婦人団体連絡協議会は、婦人会相互の情報交換や研修、講演会、また、家庭、学校、地域社会との連携する活動及び、ボランティア活動に関する活動を行う。女性団体連絡会は市のまちづくり事業や、教育、福祉、経済産業分野において、学習と支援協力を行い、地域、家庭、学校との連携により住みよい社会づくりに貢献していく活動を行う。</p>		計画額	0	0	0	1,165	1,165		
			当初予算額							
			決算額							
H30	<p>具体的取組</p> <p>さめき市婦人団体連絡協議会は、婦人会相互の情報交換や研修、講演会、また、家庭、学校、地域社会との連携する活動及び、ボランティア活動に関する活動を行う。女性団体連絡会は市のまちづくり事業や、教育、福祉、経済産業分野において、学習と支援協力を行い、地域、家庭、学校との連携により住みよい社会づくりに貢献していく活動を行う。</p>		計画額	0	0	0	1,165	1,165		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	女性団体連絡会活動回数	女性団体連絡会での講演会等実施回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 10	実績値 9	計画値 10	実績値	計画値 10	実績値	計画値 10	実績値	
	婦人団体連絡協議会活動回数	婦人団体連絡協議会での学習会等実施回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 50	実績値 51	計画値 50	実績値	計画値 50	実績値	計画値 50	実績値	
成果指標	女性団体連絡会参加者数	女性団体連絡会での講演会等参加人数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値 250	実績値 265	計画値 250	実績値	計画値 250	実績値	計画値 250	実績値	
	婦人団体連絡協議会参加者数	婦人団体連絡協議会での学習会等参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値 1,400	実績値 1,417	計画値 1,400	実績値	計画値 1,400	実績値	計画値 1,400	実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	16点 /25点	4点		17点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	2点		2点			
5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点	5点					
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	<p>婦人団体連絡協議会については、各種行事の応援や支援、自主的な講演会の実施など、積極的な活動を展開しており、その活動回数も増加傾向である。最低限の活動補助を行っており、団体自らが活動時のコスト節減に努めているため現状維持とする。</p> <p>女性団体連絡会については、現在さぬぎ市の教育、福祉及び経済関係を代表する7団体が所属し、講演会や市長と意見交換会の実施等を行っているが、複数の団体に所属している会員には負担となるなど課題もみられるため、今後の活動方針について検討する必要がある。</p>						<p>婦人団体連絡協議会については、各種行事の応援や支援、自主的な講演会の実施など、積極的な活動を展開しており、その活動回数も増加傾向である。最低限の活動補助を行っており、団体自らが活動時のコスト節減に努めているため現状維持とする。</p> <p>女性団体連絡会については、現在さぬぎ市の教育、福祉及び経済関係を代表する7団体が所属し、講演会や市長と意見交換会の実施等を行っているが、複数の団体に所属している会員には負担となるなど課題もみられるため、今後の活動方針について検討する必要がある。</p> <p>現代に即する婦人の資質を高める地位の向上を図り、相互に支援協力を図る活動を支援することは、市の責務と考える。</p>						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	子ども会補助支援事業
-----	------------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	①	①生涯学習の推進

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	05	社会教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	<p>宿泊キャンプを主催し、小規模校の増加等により、キャンプに参加できない子どもたちに対し、自然に親しむ機会を設ける。また、指導者・育成者研修等で、育成者の意識を高める。</p>	<p>少子化により、キャンプなどを単位子ども会等で行うことが難しくなってきたため、子ども達に自然に親しむ場や体験活動の場を提供する。また、研修会により、育成者に子ども会活動の運営方法などを伝えている。</p>	計画額	0	0	0	4,176	4,176	—	—
			当初予算額	0	0	0	2,088	2,088		
			決算額	0	0	0	1,044	1,044		
H27	<p>市内の子ども会育成会が相互に連携し、情報の交換・交流を通して子どもの健全育成並びに育成者の資質向上を図った。 指導者・育成者研修会 2回(125名、173名) 子ども会リーダーキャンプ 1回(105名) ジュニアリーダー研修会 1回(10名)</p>	<p>キャンプでは定員以上の参加募集があったが全員の参加を受け入れ、より多くの子ども達が体験活動を経験した。また、子どもが主体となる子ども会活動にするためのテーマを中心に育成者研修会を行った。</p>	計画額	0	0	0	1,044	1,044	0.5	0.0
			当初予算額	0	0	0	1,044	1,044		
			決算額	0	0	0	1,044	1,044		
H28	<p>市内の子ども会育成会が相互に連絡し、情報の交換・交流を通して適切な事業や運営を研究し、子どもの健全育成並びに育成者の資質向上に資する。</p>		計画額	0	0	0	1,044	1,044		
			当初予算額	0	0	0	1,044	1,044		
			決算額							
H29	<p>市内の子ども会育成会が相互に連絡し、情報の交換・交流を通して適切な事業や運営を研究し、子どもの健全育成並びに育成者の資質向上に資する。</p>		計画額	0	0	0	1,044	1,044		
			当初予算額							
			決算額							
H30	<p>市内の子ども会育成会が相互に連絡し、情報の交換・交流を通して適切な事業や運営を研究し、子どもの健全育成並びに育成者の資質向上に資する。</p>		計画額	0	0	0	1,044	1,044		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	市子ども会育成連絡協議会主催事業数	単位子ども会や校区子ども会ではできない取組を市子ども会育成連絡協議会が行うことで、子どもたちに様々な体験学習の場を提供する。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	4	計画値	5	計画値	4	計画値	5
					実績値	4	実績値		実績値		実績値	
成果指標	市子ども会育成連絡協議会主催事業参加率	子どもだけでなく育成者(保護者等)の研さんも目的としているため、両者を含めた参加率としている。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	80	計画値	80	計画値	80	計画値	80
					実績値	77	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
評価	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	20点 /25点	4点	20点 /25点	4点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点				4点		
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点				4点		
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点				4点		
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点				4点		
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	青少年を取り巻く環境が激変する中、児童期に大切な知恵・考える力を育てるとともに、育成者である親世代の子どもとの接し方を再確認できる機会と捉え大変重要な事業である。						青少年を取り巻く環境が激変する中、健やかな成長の手助けとなる指導者の養成や青少年育成団体への支援は、児童期に大切な知恵・考える力を育てるとともに、育成者である親世代の子どもとの接し方を再確認できる機会と捉え大変重要な事業である。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	PTA補助支援事業
-----	-----------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	①	①生涯学習の推進

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	05	社会教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 クリーン活動やスポーツ大会、学習会等を開催し、地域への貢献とともに、子ども・保護者・学校間の交流を深める。	学校と保護者との連携強化を図るとともに、地域社会との関わりを深め、地域で子どもを見守り育てよう努める。	計画額	0	0	0	480	480	—	—
			当初予算額	0	0	0	240	240		
			決算額	0	0	0	120	120		
H27	学校・家庭・地域社会との連携を深め、幼児・児童・生徒の健全育成と福祉の増進を図った。	学校と保護者との連携強化を図るとともに、地域社会との関わりを深め、地域で子どもを見守り育てよう努めた。	計画額	0	0	0	120	120	0.0	0.3
			当初予算額	0	0	0	120	120		
			決算額	0	0	0	120	120		
H28	学校・家庭・地域社会との連携を深め、幼児・児童・生徒の健全育成と福祉の増進を図り、社会の発展に寄与する。		計画額	0	0	0	120	120		
			当初予算額	0	0	0	120	120		
			決算額							
H29	学校・家庭・地域社会との連携を深め、幼児・児童・生徒の健全育成と福祉の増進を図り、社会の発展に寄与する。		計画額	0	0	0	120	120		
			当初予算額							
			決算額							
H30	学校・家庭・地域社会との連携を深め、幼児・児童・生徒の健全育成と福祉の増進を図り、社会の発展に寄与する。		計画額	0	0	0	120	120		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	母親代表研修会開催回数	各地域における母親同士の交流の機会を作り、研修会を行うことで、子育てに関する知識を深め、家庭教育の充実化を目指す。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	4	計画値	4	計画値	4	計画値	4	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	4	実績値		実績値		実績値		
成果指標	母親代表研修会参加人数	研修会参加人数を指標とすることで、研修内容の魅力及び要望講座、また、出席しやすい曜日・時間が把握できるため、より良い研修となる。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	80	計画値	80	計画値	80	計画値	80	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	79	実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	20点 /25点	4点	19点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	PTA活動に対する支援は、将来を担う子どもたちの育成とともに、親世代と地域を結ぶ大事な事業である。青少年の健全育成と社会貢献等の発展に寄与する事業であるため現状維持としたい。						PTA活動に対する支援は、将来を担う子どもたちの育成とともに、親世代と地域を結ぶ大事な事業である。青少年の健全育成と福祉の増進を図り、社会貢献等の発展に寄与する事業であるため現状維持とする。						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	文化団体支援事業
-----	----------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月19日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	①	①生涯学習の推進

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	40	文化振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 市内各種文化団体の育成を図ると共に、活発な活動をとおして市の文化振興を図ると共に助成金等を交付する。また、志度音楽ホール・平賀源内記念館の維持管理を行う財団には、市民の創作活動を助長すると共に音楽芸術活動の拠点となるよう助成する。	市内各種文化団体の育成を通して、市の文化振興を図る。	計画額	0	0	4,000	123,946	127,946	—	—
			当初予算額	0	0	2,000	61,087	63,087		
			決算額	0	0	1,000	30,110	31,110		
H27	さぬき市文化協会に補助金を交付したほか、志度音楽ホール・平賀源内記念館の指定管理者である(公財)さぬき市文化振興財団・(公財)平賀源内先生顕彰会にそれぞれ管理運営助成金を交付した。 また、平賀源内記念館の土地・建物の借上料を(公財)南海育英会に支払った。	各団体が主催する事業に協力し、文化振興を図った。	計画額	0	0	1,000	30,680	31,680	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	1,000	30,680	31,680		
			決算額	0	0	1,000	30,110	31,110		
H28	具体的取組 さぬき市文化協会に補助金を交付する。 志度音楽ホール・平賀源内記念館の指定管理者であります、(公財)さぬき市文化振興財団・(公財)平賀源内先生顕彰会にそれぞれ管理運営助成金を交付する。 平賀源内記念館の土地・建物の借上料を(公財)南海育英会に支払いをする。		計画額	0	0	1,000	30,680	31,680		
			当初予算額	0	0	1,000	30,407	31,407		
			決算額							
H29	さぬき市文化協会に補助金を交付する。 志度音楽ホール・平賀源内記念館の指定管理者であります、(公財)さぬき市文化振興財団・(公財)平賀源内先生顕彰会にそれぞれ管理運営助成金を交付する。 平賀源内記念館の土地・建物の借上料を(公財)南海育英会に支払いをする。		計画額	0	0	1,000	31,293	32,293		
			当初予算額							
			決算額							
H30	さぬき市文化協会に補助金を交付する。 志度音楽ホール・平賀源内記念館の指定管理者であります、(公財)さぬき市文化振興財団・(公財)平賀源内先生顕彰会にそれぞれ管理運営助成金を交付する。 平賀源内記念館の土地・建物の借上料を(公財)南海育英会に支払いをする。		計画額	0	0	1,000	31,293	32,293		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	文化協会加入団体数	文化協会加入団体数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	団体	計画値	140	計画値	140	計画値	140	計画値	140
					実績値	142	実績値		実績値		実績値	
成果指標			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
					実績値		実績値		実績値		実績値	
	文化協会加入会員数	文化協会加入会員数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	1,800	計画値	1,800	計画値	1,800	計画値	1,800
					実績値	1,708	実績値		実績値		実績値	
志度音楽ホール入館者数	志度音楽ホール入館者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	28,000	計画値	28,000	計画値	28,000	計画値	28,000	
				実績値	29,346	実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		4点	17点 /25点	4点		19点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		3点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		3点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)							
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止				○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止							
理由	各種団体・実行委員会への運営助成金・補助金を交付し、自主的に運営をすることで、市民の芸術文化への意識向上の推進、地域住民の交流を行っている。				市内各種文化団体の育成を図ると共に、活発な活動を通して市の文化振興を図ることは必要である。							

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	保健体育事業
-----	--------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	②	②生涯スポーツの推進

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	35	保健体育費
目	05	保健体育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 市民の生涯スポーツ推進指導者であるスポーツ推進委員に対する報酬。そのスポーツ推進委員の資質向上を図るため県内外の研修会に派遣する。次世代のスポーツ指導者の育成に向け、各種指導者研修会参加者に対する旅費を補助。特色ある総合型地域スポーツクラブ設立検討委員会委員に対する謝礼。	生涯スポーツの推進指導者であるスポーツ推進委員の資質向上と意識向上を図ることで、市民への生涯スポーツの普及と推進を行い、健康と体づくりの意識定着を目指す。	計画額	0	0	0	9,832	9,832	—	—
			当初予算額	0	0	0	4,693	4,693		
			決算額	0	0	0	2,246	2,246		
H27	県内外で開催されるスポーツ推進委員を対象とした各種研修会等に参加し、スポーツ推進委員の資質向上と生涯スポーツ推進指導者としての意識向上を図り、本市の地域スポーツリーダーとして生涯スポーツ団体、競技スポーツ団体の自主的活動をサポートし、各種団体の組織活性化を図った。	スポーツ推進委員会の広報研修部会において、スポーツ推進委員の資質向上に役立つ内容の研修提案を行い、研修会を実施した。	計画額	0	0	0	2,349	2,349	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	2,349	2,349		
			決算額	0	0	0	2,246	2,246		
H28	具体的取組 県内外で開催されるスポーツ推進委員を対象とした各種研修会等に参加し、スポーツ推進委員の資質向上と生涯スポーツ推進指導者としての意識向上を図り、本市の地域スポーツリーダーとして生涯スポーツ団体、競技スポーツ団体の自主的活動をサポートし、各種団体の組織活性化及びスポーツの振興を目指す。		計画額	0	0	0	2,463	2,463		
			当初予算額	0	0	0	2,344	2,344		
			決算額							
H29	県内外で開催されるスポーツ推進委員を対象とした各種研修会等に参加し、スポーツ推進委員の資質向上と生涯スポーツ推進指導者としての意識向上を図り、本市の地域スポーツリーダーとして生涯スポーツ団体、競技スポーツ団体の自主的活動をサポートし、各種団体の組織活性化及びスポーツの振興を目指す。		計画額	0	0	0	2,510	2,510		
			当初予算額							
			決算額							
H30	県内外で開催されるスポーツ推進委員を対象とした各種研修会等に参加し、スポーツ推進委員の資質向上と生涯スポーツ推進指導者としての意識向上を図り、本市の地域スポーツリーダーとして生涯スポーツ団体、競技スポーツ団体の自主的活動をサポートし、各種団体の組織活性化及びスポーツの振興を目指す。		計画額	0	0	0	2,510	2,510		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	スポーツ推進委員を対象とした市・県・その他の主体が開催した研修への参加案内回数	スポーツ推進委員向けの研修参加者募集のための周知回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 5	実績値 5	計画値 5	実績値	計画値 5	実績値	計画値 5	実績値	
	スポーツ推進委員向けの研修を企画提案する広報研修部会の開催数	研修の企画提案を行う広報研修部会の開催数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 1	実績値 1	計画値 2	実績値	計画値 2	実績値	計画値 2	実績値	
成果指標	スポーツ推進委員向けの研修への参加者数	周知された研修に対して実際に参加した人数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値 50	実績値 52	計画値 50	実績値	計画値 50	実績値	計画値 50	実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	18点 /25点	4点		19点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点	4点					
方向性						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							
今後の方向性理由						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							
<p>地域・市民スポーツを推進する上で指導者の養成は必要不可欠であり、人材育成は地方公共団体の努力義務としてスポーツ基本法第11条にも定められている。今後も引き続き、スポーツ推進委員に対し研修の提案と研修会参加の案内を行っていく。また、スポーツ推進委員以外の市民についても、県の主催する指導者養成講座等の周知案内を行っていくことは検討の余地があるが、周知する対象をどうするかや周知にかかるリソースコスト(人・時間・費用)について考える必要があるため、早急に実行に移すことは難しいと判断する。</p>						<p>地域・市民スポーツを推進する上で基礎知識を含め、より実践的な指導者の養成は必要不可欠であり、人材育成は地方公共団体の努力義務としてスポーツ基本法第11条にも定められている。今後も引き続き、スポーツ推進委員に対し研修の提案と研修会参加の案内を行っていく。また、スポーツ推進委員以外の市民についても、県の主催する指導者養成講座等の周知案内を行っていくことは検討の余地があるが、周知する対象をどうするかや周知にかかるリソースコスト(人・時間・費用)について考える必要があるため、早急に実行に移すことは難しいと判断する。</p>							

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	スポーツ普及事業
-----	----------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	②	②生涯スポーツの推進

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	35	保健体育費
目	05	保健体育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 各種教室や各種大会を開催し、広く市民に生涯スポーツの普及と推進を図り、健康と体力づくりの意識の定着と市民相互の連帯感を醸成し、明るく健康な街づくりを目指す。	日頃運動機会に接していない市民を対象として各種教室やニュースポーツ教室を開催し、生涯スポーツの普及と推進を目指す。	計画額	0	0	0	1,127	1,127	—	—
			当初予算額	0	0	0	711	711		
			決算額	0	0	0	243	243		
H27	日頃、運動機会に接していない市民を対象として、各種教室やニュースポーツ教室を開催し、生涯スポーツの普及と推進を図った。 また、その成果大会など各種大会を開催することにより、市民の交流を図り連帯感の醸成と健康体力づくりを目指した。	各種ニュースポーツ教室を継続開催するとともに、ニュースポーツの大会としてキンボール大会を開催した。	計画額	0	0	0	265	265	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	265	265		
			決算額	0	0	0	243	243		
H28	日頃、運動機会に接していない市民を対象として、各種教室やニュースポーツ教室を開催し、生涯スポーツの普及と推進を図る。 また、その成果大会など各種大会を開催することにより、市民の交流を図り連帯感の醸成と健康体力づくりを図る。		計画額	0	0	0	286	286		
			当初予算額	0	0	0	446	446		
			決算額							
H29	日頃、運動機会に接していない市民を対象として、各種教室やニュースポーツ教室を開催し、生涯スポーツの普及と推進を図る。 また、その成果大会など各種大会を開催することにより、市民の交流を図り連帯感の醸成と健康体力づくりを図る。		計画額	0	0	0	288	288		
			当初予算額							
			決算額							
H30	日頃、運動機会に接していない市民を対象として、各種教室やニュースポーツ教室を開催し、生涯スポーツの普及と推進を図る。 また、その成果大会など各種大会を開催することにより、市民の交流を図り連帯感の醸成と健康体力づくりを図る。		計画額	0	0	0	288	288		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	ニュースポーツやその他各種の出前教室の開催数	市民からの依頼に基づき開催した出前教室等	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	10	計画値	12	計画値	12	計画値	12	
					実績値	12	実績値		実績値		実績値		
成果指標	各種ニュースポーツの出前教室の参加者数	教室参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	500	計画値	500	計画値	500	計画値	500	
					実績値	534	実績値		実績値		実績値		
成果指標	キンポール大会の参加者数	大会参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	40	計画値	50	計画値	50	計画値	50	
					実績値	40	実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	17点 /25点	4点		17点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	ニュースポーツの出前教室や障がい者支援施設での出前ゲーム教室といった各種の教室を毎年行っており、その参加者は少しずつではあるが増加傾向がある。また、平成27年度から小学生向けのキンポールの大会を開催しており、その大会の参加人数を今後の計画策定へのひとつの指標として考えていることから、現時点では現状維持で事業を進めることとする。						ニュースポーツの出前教室や障がい者支援施設での出前ゲーム教室といった各種の教室を毎年行っており、その参加者は少しずつではあるが増加傾向がある。また、平成27年度から小学生向けのキンポールの大会を開催しており、その大会の参加人数を今後の計画策定へのひとつの指標として考えていることから、現時点では現状維持で事業を進めることとする。						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	スポーツ奨励事業
-----	----------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	②	②生涯スポーツの推進

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	35	保健体育費
目	05	保健体育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	地域スポーツの推進と健康体づくりを推進している、さぬき市体育協会及び各種団体、実行委員会並びに個人に補助金を交付し、自主的運営能力の向上と組織活性の推進を図ると共に、市民の生涯スポーツの推進と体づくりの習慣性の定着を図り、健康で活気ある街づくりに資する。	積極的に活動を実施している団体やスポーツ事業を主催する実行委員会へ補助金を交付し、地域住民を交流を推進し、生涯スポーツの普及を目的とする。	計画額	0	0	0	60,500	60,500	—	—
			当初予算額	0	0	0	29,770	29,770		
			決算額	0	0	0	15,780	15,780		
H27	県予選会等を経て県代表となり、世界大会・全国大会に参加する個人に対し賞賜金を交付したほか、生涯スポーツの推進に中心的な役割を担っている、市内各種団体、実行委員会に対し運営補助金を交付した。また、スポーツ少年団が8月にドイツスポーツ少年団と交流を行った。このほか、寒川高校の甲子園出場に際して激励金を交付した。	各団体が主催するスポーツ事業にスポーツ推進委員も協力しスポーツの振興を図った。また、スポーツ振興賞賜金制度について広報で制度周知を行った。	計画額	0	0	0	15,050	15,050	0.6	0.0
			当初予算額	0	0	0	15,050	15,050		
			決算額	0	0	0	15,780	15,780		
H28	県予選会等を経て県代表となり、世界大会・全国大会に参加する個人に対し賞賜金を交付する。 生涯スポーツの推進に中心的な役割を担っている、市内各種団体、実行委員会に対し運営補助金を交付(体育協会・市民運動会・スポーツ少年団・へんろウォーク・クロスカントリー)。		計画額	0	0	0	15,050	15,050		
			当初予算額	0	0	0	14,720	14,720		
			決算額							
H29	県予選会等を経て県代表となり、世界大会・全国大会に参加する個人に対し賞賜金を交付する。 生涯スポーツの推進に中心的な役割を担っている、市内各種団体、実行委員会に対し運営補助金を交付(体育協会・市民運動会・スポーツ少年団・へんろウォーク・クロスカントリー)。		計画額	0	0	0	15,200	15,200		
			当初予算額							
			決算額							
H30	県予選会等を経て県代表となり、世界大会・全国大会に参加する個人に対し賞賜金を交付する。 生涯スポーツの推進に中心的な役割を担っている、市内各種団体、実行委員会に対し運営補助金を交付(体育協会・市民運動会・スポーツ少年団・へんろウォーク・クロスカントリー)。		計画額	0	0	0	15,200	15,200		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	スポーツ振興賞賜金の制度周知回数	広報紙等での住民への周知回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	1	計画値	2	計画値	2	計画値	2
					実績値	1	実績値		実績値		実績値	
成果指標	スポーツ振興賞賜金の交付件数	世界大会・全国大会へ出場した選手・監督への賞賜金交付件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	120	計画値	104	計画値	104	計画値	104
					実績値	54	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	17点 /25点	3点	18点 /25点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点						
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点						
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点						
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点						
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
	各種団体・実行委員会への運営助成金・補助金を交付し、自主的に運営をし、市民の生涯スポーツの推進、地域住民の交流を行っている。						各種団体・実行委員会への運営助成金・補助金を交付し、自主的に運営をし、市民の生涯スポーツの推進、地域住民の交流を行っている。					
	理由											

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	公民館事業
-----	-------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	10	公民館費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 市内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行う。	住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。	計画額	0	0	0	5,728	5,728	—	—
			当初予算額	0	0	0	2,874	2,874		
			決算額	0	0	0	1,247	1,247		
H27	公民館運営審議会・公民館協力委員会・親子教室・高齢者学級等の公民館全体の事業を行った。	館独特の色合いを強調させ、公民館の認知度を高めるため、寒川公民館長による「館長おでかけ講座」など、各公民館が自主事業を実施した。	計画額	0	0	0	1,428	1,428	0.2	1.8
			当初予算額	0	0	0	1,428	1,428		
			決算額	0	0	0	1,247	1,247		
H28	公民館運営審議会・公民館協力委員会・親子教室・高齢者学級等の公民館全体の事業を行う。		計画額	0	0	0	1,428	1,428		
			当初予算額	0	0	0	1,446	1,446		
			決算額							
H29	公民館運営審議会・公民館協力委員会・親子教室・高齢者学級等の公民館全体の事業を行う。		計画額	0	0	0	1,436	1,436		
			当初予算額							
			決算額							
H30	公民館運営審議会・公民館協力委員会・親子教室・高齢者学級等の公民館全体の事業を行う。		計画額	0	0	0	1,436	1,436		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	公民館等自主講座数	公民館で実施されている自主講座数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	講座	計画値	210	計画値	220	計画値	220	計画値	220
					実績値	214	実績値		実績値		実績値	
	公民館等自主講座生数	公民館の自主講座に参加している生徒数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	3,000	計画値	3,000	計画値	3,000	計画値	3,000
					実績値	2,857	実績値		実績値		実績値	
成果指標	公民館利用者数	公民館施設の利用者数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	80,000	計画値	80,000	計画値	80,000	計画値	80,000
					実績値	74,347	実績値		実績値		実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		5点	18点 /25点	5点		19点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		4点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		2点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		3点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)							
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止				○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止							
理由	施設使用料及び減免規定の改定利用規程検討し、施設ごとの使用料のばらつきを解消する。				施設使用料及び減免規定の改定利用規程検討し、施設ごとの使用料のばらつきを解消する。社会教育の奨励に必要な事業実施等は社会教育法で努めなければならないとされており、市が責任を持って実施すべきであり、講座参加者は満足度が高い。							

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	公民館管理事業
-----	---------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	10	公民館費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 市内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行う。	住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。	計画額	0	0	8,880	168,333	177,213	—	—
			当初予算額	584	0	4,540	101,249	106,373		
			決算額	0	0	2,169	41,468	43,637		
H27	公民館の管理運営を行った。 旧鴨部幼稚園(新鴨部公民館)の園庭舗装工事を実施した。	利用者の利便性を向上をさせることで、生涯学習活動の活性化を図った。	計画額	0	0	2,220	43,124	45,344	0.6	3.8
			当初予算額	0	0	2,220	43,124	45,344		
			決算額	0	0	2,169	41,468	43,637		
H28	具体的取組 公民館の管理運営を行う。 津田公民館北山分館の耐震診断の実施。 長尾公民館西側及び郵便局東側駐車場の舗装。 長尾公民館造田分館空調機の移設。		計画額	0	0	2,220	41,547	43,767		
			当初予算額	584	0	2,320	58,125	61,029		
			決算額							
H29	公民館の管理運営を行う。		計画額	0	0	2,220	41,831	44,051		
			当初予算額							
			決算額							
H30	公民館の管理運営を行う。		計画額	0	0	2,220	41,831	44,051		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	公民館運営協力委員会開催数	各公民館において、より良く快適に公民館を使用するための会を開くことで公民館利用者数の増大を図る。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	12	計画値	12	計画値	12	計画値	12
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	10	実績値		実績値		実績値	
成果指標	公民館利用者数	各公民館の利用者数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	80,000	計画値	80,000	計画値	80,000	計画値	80,000
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	74,349	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	15点 /25点	5点	18点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	2点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	2点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由						理由						
公民館は、地域のコミュニティ活動の拠点としてだけでなく、緊急避難場所・避難所に指定されている施設も多いため、維持管理については今後も利用環境の向上に努めていく。						公民館は、地域のコミュニティ活動の拠点としてだけでなく、緊急避難場所・避難所に指定されている施設も多いため、維持管理については今後も利用環境の向上に努めていくが、施設の老朽化が進み補修や大規模改修を必要とする箇所も増えている。						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	働く婦人の家管理事業
-----	------------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	25	社会教育施設管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容		事業費(千円)				担当職員数(人)		
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源			
H27   H30	<b>事業概要</b> 働く女性のための、職場生活と家庭生活との調和と福祉の増進をするための事業を行うことを目的としているが、近年は男女共同参画により、男女関係なく総理解と協力で文化的な生活の増進を図っている。施設の利用を活発にするため、利用者協議会を設立し、利用者間で施設利用のさらなる活用への努力を行っている。	社会教育活動を円滑及び活発にするために、その拠点となる施設として、維持管理し効率よく運営する。	計画額	0	0	1,168	16,795	17,963	—	—
			当初予算額	0	0	584	10,515	11,099		
			決算額	0	0	267	4,012	4,279		
H27	社会教育活動を円滑及び活発にするための拠点施設として、維持管理や効率的な運営に努めた。	志度働く婦人の家利用者協議会からの施設修繕要望に対応し、修繕等を行った。	計画額	0	0	292	4,168	4,460	0.2	0.5
			当初予算額	0	0	292	4,168	4,460		
			決算額	0	0	267	4,012	4,279		
H28	<b>具体的取組</b> 社会教育活動を円滑及び活発にするために、その拠点となる施設として、維持管理し効率よく運営する。	社会教育活動を円滑及び活発にするために、その拠点となる施設として、維持管理し効率よく運営する。	計画額	0	0	292	4,172	4,464		
			当初予算額	0	0	292	6,347	6,639		
			決算額							
H29	社会教育活動を円滑及び活発にするために、その拠点となる施設として、維持管理し効率よく運営する。	社会教育活動を円滑及び活発にするために、その拠点となる施設として、維持管理し効率よく運営する。	計画額	0	0	292	4,225	4,517		
			当初予算額							
			決算額							
H30	社会教育活動を円滑及び活発にするために、その拠点となる施設として、維持管理し効率よく運営する。	社会教育活動を円滑及び活発にするために、その拠点となる施設として、維持管理し効率よく運営する。	計画額	0	0	292	4,230	4,522		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	働く婦人の家運営委員会 開催回数	働く婦人の家における各種事業の企画実施について 調査審議する機関の開催回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	1	計画値	1	計画値	1	計画値	1	
					実績値	1	実績値		実績値		実績値		
成果指標	利用者数	働く婦人の家の利用者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	25,000	計画値	25,000	計画値	25,000	計画値	25,000	
					実績値	24,815	実績値		実績値		実績値		
成果指標	利用延べ回数	働く婦人の家の利用回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	1,950	計画値	1,950	計画値	1,950	計画値	1,950	
					実績値	1,899	実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	15点 /25点	4点	17点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	2点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	2点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	地域のコミュニティ活動の拠点として、維持管理については、今後も利用環境の向上に努めていく。 施設使用料及び減免規定の改定利用規程を公民館に準じるように検討する。						地域のコミュニティ活動の拠点として、維持管理については、今後も利用環境の向上に努めていくが、施設の老朽化が進み補修を必要とする箇所も増えている。 施設使用料及び減免規定の改定利用規程を公民館に準じるように検討する。						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	生涯学習館管理事業
-----	-----------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	25	社会教育施設管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	市民の生涯学習活動の場、地域の拠点として生涯学習館の維持管理を行う。	企業従業員の教育研修及び人材育成を図り、地域の産業振興及び技術向上に寄与する。さらに、市民の学習活動の場に供し、企業と住民の交流と融和を図る。	計画額	0	0	732	10,600	11,332	—	—
			当初予算額	0	0	366	5,518	5,884		
			決算額	0	0	174	3,164	3,338		
H27	社会教育活動を円滑及び活発にするための拠点施設として、維持管理し効率的な運営に努めた。	老朽化した高圧開閉器の交換を行い、利用環境の向上に努めた。	計画額	0	0	183	2,648	2,831	0.2	0.2
			当初予算額	0	0	183	2,648	2,831		
			決算額	0	0	174	3,164	3,338		
H28	社会教育活動を円滑及び活発にするために、その拠点となる施設として、維持管理し効率よく運営する。		計画額	0	0	183	2,648	2,831		
			当初予算額	0	0	183	2,870	3,053		
			決算額							
H29	社会教育活動を円滑及び活発にするために、その拠点となる施設として、維持管理し効率よく運営する。		計画額	0	0	183	2,652	2,835		
			当初予算額							
			決算額							
H30	社会教育活動を円滑及び活発にするために、その拠点となる施設として、維持管理し効率よく運営する。		計画額	0	0	183	2,652	2,835		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値		計画値		計画値		計画値		
活動指標	合同清掃開催数	利用者同士で清掃を行うことで利用しやすい環境を整えらるとともに、交流と融和を図る。	<input type="checkbox"/> 総合計画	回	計画値	2	計画値	2	計画値	2	計画値	2	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	2	実績値		実績値		実績値		
				<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値	
				<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値	
成果指標	利用者数	生涯学習館の利用者数	<input type="checkbox"/> 総合計画	人	計画値	15,500	計画値	15,500	計画値	15,500	計画値	15,500	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	12,121	実績値		実績値		実績値		
	利用延べ回数	生涯学習館の利用回数		<input type="checkbox"/> 総合計画	回	計画値	1,000	計画値	1,000	計画値	1,000	計画値	1,000
						<input type="checkbox"/> 総合戦略	実績値	929	実績値		実績値		実績値
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		5点	17点 /25点	5点		19点 /25点		
	2. 市民満足の上昇が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		2点		3点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		3点		3点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		2点		3点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		5点		5点				
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)								
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止				○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止								
理由	地域のコミュニティ活動の拠点として、維持管理については、今後も利用環境の向上に努めていく。 施設使用料及び減免規定の改定利用規程を公民館に準じるように検討する。				地域のコミュニティ活動の拠点として、維持管理については、今後も利用環境の向上に努めていくが、施設の老朽化が進み補修を必要とする箇所も増えている。 施設使用料及び減免規定の改定利用規程を公民館に準じるように検討する。								

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	青少年交流プラザ管理事業
-----	--------------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月14日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	25	社会教育施設管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	市民の相互交流を図り、広く生涯学習を展開する拠点として、さぬき市青少年交流プラザの維持管理を行う事業である。	交流プラザの情報を市民に提供する場としての性質だけでなく、老若男女問わず交流できる場や会議・イベントを行う場としての機能を持つ施設の管理運営を行う。	計画額	0	0	1,088	20,360	21,448	—	—
			当初予算額	0	0	543	10,533	11,076		
			決算額	0	0	193	5,295	5,488		
H27	青少年交流プラザの管理運営を行った。	憩いの場としての利用だけでなく、ボランティアなど各団体の会議の利用や図書館との共催等のイベントを行った。また、月末日休館を変更することにより、利用者の増加を図った。	計画額	0	0	272	5,090	5,362	0.4	0.2
			当初予算額	0	0	272	5,090	5,362		
			決算額	0	0	193	5,295	5,488		
H28	青少年交流プラザの管理運営を行う。 平成28年度は、シーリングファンの点検を行う。		計画額	0	0	272	5,090	5,362		
			当初予算額	0	0	271	5,443	5,714		
			決算額							
H29	青少年交流プラザの管理運営を行う。		計画額	0	0	272	5,090	5,362		
			当初予算額							
			決算額							
H30	青少年交流プラザの管理運営を行う。		計画額	0	0	272	5,090	5,362		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値		計画値		計画値		計画値		
活動指標	行事開催数	青少年交流プラザで開催した行事数 (ふれあいコーナー)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	5	計画値	5	計画値	5	計画値	5	
					実績値	3	実績値		実績値		実績値		
成果指標	ふれあいコーナー利用者数	青少年交流プラザのふれあいコーナーの利用者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	10,000	計画値	10,000	計画値	10,000	計画値	10,000	
					実績値	8,771	実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	18点 /25点	4点	18点 /25点				
	2. 市民満足の上昇が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点							3点
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点							3点
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点							4点
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点							4点
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	一時は減少傾向にあった入館者数であるが、青少年交流プラザを利用したイベントの取組や月末日休館の変更(月末日が土・日曜日の場合は金曜日に変更・7月末日は休館しない)などにより、増加傾向となった。今後も、ふれあいコーナーの積極的な利用(会議やイベントなど)により入館者数を増加させていきたい。						一時は減少傾向にあった入館者数であるが、青少年交流プラザを利用したイベントの取組や月末日休館の変更(月末日が土・日曜日の場合は金曜日に変更・7月末日は休館しない)などにより、増加傾向となった。ふれあいコーナー等の積極的な利用(会議やイベントなど)により、入館者数を増加させていきたい。 地域密着型かつ全世代対応型の施設であることから、今後も必要最小限の経費で長く継続する必要がある。						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	南川自然の家管理事業
-----	------------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	25	社会教育施設管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 豊かな自然環境の中で宿泊学習を行い、自然教室や体験学習を通じて情操を豊かにし、健全な育成を図る。	青少年の健全育成事業の一環として、自然体験学習及び集団宿泊学習における教育活動の一端を担う。	計画額	0	0	7,444	13,558	21,002	—	—
			当初予算額	0	0	3,881	8,193	12,074		
			決算額	0	0	2,322	2,608	4,930		
H27	児童・生徒が豊かな自然環境の中で宿泊学習を行い、友情や連帯感を深めるとともに、体験学習を通じて情操を豊かにし、健全な育成を図る拠点となる施設として、維持管理・運営に努めた。	管理人を常時雇用したことにより、相談及び見学等施設利用者に利便性を高めることができ、また、料金徴収の面においても有効な手段となった。	計画額	0	0	1,861	3,356	5,217	0.4	1.0
			当初予算額	0	0	1,861	3,356	5,217		
			決算額	0	0	2,322	2,608	4,930		
H28	児童・生徒が豊かな自然環境の中で宿泊学習を行い、友情や連帯感を深めるとともに、体験学習を通じて情操を豊かにし、健全な育成を図る拠点となる施設として、維持管理し、運営する。		計画額	0	0	1,861	3,360	5,221		
			当初予算額	0	0	2,020	4,837	6,857		
			決算額							
H29	児童・生徒が豊かな自然環境の中で宿泊学習を行い、友情や連帯感を深めるとともに、体験学習を通じて情操を豊かにし、健全な育成を図る拠点となる施設として、維持管理し、運営する。		計画額	0	0	1,861	3,419	5,280		
			当初予算額							
			決算額							
H30	児童・生徒が豊かな自然環境の中で宿泊学習を行い、友情や連帯感を深めるとともに、体験学習を通じて情操を豊かにし、健全な育成を図る拠点となる施設として、維持管理し、運営する。		計画額	0	0	1,861	3,423	5,284		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	PR活動	雑誌及び電話相談における施設のPR回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	5	計画値	8	計画値	10	計画値	10
					実績値	7	実績値		実績値		実績値	
成果指標	施設利用者数	自然体験学習や集団宿泊学習のため、また、趣味・娯楽のため訪れる利用者の数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	8,000	計画値	9,000	計画値	9,500	計画値	9,500
					実績値	10,432	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		3点	17点 /25点	4点		18点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		4点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		3点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		3点		3点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
	東讃圏域で集団宿泊施設を市営で運営している施設は当該箇所のみであり、また、個人キャンパーから集団までの多様な分野において利用可能な面もあり現状維持とした。						東讃圏域で集団宿泊施設を市営で運営している施設は当該箇所のみであり、また、個人キャンパーから集団までの多様な分野において利用可能な面もあり現状維持とした。 豊かな自然環境の中で、集団生活や野外活動が体験できる施設の存在意義は非常に高い。					
	理由											

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	図書館管理事業
-----	---------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月14日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	30	図書館管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 市民への図書館サービスの拡大と地域の活性化を図るため、さぬき市図書館の総括的な事業を行う。	図書館協議会や子ども読書活動推進会議の図書館関係会議や図書館システム等両図書館に共通する事業である。	計画額	0	0	48	18,348	18,396	—	—
			当初予算額	0	0	24	8,527	8,551		
			決算額	0	0	12	3,193	3,205		
H27	平成27年10月に図書館新システムを導入した。 ※図書館協議会、子ども読書活動推進会議、ブックスタート事業への参加など、図書館全体としての共通事業であるため、本事業には志度・寒川両図書館で不可分な共通経費を計上している。	図書館協議会委員を追加募集し、1名充足した。図書館協議会を計画通り実施したほか、子ども読書活動推進会議については、計画見直しもあり、例年より1回多く実施した。	計画額	0	0	12	4,587	4,599	0.9	0.9
			当初予算額	0	0	12	4,587	4,599		
			決算額	0	0	12	3,193	3,205		
H28	図書館協議会、子ども読書活動推進会議、ブックスタート事業への参加など、図書館全体の事業の運営を行う。従って、本事業は、志度・寒川両館で不可分な共通経費を計上する。		計画額	0	0	12	4,587	4,599		
			当初予算額	0	0	12	3,940	3,952		
			決算額							
H29	図書館協議会、子ども読書活動推進会議、ブックスタート事業への参加など、図書館全体の事業の運営を行う。従って、本事業は、志度・寒川両館で不可分な共通経費を計上する。		計画額	0	0	12	4,587	4,599		
			当初予算額							
			決算額							
H30	図書館協議会、子ども読書活動推進会議、ブックスタート事業への参加など、図書館全体の事業の運営を行う。従って、本事業は、志度・寒川両館で不可分な共通経費を計上する。		計画額	0	0	12	4,587	4,599		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	図書館協議会開催回数	図書館運営に関し館長の諮問に応じるとともに図書館サービスについて意見を述べる会議の回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	2	計画値	2	計画値	2	計画値	2
	子ども読書活動推進会議開催回数	子ども読書活動の効果的な推進を図るための会議の回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	2	計画値	2	計画値	2	計画値	2
成果指標	貸出点数	視聴覚資料等を含めた書籍類の貸出点数(志度・寒川図書館合計点数)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	点	計画値	157,000	計画値	157,000	計画値	157,000	計画値	157,000
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	18点 /25点	4点		18点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		3点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	さぬき市図書館をよりよくするための図書館協議会や、子どもの読書について考える子ども読書推進会議やブックスタートなど、両図書館が共通する事業をスムーズに行うため、連絡を取り合い連携を図っていく。						さぬき市図書館をよりよくするための図書館協議会や、子どもの読書について考える子ども読書推進会議やブックスタートなど、両図書館が共通する事業をスムーズに行うため、連絡を取り合い連携を図っていく。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	寒川図書館管理事業
-----	-----------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	30	図書館管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 図書館は、市民が教養を深めたり、問題解決や自己実現に向けた活動をするための生涯学習の拠点としての身近な施設である。昨今の社会情勢は高度化・専門化・多様化しており、変化に対応するための資料の提供場所として図書館の必要性が高まっている。そのため、資料を収集・保存・提供するとともに、図書館サービスの充実を図る。	市民や図書館利用者に十分な情報が提供できるよう、図書購入や職員・司書等の図書館運営に必要な知識の強化による図書館の充実、また、学校との連携による子どもの読書推進等を目的とする。	計画額	0	0	128	37,976	38,104	—	—
			当初予算額	0	0	45	18,770	18,815		
			決算額	0	0	132	9,357	9,489		
H27	資料を収集・保存し、市民に必要な情報を提供した。児童を対象にした子ども実験教室やボランティア団体養成講座等の行事を開催し、子ども読書活動推進のための取り組みを行った。	おはなし会、工作教室、読書週間行事などを開催し、子ども読書活動推進のための取り組みを行った。	計画額	0	0	32	9,494	9,526	0.7	2.4
			当初予算額	0	0	32	9,494	9,526		
			決算額	0	0	132	9,357	9,489		
H28	資料を収集・保存し、市民に必要な情報を提供する。また、児童を対象にした子ども実験教室やボランティア団体養成講座等の行事を開催し、子ども読書活動推進のための取り組みを行う。	資料を収集・保存し、市民に必要な情報を提供する。また、児童を対象にした子ども実験教室やボランティア団体養成講座等の行事を開催し、子ども読書活動推進のための取り組みを行う。	計画額	0	0	32	9,494	9,526		
			当初予算額	0	0	13	9,276	9,289		
			決算額							
H29	資料を収集・保存し、市民に必要な情報を提供する。また、児童を対象にした子ども実験教室やボランティア団体養成講座等の行事を開催し、子ども読書活動推進のための取り組みを行う。	資料を収集・保存し、市民に必要な情報を提供する。また、児童を対象にした子ども実験教室やボランティア団体養成講座等の行事を開催し、子ども読書活動推進のための取り組みを行う。	計画額	0	0	32	9,494	9,526		
			当初予算額							
			決算額							
H30	資料を収集・保存し、市民に必要な情報を提供する。また、児童を対象にした子ども実験教室やボランティア団体養成講座等の行事を開催し、子ども読書活動推進のための取り組みを行う。	資料を収集・保存し、市民に必要な情報を提供する。また、児童を対象にした子ども実験教室やボランティア団体養成講座等の行事を開催し、子ども読書活動推進のための取り組みを行う。	計画額	0	0	32	9,494	9,526		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	図書館行事	図書館で開催している行事	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 5	実績値 3	計画値 5	実績値	計画値 5	実績値	計画値 5	実績値
	新規購入の図書冊数	新しく購入した図書の冊数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	冊	計画値 900	実績値 896	計画値 900	実績値	計画値 900	実績値	計画値 900	実績値
成果指標	来館者数	寒川図書館に来館した人数(貸出・返却者含む)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値 43,000	実績値 42,016	計画値 43,000	実績値	計画値 43,000	実績値	計画値 43,000	実績値
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	19点 /25点	4点	18点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		4点			
一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
方向性	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
今後の方向性 理由	図書館資料の充実や職員・司書等の努力で貸出冊数は増加しているが、利用者が減少したため、今後は、図書の充実・テーマ展示などをし、図書の配架場所を利用者にわかりやすくし、利用者数を増加させていきたい。						図書館資料の充実や職員・司書等の努力で貸出冊数は増加しているが、利用者が減少したため、今後は、図書の充実・テーマ展示などをし、図書の配架場所を利用者にわかりやすくし、利用者数を増加させていきたい。 生涯学習の拠点となる施設であることから、今後も資料の充実化を図ることで文化のまちづくりに有効に寄与できるものである。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	志度図書館管理事業
-----	-----------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月17日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	30	図書館管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 市民に必要な情報を提供するとともに、生涯学習の拠点として志度図書館を管理運営するための事業である。	市民や図書館利用者に十分な情報が提供できるよう、図書購入や職員・司書等の図書館運営に必要な知識の強化による図書館の充実、また、学校との連携による子どもの読書推進等を目的とする。	計画額	0	0	88	64,324	64,412	—	—
			当初予算額	0	0	44	32,405	32,449		
			決算額	0	0	12	15,704	15,716		
H27	資料を収集・保存し、市民に必要な情報を提供した。各種行事を開催し、子ども読書活動推進のための取り組みを行った。	26年度から開始した雑誌スポンサー制度について、27年度も同様の協力が得られた。また、減少傾向にあった図書貸出冊数も、回復しつつある。	計画額	0	0	22	16,081	16,103	1.0	4.2
			当初予算額	0	0	22	16,081	16,103		
			決算額	0	0	12	15,704	15,716		
H28	資料を収集・保存し、市民に必要な情報を提供する。また、各種行事を開催し、子ども読書活動推進のための取り組みを行う。		計画額	0	0	22	16,081	16,103		
			当初予算額	0	0	22	16,324	16,346		
			決算額							
H29	資料を収集・保存し、市民に必要な情報を提供する。また、各種行事を開催し、子ども読書活動推進のための取り組みを行う。		計画額	0	0	22	16,081	16,103		
			当初予算額							
			決算額							
H30	資料を収集・保存し、市民に必要な情報を提供する。また、各種行事を開催し、子ども読書活動推進のための取り組みを行う。		計画額	0	0	22	16,081	16,103		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	新規購入図書冊数	新しく購入した図書の冊数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	冊	計画値	2,200	計画値	2,200	計画値	2,200	計画値	2,200
	学校図書館支援活動	学校図書館への協力・支援活動の回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	1,904	実績値		実績値		実績値	
成果指標	入館者数	志度図書館に来館した人数(貸出返却者数含む)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	100,000	計画値	100,000	計画値	100,000	計画値	100,000
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	97,077	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	19点 /25点	4点		18点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	図書等資料の充実や職員・司書等の努力、行事の充実などにより、入館者数が増加の傾向にあったためか、貸出冊数も回復の兆しを見せている。今後とも研究を重ね、図書館利用を増加させていきたい。						図書等資料の充実や職員・司書等の努力、行事の充実などにより、入館者数が増加の傾向にあったためか、貸出冊数も回復の兆しを見せている。今後とも研究を重ね、図書館利用を増加させていきたい。 生涯学習の拠点となる施設であることから、今後も資料の充実化を図ることで文化のまちづくりに有効に寄与できるものである。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	雨滝自然科学館事業
-----	-----------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月19日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	35	資料館費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)		
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源					
H27   H30	事業概要	四国内でも特筆すべき自然科学系の施設であり、世界最古のナマズ科化石を始めとする動植物化石の宝庫である雨滝山周辺の自然環境を次の世代に伝えるため、地域の資料を収集・展示をし、普及活動に努める。また、学校関係への体験学習を実施することを通して子どもたちが地域の自然を考えるきっかけづくりを提供する。	さぬき市内や県内の自然科学に関する資料を展示することにより、自然科学に興味を持ってもらうと共に、自然環境を次世代に伝えていく。	計画額	0	0	0	37,276	37,276	—	—
				当初予算額	0	0	0	18,141	18,141		
				決算額	0	0	0	8,572	8,572		
H27	具体的取組	・雨滝自然科学館の最低限の維持管理。 ・小・中学校の長期休暇に合わせて、企画展と親子教室を年間3回開催。 ・市内小学校への体験学習の実施。	さぬき市内をはじめ県内の自然科学をわかりやすく伝えるために情報発信をしているが、館運営体制を整備・強化する必要がある。	計画額	0	0	0	9,227	9,227	0.5	3.0
				当初予算額	0	0	0	9,227	9,227		
				決算額	0	0	0	8,572	8,572		
H28	具体的取組	・雨滝自然科学館の最低限の維持管理。 ・企画運営に係る業務を行う。 ・市内小学校への体験学習の実施。		計画額	0	0	0	9,227	9,227		
				当初予算額	0	0	0	8,914	8,914		
				決算額							
H29	具体的取組	・雨滝自然科学館の最低限の維持管理。 ・企画運営に係る業務を行う。 ・市内小学校への体験学習の実施。		計画額	0	0	0	9,411	9,411		
				当初予算額							
				決算額							
H30	具体的取組	・雨滝自然科学館の最低限の維持管理。 ・企画運営に係る業務を行う。 ・市内小学校への体験学習の実施。		計画額	0	0	0	9,411	9,411		
				当初予算額							
				決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動 指標	企画展開催数	企画展開催数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	回	計画値	2	計画値	2	計画値	2	計画値	2
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	3	実績値		実績値		実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値	
成果 指標	観覧者数	雨滝自然科学館に来館した人数	<input type="checkbox"/> 総合計画	人	計画値	10,000	計画値	10,000	計画値	10,000	計画値	10,000
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	16,979	実績値		実績値		実績値	
	親子教室参加者数	親子教室に参加した人数	<input type="checkbox"/> 総合計画	人	計画値	1,000	計画値	1,000	計画値	1,000	計画値	1,000
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	1,065	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		4点	18点 /25点	4点		18点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		3点		3点			
今後の 方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
	観覧者数も親子教室参加者数も企画展開催などにより年々増加傾向にある。今後も観覧者が自然科学について楽しく学べる施設になるように施設運営や管理を行っていく。						自然科学学習や自然とのふれあいが大切であるといわれている時代背景がある中、施設の存在意義は高い。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	津田郷土館管理事業
-----	-----------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月19日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	35	資料館費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	津田地区を中心とする貴重な歴史資料を保管展示するための事業。	主に津田地区に伝承され続ける歴史、民俗を次の世代に伝える。	計画額	0	0	0	1,594	1,594	—	—
			当初予算額	0	0	0	790	790		
			決算額	0	0	0	379	379		
H27	津田郷土館の最低限の維持管理費。	適正な維持管理に努めた。歴史民俗資料館をはじめとする他の施設との一体的な展示を検討する必要がある。	計画額	0	0	0	395	395	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	395	395		
			決算額	0	0	0	379	379		
H28	津田郷土館の最低限の維持管理費。		計画額	0	0	0	395	395		
			当初予算額	0	0	0	395	395		
			決算額							
H29	津田郷土館の最低限の維持管理費。		計画額	0	0	0	402	402		
			当初予算額							
			決算額							
H30	津田郷土館の最低限の維持管理費。		計画額	0	0	0	402	402		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値		計画値		計画値		計画値		
活動指標	津田郷土館利用回数	郷土館の利用回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	10	計画値	10	計画値	10	計画値	10	
					実績値	8	実績値		実績値		実績値		
成果指標	津田郷土館入館者数	郷土館入館者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	500	計画値	500	計画値	500	計画値	500	
					実績値	300	実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	2点	14点 /25点	3点	14点 /25点				
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	2点							2点
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	2点							3点
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点							2点
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点							4点
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
	津田地区の歴史資料を保存する施設として、必要な施設である。 歴史民俗資料館をはじめとする他の施設との一体的な展示を検討する必要がある。						津田地区の歴史資料を保存する施設として、必要な施設である。						
	理由												

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	さぬき市歴史民俗資料館管理事業
-----	-----------------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月19日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	35	資料館費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	本市唯一の歴史民俗資料館として、所蔵する資料の展示の充実をさせ、地域に伝承され続ける歴史、民俗を次の世代に伝えるため、地域の資料を収集・展示をし、普及活動に努める。また、学校関係への学習見学を実施することを通して子どもたちが地域の歴史、民俗を考えるきっかけづくりを提供する。	さぬき市の歴史、民俗を資料展示等を通して次の世代に伝えていく。	計画額	0	0	320	13,658	13,978	—	—
			当初予算額	0	0	164	6,974	7,138		
			決算額	0	0	64	3,407	3,471		
H27	さぬき市歴史民俗資料館の最低限の維持管理業務、資料館として地域の貴重な資料を保管展示するための業務、企画運営に係る業務を行った。	設備等の経年変化に対応する必要がある。	計画額	0	0	80	3,381	3,461	0.3	0.0
			当初予算額	0	0	80	3,381	3,461		
			決算額	0	0	64	3,407	3,471		
H28	さぬき市歴史民俗資料館の最低限の維持管理業務。資料館として地域の貴重な資料を保管展示するための業務、企画運営に係る業務を行う。		計画額	0	0	80	3,381	3,461		
			当初予算額	0	0	84	3,593	3,677		
			決算額							
H29	さぬき市歴史民俗資料館の最低限の維持管理業務。資料館として地域の貴重な資料を保管展示するための業務、企画運営に係る業務を行う。		計画額	0	0	80	3,448	3,528		
			当初予算額							
			決算額							
H30	さぬき市歴史民俗資料館の最低限の維持管理業務。資料館として地域の貴重な資料を保管展示するための業務、企画運営に係る業務を行う。		計画額	0	0	80	3,448	3,528		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値		計画値		計画値		計画値		
活動指標	企画行事等	企画行事数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	回	計画値	1	計画値	1	計画値	1	計画値	1	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	2	実績値		実績値		実績値		
				<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値	
				<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値	
成果指標	歴史民俗資料館入館者数	歴史民俗資料館の入館者数	<input type="checkbox"/> 総合計画	人	計画値	2,000	計画値	2,000	計画値	2,000	計画値	2,000	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	2,029	実績値		実績値		実績値		
				<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値	
				<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	18点 /25点	4点		18点 /25点		
	2. 市民満足の上昇が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点				
今後の方向性	一次評価(担当者)					二次評価(所属長)							
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止							
理由	本市の歴史を伝える施設であり、今後も本市の歴史を分かりやすく伝えるための調査を行い、成果を企画展示等で公開する施設として必要である。					本市の歴史を伝える施設であり、今後も本市の歴史を分かりやすく伝えるための調査を行い、成果を企画展示等で公開する施設として必要である。 歴史に関心を示す市民の郷土史学習の場として、体験的に伝統産業や郷土史を学ぶことができる施設である。							

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	門入工房管理事業
-----	----------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月19日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	40	文化振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	施設管理を行うと共に市内文化芸術関係者及び文化団体等の連携、創作意欲の助長と活動育成を図る。	市民が芸術作品等を創作する場の提供。	計画額	0	0	0	770	770	—	—
			当初予算額	0	0	0	382	382		
			決算額	0	0	0	111	111		
H27	施設の適正な維持管理に努めた。	これまでの活動を行いながら、利用しやすい環境を整えた。	計画額	0	0	0	191	191	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	191	191		
			決算額	0	0	0	111	111		
H28	施設の維持管理をする。		計画額	0	0	0	191	191		
			当初予算額	0	0	0	191	191		
			決算額							
H29	施設の維持管理をする。		計画額	0	0	0	194	194		
			当初予算額							
			決算額							
H30	施設の維持管理をする。		計画額	0	0	0	194	194		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	利用件数	門入工房を利用した件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	70	計画値	70	計画値	70	計画値	70
					実績値	68	実績値		実績値		実績値	
活動指標	団体数	門入工房を利用した団体数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	団体	計画値	3	計画値	3	計画値	3	計画値	3
					実績値	2	実績値		実績値		実績値	
成果指標	利用者数	門入工房を利用した人数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	400	計画値	400	計画値	400	計画値	400
					実績値	480	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	15点 /25点	4点		17点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点		4点				
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
	市民が気軽に陶芸を行うための施設として、必要な施設である。						市民が気軽に陶芸等の工芸作品を製作するための施設として、必要である。					
	理由											

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	社会体育施設管理事業
-----	------------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	35	保健体育費
目	08	体育施設管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	生涯スポーツの振興・普及のための拠点施設である社会体育施設の維持管理を行い、健康で活力と活気にあふれた街づくりの創生を行う。	スポーツ基本法の理念に基づき市民が生涯にわたって自主的かつ自律的にその適性及び健康状態に応じたスポーツを行うことができる施設の整備・改善等を行う。	計画額	0	0	13,268	43,257	56,525	—	—
			当初予算額	0	0	6,476	22,562	29,038		
			決算額	0	0	3,149	12,830	15,979		
H27	利用者に安心・安全な施設を提供するための維持修繕を行った。	適正な施設管理により施設利用者の活動の場を確保した。長寿命化による修繕経費削減などを検討する必要がある。	計画額	0	0	3,317	11,074	14,391	0.3	0.2
			当初予算額	0	0	3,317	11,074	14,391		
			決算額	0	0	3,149	12,830	15,979		
H28	利用者に安心・安全な施設を提供するための維持修繕を行う。		計画額	0	0	3,317	10,663	13,980		
			当初予算額	0	0	3,159	11,488	14,647		
			決算額							
H29	利用者に安心・安全な施設を提供するための維持修繕を行う。		計画額	0	0	3,317	10,760	14,077		
			当初予算額							
			決算額							
H30	利用者に安心・安全な施設を提供するための維持修繕を行う。		計画額	0	0	3,317	10,760	14,077		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	定期使用説明会の実施	各地区毎に定期使用説明会を行うことで、効率的な施設の使用を促す。(志度、津田、大川、長尾、寒川、各1回ずつ)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 5	実績値 5	計画値 5	実績値	計画値 5	実績値	計画値 5	実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
成果指標	社会体育施設の利用者数	施設の利用者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値 127,000	実績値 118,314	計画値 127,000	実績値	計画値 127,000	実績値	計画値 127,000	実績値	
	社会体育施設利用者の事故発生数	社会体育施設利用者の事故発生数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値 0	実績値 0	計画値 0	実績値	計画値 0	実績値	計画値 0	実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	18点 /25点	4点	17点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点		3点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	社会体育施設としては、体育館を中心に高い使用率を維持している。しかし、老朽化の進んだ施設が増加していることから修繕の要望は年々増加しており、また、雨漏りといった大規模な対応が必要な事例も発生してきている。これらのことから、今後も維持管理費は増加していくとの前提のもと、小規模な修繕で対応できる部分については現状維持を行いながら、長寿命化や統廃合を含めた長期的な視点で社会体育施設の維持管理について考えていく必要がある。						幼児から高齢者までの市民のスポーツ推進と健康増進を支援していくことは今後においても必要であり、自治体にはスポーツ基本法に基づきその環境を積極的につくる役割がある。社会体育施設としては、体育館を中心に高い使用率を維持している。しかし、老朽化の進んだ施設が増加していることから修繕の要望は年々増加しており、また、雨漏りといった大規模な対応が必要な事例も発生してきている。						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	学校開放施設管理事業
-----	------------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	35	保健体育費
目	08	体育施設管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	学校体育施設を地域住民に開放し、生涯スポーツ、青少年の健全育成の推進を図り、住民の健康体力づくりの拠点施設として活用するための維持管理を行う。	学校体育施設を地域住民に開放し、生涯スポーツ、青少年の健全育成の推進を図り、住民の健康体力づくりの拠点施設として活用する。	計画額	0	0	8,596	34,328	42,924	—	—
			当初予算額	0	0	4,149	17,600	21,749		
			決算額	0	0	1,896	9,039	10,935		
H27	安心・安全な施設を住民に提供するための維持修繕を行った。	適正な施設管理により施設利用者の活動の場を確保した。長寿命化による修繕経費削減などを検討する必要がある。	計画額	0	0	2,149	8,544	10,693	0.2	0.2
			当初予算額	0	0	2,149	8,544	10,693		
			決算額	0	0	1,896	9,039	10,935		
H28	安心・安全な施設を住民に提供するための維持修繕を行う。		計画額	0	0	2,149	8,544	10,693		
			当初予算額	0	0	2,000	9,056	11,056		
			決算額							
H29	安心・安全な施設を住民に提供するための維持修繕を行う。		計画額	0	0	2,149	8,620	10,769		
			当初予算額							
			決算額							
H30	安心・安全な施設を住民に提供するための維持修繕を行う。		計画額	0	0	2,149	8,620	10,769		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	定期使用説明会の実施	各地区毎に定期使用説明会を行うことで、効率的な施設の使用を促す。(志度、津田、大川、長尾、寒川、各1回ずつ)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	5	計画値	5	計画値	5	計画値	5	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	5	実績値		実績値		実績値		
成果指標	施設利用者数	施設利用者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	200,000	計画値	200,000	計画値	200,000	計画値	200,000	
	学校開放施設利用者の事故発生数	学校開放施設利用者の事故発生数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	181,001	実績値		実績値		実績値		
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	0	計画値	0	計画値	0	計画値	0	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	0	実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	19点 /25点	4点	19点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	団体が行うスポーツ及びレクリエーションの利用に供するため、小学校及び中学校の体育館を開放している。現在、スポーツ少年団や社会体育団体等、様々な団体が利用している。今後も利用者が安全に利用できるように、維持管理を行い社会体育の普及に努めていく。						誰でも気軽にスポーツができる学校体育施設の開放は、地域における生涯スポーツの中核であり、市が主体的に実施する必要がある。また、地域団体を支援・育成することは地域スポーツの推進に繋がるため必要である。						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	B&G海洋センター管理運営
-----	---------------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月18日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	35	保健体育費
目	35	海洋センター管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	カヌーや水泳等の海洋性スポーツレクリエーションを通じて、青少年の健全育成と幼児から高齢者までの健康づくりの拠点としての施設整備や維持管理、また更なる事業規模の拡大振興を図る。	次世代を担う子供たちの健やかな心や体の育成及び地域の健康の増進、さらに四国ブロックマリンスポーツ大会等をとおして向上心や競争心の養成、相互の親睦・交流を図り様々なより広い視野をもってもらうこと。	計画額	0	0	6,824	30,818	37,642	—	—
			当初予算額	0	69,800	36,623	8,909	115,332		
			決算額	0	0	1,726	6,058	7,784		
H27	水泳教室・カヌー教室・アクアフィットネス教室・マリンスポーツ大会・水泳大会	適正な施設管理により施設利用者の活動の場を確保した。長寿命化による修繕経費削減などを検討する必要がある。	計画額	0	0	1,706	7,636	9,342	0.4	0.0
			当初予算額	0	0	1,706	7,636	9,342		
			決算額	0	0	1,726	6,058	7,784		
H28	水泳教室・カヌー教室・アクアフィットネス教室・マリンスポーツ大会・水泳大会		計画額	0	0	1,706	7,682	9,388		
			当初予算額	0	69,800	34,917	1,273	105,990		
			決算額							
H29	水泳教室・カヌー教室・アクアフィットネス教室・マリンスポーツ大会・水泳大会		計画額	0	0	1,706	7,750	9,456		
			当初予算額							
			決算額							
H30	水泳教室・カヌー教室・アクアフィットネス教室・マリンスポーツ大会・水泳大会		計画額	0	0	1,706	7,750	9,456		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	教室開催数	水泳、アクアフィットネス、カヌーなど各種教室開催延回数	<input type="checkbox"/> 総合計画	回	計画値	18	計画値	18	計画値	18	計画値	18	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	18	実績値		実績値		実績値		
				<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値	
				<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値	
成果指標	施設利用者数	施設利用者数	<input type="checkbox"/> 総合計画	人	計画値	20,000	計画値	20,000	計画値	20,000	計画値	20,000	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	19,558	実績値		実績値		実績値		
	施設利用者の事故発生数	施設利用者の事故発生数		<input type="checkbox"/> 総合計画	回	計画値	0	計画値	0	計画値	0	計画値	0
				<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	0	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		4点	18点 /25点	4点		18点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		4点		4点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		3点		3点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		4点		4点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		3点		3点				
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
	理由						理由						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	総合運動公園管理事業
-----	------------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月12日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	24	(24) 生涯学習・スポーツの推進
主要施策	③	③生涯学習施設の適切な整備と管理運営

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	35	保健体育費
目	42	総合運動公園管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	効率的な施設運営のため、市内3箇所にある総合運動公園を指定管理者制度を導入し、サービスの向上生涯スポーツの普及・振興を図る。また、スポーツ活動及び憩いの場として安全快適な施設の提供と適正な管理運営に努める。	市民の健康と体力づくりや各種イベント等スポーツ活動だけでなく、地域間交流や校外活動の場としての役割を担う施設であり、適正な管理運営を行うことで健康で活力のある人・街づくりを目的としている。	計画額	0	0	2,144	180,862	183,006	—	—
			当初予算額	0	0	1,006	84,458	85,464		
			決算額	0	0	474	45,625	46,099		
H27	・テニスコート照明灯塗装・テニスコート人工芝部分張替・芝生広場トイレ改修工事・汚水処理施設修繕・野球場バックスクリーン塗装・コテージ塗装及びエアコン設置・パターゴルフ塗装・防球ネット修繕・駐車場区画線修繕 等	適正な施設管理により施設利用者の活動の場を確保した。長寿命化による修繕経費削減などを検討する必要がある。	計画額	0	0	536	44,801	45,337	0.3	0.0
			当初予算額	0	0	536	44,801	45,337		
			決算額	0	0	474	45,625	46,099		
H28	【予定】・テニスコート人工芝部分張替・運動広場バックネット塗装・汚水処理施設修繕・防球ネット修繕・コテージ塗装及びエアコン設置・多目的広場芝補植 等		計画額	0	0	536	44,801	45,337		
			当初予算額	0	0	470	39,657	40,127		
			決算額							
H29	指定管理者と連携して施設利用者が安全・快適に利用できるよう整備を行い、市民に交流と憩いの場と提供と健康で活力のある街づくりに努める。		計画額	0	0	536	45,630	46,166		
			当初予算額							
			決算額							
H30	指定管理者と連携して施設利用者が安全・快適に利用できるよう整備を行い、市民に交流と憩いの場の提供と健康で活力のある街づくりに努める。		計画額	0	0	536	45,630	46,166		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	総合運動公園施設の日常点検回数	指定管理者による遊具の点検を含む施設の日常点検回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	13	計画値	13	計画値	13	計画値	13
					実績値	13	実績値		実績値		実績値	
活動指標	運動広場の清掃活動回数	施設管理のための除草や清掃等の活動回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	67	計画値	67	計画値	67	計画値	67
					実績値	67	実績値		実績値		実績値	
成果指標	施設利用者数	施設利用者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	465,379	計画値	460,000	計画値	460,000	計画値	460,000
					実績値	458,250	実績値		実績値		実績値	
成果指標	公園利用者の事故発生数	公園利用者の事故発生数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	0	計画値	0	計画値	0	計画値	0
					実績値	0	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	19点 /25点	4点		19点 /25点	
	2. 市民満足の上昇が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	スポーツ基本法において、スポーツは心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自立心その他の精神の涵養等のために個人または集団で行われる運動競技その他の身体活動であり、国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なものとされている。また、同法第12条には国民が身近にスポーツに親しむことが出来るスポーツ施設の整備等に努めなければならないとされており、今後も市民スポーツの活動と憩いの場所を確保し、指定管理者と連携して生涯スポーツの普及と振興に努めることが重要であると考えている。 しかしながら、人口減少や施設の老朽化が進む中、施設維持に係る管理経費や施設利用の在り方など課題が生じていることから、長期的な視点で計画的な更新や統廃合・長寿命化等を行い、財政負担の軽減や公共施設の最適な配置の検討が必要であると感じている。						スポーツ基本法において、スポーツは心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自立心その他の精神の涵養等のために個人または集団で行われる運動競技その他の身体活動であり、国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なものとされている。また、同法第12条には国民が身近にスポーツに親しむことが出来るスポーツ施設の整備等に努めなければならないとされており、今後も市民スポーツの活動と憩いの場所を確保し、指定管理者と連携して生涯スポーツの普及と振興に努めることが重要であると考えている。 しかしながら、人口減少や施設の老朽化が進む中、施設維持に係る管理経費や施設利用の在り方など課題が生じていることから、長期的な視点で計画的な更新や統廃合・長寿命化等を行い、財政負担の軽減や公共施設の最適な配置の検討が必要であると感じている。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	文化財保護事業
-----	---------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月19日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	25	(25) 歴史・文化の伝承
主要施策	①	①文化財の保存と活用

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	15	文化財保護費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 市内にある指定文化財を中心とした保護・活用を図るための事業	市内に所在する文化財を調査し、保護していくための必要な措置を講じていく事業である。	計画額	0	0	9	11,376	11,385	—	—
			当初予算額	6,000	0	6,018	6,102	18,120		
			決算額	0	0	10	2,539	2,549		
H27	文化財保護審議会を定期的開催し、指定文化財の保護・活用を図ると同時に指定文化財候補についても現状調査を継続して行った。また、香川県立文書館との共催事業である古文書講座も継続開催した。	これまでの取組をさらに検討しながらより効果的な方法を検討したい。	計画額	0	0	9	2,816	2,825	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	9	2,816	2,825		
			決算額	0	0	10	2,539	2,549		
H28	具体的取組 文化財保護審議会を定期的開催し、指定文化財の保護・活用を図ると同時に指定文化財候補についても現状調査を継続して行う。また、香川県立文書館との共催事業である古文書講座も継続して開催する。		計画額	0	0	0	2,816	2,816		
			当初予算額	6,000	0	6,009	3,286	15,295		
			決算額							
H29	文化財保護審議会を定期的開催し、指定文化財の保護・活用を図ると同時に指定文化財候補についても現状調査を継続して行う。また、香川県立文書館との共催事業である古文書講座も継続して開催する。		計画額	0	0	0	2,872	2,872		
			当初予算額							
			決算額							
H30	文化財保護審議会を定期的開催し、指定文化財の保護・活用を図ると同時に指定文化財候補についても現状調査を継続して行う。また、香川県立文書館との共催事業である古文書講座も継続して開催する。		計画額	0	0	0	2,872	2,872		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	調査件数	調査、保護した文化財数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	5	計画値	5	計画値	5	計画値	5
					実績値	3	実績値		実績値		実績値	
成果指標	文化財数	指定文化財の件数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	105	計画値	106	計画値	107	計画値	108
					実績値	103	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		4点	20点 /25点	4点	18点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		4点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		5点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
	市内に所在する貴重な文化財を適切に保護するために状況調査を行い、各文化財の適切な保護措置を検討していくために、これまでの取組をさらに検討しより効率的な方法を検討していく。						指定文化財の経年劣化が顕著化した場合には、保存修理事業を実施することとなるため、予防保存措置を推進し、将来のコストの増加を抑制する必要がある、貴重な文化財を適切に保護するために状況調査を行い、各文化財の適切な保護措置を検討していく。					
	理由											

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	文化財保全事業
-----	---------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月19日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	25	(25) 歴史・文化の伝承
主要施策	①	①文化財の保存と活用

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	15	文化財保護費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 指定文化財を後世に伝えるために適切な補修や環境整備を図るための事業。	指定文化財をはじめ市内の貴重な文化遺産の具体的な保護措置を行うための事業。	計画額	222	0	0	8,184	8,406	—	—
			当初予算額	158	0	6,050	4,851	11,059		
			決算額	74	0	3	1,989	2,066		
H27	うのべ山古墳をはじめとする指定史跡の最小限の草刈を行い、史跡の環境整備を行うとともに、雨滝城跡の案内板の改修、志度寺縁起絵図修復に伴う事業者への負担金。	地域住民と連携した取組を検討して取り組んだ。	計画額	74	0	0	2,026	2,100	0.2	0.0
			当初予算額	74	0	0	2,026	2,100		
			決算額	74	0	3	1,989	2,066		
H28	具体的取組 うのべ山古墳をはじめとする指定史跡の最小限の草刈を行い、史跡の環境整備を行う。		計画額	0	0	0	2,026	2,026		
			当初予算額	84	0	6,050	2,825	8,959		
			決算額							
H29	具体的取組 うのべ山古墳をはじめとする指定史跡の最小限の草刈を行い、史跡の環境整備を行う。		計画額	74	0	0	2,066	2,140		
			当初予算額							
			決算額							
H30	うのべ山古墳をはじめとする指定史跡の最小限の草刈を行い、史跡の環境整備を行う。		計画額	74	0	0	2,066	2,140		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	補修、環境整備の文化財数	補修、環境整備を行った文化財数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	20	計画値	20	計画値	20	計画値	20
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	20	実績値		実績値		実績値	
成果指標	現地見学会等の件数	史跡等を分かりやすく伝える為の見学会等の件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	10	計画値	10	計画値	15	計画値	20
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	5	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	21点 /25点	4点	18点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由						理由						
史跡や天然記念物等の補修や環境保全を図ることで、本市の歴史を市民により分かりやすく伝えることができる。						史跡や天然記念物等の補修や環境保全を図ることで、本市の歴史を市民により分かりやすく伝えることができる。						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	富田茶臼山古墳管理事業
-----	-------------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月19日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	25	(25) 歴史・文化の伝承
主要施策	①	①文化財の保存と活用

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	15	文化財保護費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 富田茶臼山古墳をはじめ通池公園も含めた施設の維持管理。	国指定史跡である「富田茶臼山古墳」を適切な状態で管理し、本市の歴史財産として有効活用するための事業。	計画額	0	0	0	3,620	3,620	—	—
			当初予算額	0	0	3,262	1,813	5,075		
			決算額	0	0	0	895	895		
H27	国指定史跡である「富田茶臼山古墳」の草刈等を行い、現状保護に努めた。	津田古墳群を含めた総合的な観点から今後のあり方を検討する必要がある。	計画額	0	0	0	896	896	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	896	896		
			決算額	0	0	0	895	895		
H28	具体的取組 国指定史跡である「富田茶臼山古墳」の草刈等を行い、現状保護に努める。		計画額	0	0	0	896	896		
			当初予算額	0	0	3,262	917	4,179		
			決算額							
H29		国指定史跡である「富田茶臼山古墳」の草刈等を行い、現状保護に努める。	計画額	0	0	0	914	914		
			当初予算額							
			決算額							
H30		国指定史跡である「富田茶臼山古墳」の草刈等を行い、現状保護に努める。	計画額	0	0	0	914	914		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	現状の保護管理	草刈等を行い史跡の現状保護に努めた活動数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	回	計画値	5	計画値	5	計画値	5	計画値	5
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	5	実績値		実績値		実績値	
成果指標	活用数	小学生等の現地見学資料としての活用数	<input type="checkbox"/> 総合計画	人	計画値	500	計画値	500	計画値	500	計画値	500
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	400	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
評価	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	20点 /25点	4点	19点 /25点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点				3点		
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点				4点		
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点				4点		
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点				4点		
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)							
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止				○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止							
理由	国史跡であり、四国一の規模をもつ前方後円墳であることを今後も市民に周知し、本市が当時の政治の中心地であることの意義を今後も分かりやすく伝える必要がある。				国史跡であり、四国一の規模をもつ前方後円墳であることを今後も市内外に周知し、本市が当時の政治の中心地であることの意義を今後も分かりやすく伝える必要がある。							

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	旧恵利家住宅管理事業
-----	------------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月19日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	25	(25) 歴史・文化の伝承
主要施策	①	①文化財の保存と活用

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	15	文化財保護費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 国指定文化財である旧恵利家住宅の管理・公開によって、見学者が市の歴史に触れる場を確保し、より深く先人が歩んだ歴史についての理解を深める場を提供する。	県下最古の農家住宅で国指定の建造物である旧恵利家住宅の適切な状態で管理し、本市の歴史財産として有効活用するための事業。	計画額	0	0	0	3,968	3,968	—	—
			当初予算額	0	0	0	2,289	2,289		
			決算額	0	0	0	967	967		
H27	旧恵利家住宅の最低限の維持管理業務。管理員の人件費、光熱水費、修繕費等の維持管理に必要な経費。	歴史民俗資料館と一体的な活用をさらに検討していく必要がある。	計画額	0	0	0	982	982	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	982	982		
			決算額	0	0	0	967	967		
H28	旧恵利家住宅の最低限の維持管理業務。管理員の人件費、光熱水費、修繕費等の維持管理に必要な経費。		計画額	0	0	0	982	982		
			当初予算額	0	0	0	1,307	1,307		
			決算額							
H29	旧恵利家住宅の最低限の維持管理業務。管理員の人件費、光熱水費、修繕費等の維持管理に必要な経費。		計画額	0	0	0	1,002	1,002		
			当初予算額							
			決算額							
H30	旧恵利家住宅の最低限の維持管理業務。管理員の人件費、光熱水費、修繕費等の維持管理に必要な経費。		計画額	0	0	0	1,002	1,002		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	現状の保護管理	草刈等をはじめ、重要文化財の現状保護に努めた活動数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	30	計画値	30	計画値	30	計画値	30
					実績値	30	実績値		実績値		実績値	
成果指標	観覧者数	旧恵利家住宅来館人数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	5,000	計画値	5,000	計画値	5,000	計画値	5,000
					実績値	6,353	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	19点 /25点	4点	18点 /25点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		4点				
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
	理由						理由					
	国指定であり、県下最古の農家住宅である意義を今後も市民に周知し、当時の生活の様子を分かりやすく伝える必要がある。						国指定であり、県下最古の農家住宅である意義を今後も市内外に周知し、当時の生活の様子を分かりやすく伝える必要がある。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	文化財施設管理事業
-----	-----------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月19日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	25	(25) 歴史・文化の伝承
主要施策	①	①文化財の保存と活用

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	15	文化財保護費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 四国遍路文化資料の貴重な歴史的資料に見学者が触れることを目的に保管・展示を行い、市の歴史について理解を深めるための場を確保するとともに、全国に向けて四国遍路の情報発信を行う。また、遍路道沿いにある国指定文化財である細川家住宅の屋根修理工事を、貴重な歴史資料を保護する。	四国唯一のお遍路資料館と国指定建造物である細川家住宅を適切な状態で管理し、本市の歴史財産として有効活用するための事業。	計画額	0	0	0	17,782	17,782	—	—
			当初予算額	0	0	0	8,732	8,732		
			決算額	0	0	0	3,537	3,537		
H27	おへんろ交流サロンの展示運営に関する業務、国指定建造物の細川家住宅の最小限の維持管理を行った。	遍路文化を市民によりわかりやすく伝えるための方法等について検討する必要がある。	計画額	0	0	0	3,677	3,677	0.3	0.0
			当初予算額	0	0	0	3,677	3,677		
			決算額	0	0	0	3,537	3,537		
H28	具体的取組 おへんろ交流サロンの展示運営に関する業務、国指定建造物の細川家住宅の最小限の維持管理と共に市指定建造物である納屋の屋根修理工事業務。		計画額	0	0	0	5,677	5,677		
			当初予算額	0	0	0	5,055	5,055		
			決算額							
H29	おへんろ交流サロンの展示運営に関する業務、国指定建造物の細川家住宅の最小限の維持管理業務と防災施設修繕。		計画額	0	0	0	4,677	4,677		
			当初予算額							
			決算額							
H30	おへんろ交流サロンの展示運営に関する業務、国指定建造物の細川家住宅の最小限の維持管理業務。		計画額	0	0	0	3,751	3,751		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	現状の保護管理	資料の整備や重要文化財の現状保護に努めた活動数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	20	計画値	30	計画値	30	計画値	30
					実績値	15	実績値		実績値		実績値	
成果指標	細川家住宅入場者数	細川家住宅の入場者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	1,500	計画値	1,500	計画値	1,500	計画値	1,500
					実績値	1,476	実績値		実績値		実績値	
	へんろ資料館入場者数	へんろ資料館の入場者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	15,000	計画値	15,000	計画値	15,000	計画値	15,000
					実績値	13,627	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	21点 /25点	4点	18点 /25点		
	2. 市民満足の上昇が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	四国唯一のお遍路文化を伝える施設と、同時期に建造され国指定建造物となっている細川家住宅の重要性を分かりやすく伝えるために、学校教育及び生涯学習の教材として活用する必要があります。今後も学習教材として有効活用できるように、適切な管理を行い文化財保護意識の高揚に努める。						四国唯一のお遍路文化を伝える施設と、同時期に建造され国指定建造物となっている細川家住宅の重要性を分かりやすく伝えるために、学校教育及び生涯学習の教材として活用する必要があります。また、市内外に周知を行い学習教材だけでなく、市の文化財産として有効活用できるように、適切な管理を行い文化財保護意識の高揚に努める。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	史跡等購入事業
-----	---------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月19日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	25	(25) 歴史・文化の伝承
主要施策	①	①文化財の保存と活用

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	15	文化財保護費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)		
			国県支出金	地方債	その他	一般財源					
H27   H30	津田古墳群指定範囲の公有地買上げ事業。	国史跡である津田古墳群を有効活用するために公有地として買い上げる事業。	計画額	14,641	0	930	1,916	17,487	—	—	
			当初予算額	3,717	0	930	0				4,647
			決算額	3,585	0	930	138				4,653
H27	津田古墳群の指定範囲を有効活用するために、公有地化を行った。	関係機関と連絡をとりながら、円滑に事業を進める必要がある。	計画額	3,717	0	930	0	4,647	0.1	0.0	
			当初予算額	3,717	0	930	0				4,647
			決算額	3,585	0	930	138				4,653
H28	津田古墳群の指定範囲を有効活用するために、公有地化を行う。		計画額	5,320	0	0	1,330	6,650			
			当初予算額	0	0	0	0				0
			決算額								
H29	津田古墳群の指定範囲を有効活用するために、公有地化を行う。		計画額	2,314	0	0	586	2,900			
			当初予算額								
			決算額								
H30	津田古墳群の指定範囲を有効活用するために、公有地化を行う。		計画額	3,290	0	0	0	3,290			
			当初予算額								
			決算額								

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	関係機関との協議数	関係機関や地権者との協議、現地立会等	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	20	計画値	5	計画値	5	計画値	5
					実績値	25	実績値		実績値		実績値	
成果指標	購入した用地件数	史跡指定された古墳に関する用地件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	1	計画値	1	計画値	1	計画値	1
					実績値	1	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		4点	20点 /25点	4点		20点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
	理由						理由					
	国史跡であり、四国一の規模をもつ富田茶臼山古墳と一体的に有効活用するために公有化を進める事が必要である。						津田古墳群の国史跡指定に伴い、必要な土地を公有化していく必要があり、古墳の保存保護のために必要である。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	津田古墳群保存整備事業
-----	-------------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月19日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	25	(25) 歴史・文化の伝承
主要施策	①	①文化財の保存と活用

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	15	文化財保護費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 国史跡となった津田古墳群を本市の歴史財産として有効活用を図るための事業。	国史跡である津田古墳群を、本市の歴史財産の核として有効活用するための事業。	計画額	0	0	0	12,228	12,228	—	—
			当初予算額	0	0	0	5,702	5,702		
			決算額	0	0	0	957	957		
H27	津田古墳群を有効活用するための基本方針を定めた、保存管理計画の策定準備作業を行った。	津田古墳群の適切な保存管理をするための検討委員会を開催した。	計画額	0	0	0	304	304	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	304	304		
			決算額	0	0	0	957	957		
H28	具体的取組 津田古墳群を有効活用するための基本方針を策定するために保存管理計画を作成する業務で、印刷製本費、現地調査費を行い、保存管理計画書を刊行する。		計画額	0	0	0	1,924	1,924		
			当初予算額	0	0	0	5,398	5,398		
			決算額							
H29	保存管理計画に基づいて、津田古墳群の保全整備を実施する。		計画額	0	0	0	5,000	5,000		
			当初予算額							
			決算額							
H30	保存管理計画に基づいて、津田古墳群の保全整備を実施する。		計画額	0	0	0	5,000	5,000		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	協議回数	検討委員会等の協議回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	2	計画値	2	計画値	2	計画値	2
					実績値	1	実績値		実績値		実績値	
成果指標	現状の保存管理	津田古墳群の環境整備等現状確認	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	10	計画値	10	計画値	10	計画値	10
					実績値	8	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	23点 /25点	4点	19点 /25点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点						
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点						
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点						
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点						
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止					
理由	津田古墳群と四国一の規模をもつ富田茶臼山古墳を、本市の歴史財産として一体的に有効活用するためには保存管理計画が必要であり、また市民にも古墳群の価値を分かりやすく伝えるためにも必要である。						津田古墳群と四国一の規模をもつ富田茶臼山古墳を、本市の歴史財産として一体的に有効活用するためには保存管理計画が必要であり、また市民にも古墳群の価値を分かりやすく伝えるためにも必要である。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	さぬき市史編纂事業
-----	-----------

担当課	秘書広報課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	25	(25) 歴史・文化の伝承
主要施策	②	②地域の歴史と伝統文化の伝承

会計	01	一般会計
款	10	総務費
項	05	総務管理費
目	10	文書広報費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 各旧町史が編纂された後の歴史の空白を埋めた「補遺」を編纂する。	旧町史が編纂されてから30年近く経過し、その間について記録したのもなく、さぬき市の歴史の空白部分となっている。その間のさぬき市の歴史を後世に残すことを目的とする事業である。	計画額	0	0	0	35,033	35,033	—	—
			当初予算額	0	0	0	40,174	40,174		
			決算額	0	0	0	3,949	3,949		
H27	平成26年度に引き続き、原稿執筆の基になる旧町の関係資料を収集し、刊行に向けて原稿の作成及び編さん委員会での協議確認を行った。	原稿執筆を業者委託しているが、その原稿の基になる行政資料の収集は事務局が行わなければならないが、当初は事務局長1名体制で進めていたが、臨時職員1名を追加採用し、2名体制で資料の収集作業を行った。	計画額	0	0	0	35,033	35,033	0.4	2.0
			当初予算額	0	0	0	35,033	35,033		
			決算額	0	0	0	3,949	3,949		
H28	具体的取組 当初の計画では、平成27年度に終了する予定であったが、原稿執筆の基になる旧町の関係資料の収集に時間を要し、1年度期間を延ばし、平成28年度の完成を目指す。		計画額	0	0	0	0	0		
			当初予算額	0	0	0	5,141	5,141		
			決算額							
H29	※平成28年度に事業終了予定。		計画額	0	0	0	0	0		
			当初予算額							
			決算額							
H30			計画額	0	0	0	0	0		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	市史編纂委員会の開催	市史編纂の具体的な方針等について協議する委員会を設置、開催をする。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	2	計画値	3	計画値	-	計画値	-
					実績値	1	実績値		実績値		実績値	
成果指標	原稿執筆の進捗度	原稿がどのくらい仕上がっているか。 【補足：原稿を執筆するには基になる資料の収集を行い、資料がまとまった項目から執筆を進めていくが、平成27年度まではその資料収集が中心であった】	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	100	計画値	100	計画値	-	計画値	-
					実績値	30	実績値		実績値		実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	19点 /25点	5点		19点 /25点
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	2点		2点		
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点		
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点		
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点		
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	旧5町を含めた『さぬき市』の歴史を後世に繋げていくためにも必要な事業であると考えており、また事業自体も補遺(続編)の完成をもって終了となることから、現状は厳しいが完成を目指し、進めていきたいと考えています。						さぬき市としての歴史や伝統文化を後世に伝承していくためには、市史の編さんは不可欠であると考えている。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	発掘調査事業
-----	--------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月19日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	25	(25) 歴史・文化の伝承
主要施策	②	②地域の歴史と伝統文化の伝承

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	15	文化財保護費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 公共事業をはじめとする開発計画に円滑に対応すると共に、市内に残されている石造物の現状を確認するための事業。	公共事業や民間開発に迅速に対応するための事前調査や、石造物等市内の遺跡について調査するための事業。	計画額	0	0	0	48,036	48,036	—	—
			当初予算額	1,200	0	0	24,515	25,715		
			決算額	0	0	0	11,448	11,448		
H27	公共事業や民間開発に迅速に対応するための事前調査、市内に残されている石造物の現状を確認するための確認調査を行った。	調査の成果を市民に周知する場を多くもつことも必要である。	計画額	0	0	0	11,667	11,667	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	11,667	11,667		
			決算額	0	0	0	11,448	11,448		
H28	公共事業や民間開発に迅速に対応するための事前調査費、市内に残されている石造物の現状を確認するための確認調査費。		計画額	0	0	0	11,967	11,967		
			当初予算額	1,200	0	0	12,848	14,048		
			決算額							
H29	公共事業や民間開発に迅速に対応するための事前調査費、市内に残されている石造物の現状を確認するための確認調査費。		計画額	0	0	0	12,201	12,201		
			当初予算額							
			決算額							
H30	公共事業や民間開発に迅速に対応するための事前調査費、市内に残されている石造物の現状を確認するための確認調査費。		計画額	0	0	0	12,201	12,201		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	調査件数	開発等に伴い、調査が必要となった遺跡等	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	5	計画値	5	計画値	5	計画値	5
					実績値	4	実績値		実績値		実績値	
成果指標	遺跡数	保護措置が図れた遺跡等	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	5	計画値	5	計画値	5	計画値	5
					実績値	4	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		4点	21点 /25点	4点	18点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		4点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		5点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		5点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由						理由						
本市の歴史を調査し、価値ある遺跡や遺物を地域の宝として保護・保存していくために必要な事業であるとともに、公共事業や民間開発から遺跡を保護するためにも必要である。						本市の歴史を調査し、価値ある遺跡や遺物を地域の宝として保護・保存していくためには必要な事業である。また、公共事業や民間開発から遺跡を保護するためにも必要である。						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	文化財保護団体支援事業
-----	-------------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月19日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	25	(25) 歴史・文化の伝承
主要施策	②	②地域の歴史と伝統文化の伝承

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	15	文化財保護費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容		事業費(千円)				担当職員数(人)		
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)
				国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27   H30	事業概要 文化財保護関係団体の保護継承活動を活発化することにより、文化財保護意識及び市民への普及活動を効果的に行う。	本市の民俗芸能を後世に伝え後継者を育成するための事業である。	計画額	0	0	0	3,556	3,556	—	—
			当初予算額	0	0	0	2,060	2,060		
			決算額	0	0	0	880	880		
H27	文化財保護活動を行う市文化財保護協会、県指定無形文化財「南川太鼓」保存会、市指定無形文化財「お大師山火祭り」保存会、「筒野虎獅子」保存会へ保存継承のための活動補助金を交付した。	今後の保存と活動にあたり、地域住民の減少や高齢化が懸念されることから、後継者を確実に要請していくことが必要である。	計画額	0	0	0	880	880	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	880	880		
			決算額	0	0	0	880	880		
H28	具体的取組 文化財保護活動を行う市文化財保護協会、県指定無形文化財「南川太鼓」保存会、市指定無形文化財「お大師山火祭り」保存会、「筒野虎獅子」保存会への保存継承活動のための助成業務。		計画額	0	0	0	880	880		
			当初予算額	0	0	0	1,180	1,180		
			決算額							
H29	文化財保護活動を行う市文化財保護協会、県指定無形文化財「南川太鼓」保存会、市指定無形文化財「お大師山火祭り」保存会、「筒野虎獅子」保存会への保存継承活動のための助成業務。		計画額	0	0	0	898	898		
			当初予算額							
			決算額							
H30	文化財保護活動を行う市文化財保護協会、県指定無形文化財「南川太鼓」保存会、市指定無形文化財「お大師山火祭り」保存会、「筒野虎獅子」保存会への保存継承活動のための助成業務。		計画額	0	0	0	898	898		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	協議件数	助成事務や後継者継承活動に向けた協議件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	4	計画値	5	計画値	5	計画値	5
					実績値	4	実績値		実績値		実績値	
成果指標	後継者継承活動	後継者を継承するための活動	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	4	計画値	5	計画値	5	計画値	5
					実績値	4	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	19点 /25点		4点		18点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点			3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点			3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点			4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点			4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)							
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止				<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							
	理由				理由							
	本市の民俗芸能を後世に分かりやすく伝え残す為にも、後継者継承が必要である。				指定文化財については、市として保存する責務があり、市内の貴重な文化財の調査・研究を行う文化財保護協会の役割は大きい。本市の民俗芸能を後世に分かりやすく伝え残す為にも、後継者養成が必要である。							

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	公開活用事業
-----	--------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月19日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	25	(25) 歴史・文化の伝承
主要施策	③	③文化活動の推進と優れた芸術に触れる機会の提供

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	15	文化財保護費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容		事業費(千円)					担当職員数(人)	
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)
				国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27   H30	事業概要 過去の発掘調査で出土した土器等を再整理し、市内の歴史を物語る貴重な歴史資料を有効活用するための事業。	過去に実施された文化財調査で未整理となっている土器や遺物再整理し、本市の歴史財産として有効活用するための事業。	計画額	1,198	0	0	4,840	6,038	—	—
			当初予算額	2,398	0	0	2,398	4,796		
			決算額	1,000	0	0	1,315	2,315		
H27	過去の発掘調査で出土した土器等を分類・整理して、市内の歴史財産として有効活用を図るための台帳整備を進めるとともに、発掘成果を示す講演会を開催した。	一人でも多くの市民に興味を持ってもらう為の周知活動を今後も検討する必要がある。	計画額	1,198	0	0	1,198	2,396	0.1	0.0
			当初予算額	1,198	0	0	1,198	2,396		
			決算額	1,000	0	0	1,315	2,315		
H28	過去の発掘調査で出土した土器等を分類・整理して、市内の歴史財産として有効活用を図るために遺物台帳を作成する業務。		計画額	0	0	0	1,198	1,198		
			当初予算額	1,200	0	0	1,200	2,400		
			決算額							
H29	過去の発掘調査で出土した土器等を分類・整理して、市内の歴史財産として有効活用を図るために遺物台帳を作成する業務。		計画額	0	0	0	1,222	1,222		
			当初予算額							
			決算額							
H30	過去の発掘調査で出土した土器等を分類・整理して、市内の歴史財産として有効活用を図るために遺物台帳を作成する業務。		計画額	0	0	0	1,222	1,222		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	開催回数	講演会等の開催回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	1	計画値	1	計画値	1	計画値	1
					実績値	1	実績値		実績値		実績値	
成果指標	参加者数	講演会への市民参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	200	計画値	300	計画値	300	計画値	300
					実績値	150	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	21点 /25点		4点	18点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点			3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点			3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点			4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点			4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
	理由						理由					
	過去に実施された文化財調査で未整理となっている土器や遺物の価値を地域の宝として有効活用するためにも必要である。						過去に実施された文化財調査で未整理となっている土器や遺物の価値を地域の宝として有効活用するためにも必要であり、古墳や出土した遺物について、多くの市民に関心を持ってもらう活動を展開し、愛好者の増加をめざす。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	市民文化祭助成事業
-----	-----------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	25	(25) 歴史・文化の伝承
主要施策	③	③文化活動の推進と優れた芸術に触れる機会の提供

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	40	文化振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 旧5町ごとに市民文化祭を実施、発表の場所や機会を提供し市の文化振興を図る。	市民文化祭を助成することにより、市の文化振興を図る。	計画額	0	0	0	8,800	8,800	—	—
			当初予算額	0	0	0	4,400	4,400		
			決算額	0	0	0	2,200	2,200		
H27	市民文化祭を実施するために、さぬき市民文化祭実行委員会に助成金を交付した。	27年度は、例年どおり5つの文化祭を開催した。28年度についても、引き続き各団体に協力し、文化振興を図っていく。	計画額	0	0	0	2,200	2,200	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	2,200	2,200		
			決算額	0	0	0	2,200	2,200		
H28	市民文化祭を実施するために、さぬき市民文化祭実行委員会に助成金を交付する。		計画額	0	0	0	2,200	2,200		
			当初予算額	0	0	0	2,200	2,200		
			決算額							
H29	市民文化祭を実施するために、さぬき市民文化祭実行委員会に助成金を交付する。		計画額	0	0	0	2,200	2,200		
			当初予算額							
			決算額							
H30	市民文化祭を実施するために、さぬき市民文化祭実行委員会に助成金を交付する。		計画額	0	0	0	2,200	2,200		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	市民文化祭開催箇所数	市民文化祭開催箇所数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	か所	計画値	5	計画値	5	計画値	5	計画値	5
					実績値	5	実績値		実績値		実績値	
成果指標	市民文化祭参加団体数	市民文化祭参加団体数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	団体	計画値	200	計画値	200	計画値	200	計画値	200
					実績値	226	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	20点 /25点	4点	4点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点			4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点			3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点			4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点			4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
	理由						理由					
	旧5町ごとに市民文化祭を実施し、芸術文化活動を行っている市民、児童生徒に対し、発表の場所と機会を提供し市の文化振興を図るため必要である。						旧5町ごとに市民文化祭を実施し、芸術文化活動を行っている市民、児童生徒に対し、発表の場所と機会を提供し市の文化振興を図るため必要である。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	文化資料展示館管理事業
-----	-------------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	25	(25) 歴史・文化の伝承
主要施策	③	③文化活動の推進と優れた芸術に触れる機会の提供

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	40	文化振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 発表の機会と場の提供することにより、芸術文化とのふれあいを深め、人生にゆとり潤いを実感できる芸術活動の拠点としての役割りを担う施設として維持管理と運営を行う。	発表の機会と場の提供することにより、芸術文化とのふれあいを深め、芸術文化の拠点となる施設にする。	計画額	0	0	1,116	14,268	15,384	—	—
			当初予算額	0	0	558	7,319	7,877		
			決算額	0	0	302	3,189	3,491		
H27	管理人2名で館の維持管理と運営を行った。	施設の老朽化が進み、補修の必要な箇所がある。	計画額	0	0	279	3,532	3,811	0.2	2.0
			当初予算額	0	0	279	3,532	3,811		
			決算額	0	0	302	3,189	3,491		
H28	管理人2名の交代で館の維持管理と運営を行う。		計画額	0	0	279	3,532	3,811		
			当初予算額	0	0	279	3,787	4,066		
			決算額							
H29	管理人2名の交代で館の維持管理と運営を行う。		計画額	0	0	279	3,602	3,881		
			当初予算額							
			決算額							
H30	管理人2名の交代で館の維持管理と運営を行う。		計画額	0	0	279	3,602	3,881		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	文化資料展示館貸館数	文化資料展示館貸館数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	35	計画値	35	計画値	35	計画値	35
					実績値	36	実績値		実績値		実績値	
成果指標	文化資料展示館観覧者数	文化資料展示館観覧者数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	12,000	計画値	12,000	計画値	12,000	計画値	12,000
					実績値	16,518	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	21点 /25点	4点	19点 /25点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点						
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点						
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点						
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点						
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
	理由						理由					
	当館は芸術活動を行っている市民にとって、作品を発表する貴重な場であり、観覧する市民の文化意識の向上に寄与している。						当館は芸術活動を行っている市民にとって、作品を発表する貴重な場であり、観覧する市民の文化意識の向上に寄与している。 芸術文化とのふれあいを深め、人生にゆとり潤いを実感できる芸術活動の拠点である。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	志度音楽ホール施設整備事業
-----	---------------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	25	(25) 歴史・文化の伝承
主要施策	③	③文化活動の推進と優れた芸術に触れる機会の提供

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	40	文化振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 発表の機会と場の提供をすることより、芸術文化とのふれあいを深め、人生にゆとりと潤いを実感できる芸術活動の拠点としての役割を担う施設として維持管理を行う。	芸術活動の発表や鑑賞を通して、市民が芸術文化とのふれあいを深められる拠点となる施設にする。	計画額	0	0	7,396	0	7,396	—	—
			当初予算額	0	0	1,831	0	1,831		
			決算額	0	0	1,650	2,436	4,086		
H27	志度音楽ホールは開館28年が経ち、施設内の設備に不具合が生じていることから、修繕計画に沿って整備を実施した。	施設の雨漏り修繕工事を行った。	計画額	0	0	1,831	0	1,831	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	1,831	0	1,831		
			決算額	0	0	1,650	2,436	4,086		
H28	音楽ホールの維持管理をする。		計画額	0	0	1,831	0	1,831		
			当初予算額	0	0	0	0	0		
			決算額							
H29	音楽ホールの維持管理をする。		計画額	0	0	1,867	0	1,867		
			当初予算額							
			決算額							
H30	音楽ホールの維持管理をする。		計画額	0	0	1,867	0	1,867		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	工事種別数	施設の工事件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	工事	計画値	1	計画値	0	計画値	1	計画値	1
					実績値	1	実績値		実績値		実績値	
	貸館業務件数	貸館件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	350	計画値	350	計画値	350	計画値	350
					実績値	329	実績値		実績値		実績値	
成果指標	総入場者数	音楽ホール入場者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	28,000	計画値	28,000	計画値	28,000	計画値	28,000
					実績値	29,346	実績値		実績値		実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		4点	18点 /25点	4点		19点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		3点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	市の芸術文化活動の拠点であり、ホールで行われる芸術をととして、市民が人生にゆとり潤いを実感できる施設である。						市の芸術文化活動の拠点であり、ホールで行われる芸術をととして、市民が人生にゆとり潤いを実感できる施設である。 市内唯一の音楽ホールとして活用されており、適切な維持管理を行うことでホールとしての機能及び利用者の安全を確保するものである。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	少年育成センター運営事業
-----	--------------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	26	(26) 青少年の健全育成
主要施策	①	①青少年健全育成活動の推進

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	05	社会教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容		事業費(千円)				担当職員数(人)		
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源			
H27   H30	事業概要 育成センターの設置目的に基づき、育成センターの業務に関する基本的な事項を協議し決定する事業である。	育成センターの事業内容等について協議を行い、単なる事業報告ではなく事業を実施した結果を詳細に報告	計画額	0	0	0	9,892	9,892	—	—
			当初予算額	0	0	0	5,286	5,286		
			決算額	0	0	0	2,424	2,424		
H27	少年育成センター運営委員会年2回開催し、育成センターの事業内容等について協議を行う。10月には上半期事業について書面にて中間報告を行う。	育成センターの事業内容等について協議を行い、単なる事業報告ではなく事業を実施した結果を詳細に報告	計画額	0	0	0	2,464	2,464	0.0	1.0
			当初予算額	0	0	0	2,464	2,464		
			決算額	0	0	0	2,424	2,424		
H28	具体的取組 少年育成センター運営委員会年2回開催し、育成センターの事業内容等について協議を行う。10月には上半期事業について書面にて中間報告を行う。		計画額	0	0	0	2,468	2,468		
			当初予算額	0	0	0	2,822	2,822		
			決算額							
H29			計画額	0	0	0	2,478	2,478		
			当初予算額							
			決算額							
H30			計画額	0	0	0	2,482	2,482		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	運営委員会開催回数	運営委員会の開催回数 ※運営委員会(2回)・中間報告(10:上半期事業分)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	2	計画値	2	計画値	2	計画値	2
					実績値	2	実績値		実績値		実績値	
成果指標	運営委員会出席人数	運営委員会の出席者人数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	30	計画値	30	計画値	30	計画値	30
					実績値	21	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	23点 /25点	5点	23点 /25点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点			3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点			5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点			5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点			5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
	理由						理由					
	運営委員の意見を聞き、良い方向を示した事業としたい。						青少年を取り巻く社会環境は一段と複雑になり、人間関係もより希薄になり、モラルの喪失や規範意識の低下が見られる。そのような状況を改善するためにも、子どもたちに対する地域の大人の関わりと支援が今後ますます必要となることから、運営委員会等での協議は必要である。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	補導事業
-----	------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	26	(26) 青少年の健全育成
主要施策	①	①青少年健全育成活動の推進

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	05	社会教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	学校等関係機関、団体との連携により、地域ぐるみの青少年の健全育成を積極的に推進する。	低年齢化による問題行動が多くなっている。日々の街頭補導や巡回及び地域の祭り等の巡回を実施し、問題行動少年を早期に発見、学校及び関係機関と適切な連携を図っている。	計画額	0	0	0	10,268	10,268	—	—
			当初予算額	0	0	0	5,064	5,064		
			決算額	0	0	0	4,555	4,555		
H27	問題行動が見られる少年の低年齢化が言われるなか、日々の街頭補導や巡回及び地域の祭り等の補導巡回に努め、問題行動少年を早期に発見、学校関係機関と適切な連携を図り、問題行動の立ち直り支援を行った。また、「子どもSOS」の設置場所を維持することで、関係機関や団体・地域との連携のもと不審者から子どもを守ることを徹底した。	日々の街頭補導や巡回、「子どもSOS」設置場所の検討・維持により、関係機関や団体地域と連携を図りつつ不審者から子どもを守ることができた。	計画額	0	0	0	2,560	2,560	0.0	1.6
			当初予算額	0	0	0	2,560	2,560		
			決算額	0	0	0	4,555	4,555		
H28	日々の街頭補導や巡回及び地域の祭り等の補導巡回に努め、問題行動少年を早期に発見、学校関係機関と適切な連携を図り、問題行動の立ち直り支援をする。また、「子どもSOS」の設置場所を維持することにより、関係機関や団体・地域との連携のもと不審者から子どもを守ることを徹底する。		計画額	0	0	0	2,564	2,564		
			当初予算額	0	0	0	2,504	2,504		
			決算額							
H29	日々の街頭補導や巡回及び地域の祭り等の補導巡回に努め、問題行動少年を早期に発見、学校関係機関と適切な連携を図り、問題行動の立ち直り支援をする。また、「子どもSOS」の設置場所を維持することにより、関係機関や団体・地域との連携のもと不審者から子どもを守ることを徹底する。		計画額	0	0	0	2,570	2,570		
			当初予算額							
			決算額							
H30	日々の街頭補導や巡回及び地域の祭り等の補導巡回に努め、問題行動少年を早期に発見、学校関係機関と適切な連携を図り、問題行動の立ち直り支援をする。また、「子どもSOS」の設置場所を維持することにより、関係機関や団体・地域との連携のもと不審者から子どもを守ることを徹底する。		計画額	0	0	0	2,574	2,574		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	補導実施回数	通常・特別補導の実施回数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	回	計画値	470	計画値	470	計画値	470	計画値	470
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	356	実績値		実績値		実績値	
成果指標	声かけ(補導活動)人数	声かけ(補導活動)の実施は、非行に走る子どもの抑止に繋がってきた。今後も、声かけ(補導活動)を継続することで非行に走る子どもの減少に繋げる。	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	人	計画値	1,000	計画値	1,000	計画値	1,000	計画値	1,000
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	864	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
評価	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	24点 /25点	5点	24点 /25点	5点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点				4点		
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点				5点		
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点				5点		
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点				5点		
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)							
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止				○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止							
理由	現状を維持しつつ、他関係機関ともタイアップした補導活動を行いたい。				青少年を取り巻く社会環境は一段と複雑になり、人間関係もより希薄になり、モラルの喪失や規範意識の低下が見られる。そのような状況を改善するためにも、子どもたちに対する地域の大人の関わりと支援が今後ますます必要であり、現状を維持しつつ、他関係機関ともタイアップした補導活動を行いたい。							

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	広報啓発・推進事業
-----	-----------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	26	(26) 青少年の健全育成
主要施策	①	① 青少年健全育成活動の推進

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	05	社会教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30  事業概要	市民の青少年健全育成に対する意識の高揚に努め、理解と協力を求める事業である。 ・小・中学生、高校生による「子どもの一日補導員」を実施し、啓発活動を行う。 ・「家族みんなで考える青少年健全育成標語」優秀標語入りカレンダーを作成・配布し、広報活動を行う。	市民の青少年健全育成に対する意識の高揚に努め、理解と協力を求める事業である。小・中・高校生による「子ども一日補導員」を実施。市内小・中学生を対象に青少年健全育成標語を募集した。	計画額	200	0	0	932	1,132	—	—
			当初予算額	100	0	0	468	568		
			決算額	65	0	0	203	268		
H27	広報さぬきに育成センターだよりを毎月掲載。小・中・高生による「子どもの一日補導員」を実施した。また、市内巡回して広報車から青少年健全育成を呼びかけ、啓発に努めた。このほか、市内小・中学生を対象に青少年健全育成標語を募集し、優秀標語をカレンダーとして作成、市内全児童・生徒や公民館等公共施設に配布して広報活動を行った。	小・中・高校生による「子ども一日補導員」を実施したほか、市内小・中学生を対象に青少年健全育成標語を募集した。「健全育成標語」はスマホ・LINEでの応募も目立った。	計画額	50	0	0	230	280	0.0	0.4
			当初予算額	50	0	0	230	280		
			決算額	65	0	0	203	268		
H28  具体的取組	広報さぬきに育成センターだよりを4・5・8・10・12・3月の6回掲載。小・中・高生による「子どもの一日補導員」を実施。また、市内巡回して広報車から青少年健全育成を呼びかけ啓発。市内小・中学生を対象に青少年健全育成標語を募集し、優秀標語をカレンダーとして作成。市内全児童・生徒や公民館等公共施設に配布して広報活動を行う。		計画額	50	0	0	230	280		
			当初予算額	50	0	0	238	288		
			決算額							
H29	広報さぬきに育成センターだよりを4・5・8・10・12・3月の6回掲載。小・中・高生による「子どもの一日補導員」を実施。また、市内巡回して広報車から青少年健全育成を呼びかけ啓発。市内小・中学生を対象に青少年健全育成標語を募集し、優秀標語をカレンダーとして作成。市内全児童・生徒や公民館等公共施設に配布して広報活動を行う。		計画額	50	0	0	236	286		
			当初予算額							
			決算額							
H30	広報さぬきに育成センターだよりを4・5・8・10・12・3月の6回掲載。小・中・高生による「子どもの一日補導員」を実施。また、市内巡回して広報車から青少年健全育成を呼びかけ啓発。市内小・中学生を対象に青少年健全育成標語を募集し、優秀標語をカレンダーとして作成。市内全児童・生徒や公民館等公共施設に配布して広報活動を行う。		計画額	50	0	0	236	286		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	児童・生徒による一日補導実施回数	児童・生徒が積極的な実践的な啓発活動を行った回数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	3	計画値	5	計画値	5	計画値	5
	家族みんなで考える「青少年健全育成標語」募集回数	家族で考えるというところに重点を置いて、児童・生徒に募集した回数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	1	計画値	1	計画値	1	計画値	1
成果指標	児童・生徒による一日補導参加者数	小・中学生による一日補導は、大人が呼びかけるより効果的である。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	11	計画値	20	計画値	20	計画値	20
	家族みんなで考える「青少年健全育成標語」応募点数	各地区文化祭で入賞作品を展示することにより、市民への啓発活動に努める。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	400	計画値	400	計画値	400	計画値	400
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	23点 /25点	5点	23点 /25点	23点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点						
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点						
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点						
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点						
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)							
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止				○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止							
理由	現状を維持しつつ、他関係機関ともタイアップした広報啓発を行いたい。				青少年を取り巻く社会環境は一段と複雑になり、人間関係もより希薄になり、モラルの喪失や規範意識の低下が見られる。そのような状況を改善するためにも、広く市民に青少年健全育成について考える機会を与えることは大変重要であり、他関係機関ともタイアップした広報啓発を行いたい。							

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	安全安心コミュニティ事業
-----	--------------

担当課	地域情報課
-----	-------

記入日	平成28年5月11日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	26	(26) 青少年の健全育成
主要施策	②	②健全な社会環境づくり

会計	01	一般会計
款	10	総務費
項	05	総務管理費
目	70	コミュニティ放送管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	安全安心コミュニティシステムの維持管理に関する事業である。	市民へ電子メールや音声告知放送など複数の手段で情報提供を行うことを目的としたもの。情報発信者を増やすことで、関連するコミュニティ参加者を増やし、全体の加入数を増加させる。	計画額	0	0	65	99,053	99,118	—	—
			当初予算額	0	0	46,317	33,062	79,379		
			決算額	0	0	47	15,155	15,202		
H27	安全安心コミュニティシステムおよびFM音声告知放送に係る設備や端末の管理を行った。	民間保育所の一部が情報発信者として登録し、事業の充実が図れた。	計画額	0	0	20	15,785	15,805	0.6	0.0
			当初予算額	0	0	20	15,785	15,805		
			決算額	0	0	47	15,155	15,202		
H28	安全安心コミュニティシステムおよびFM音声告知放送に係る設備や端末の管理を行う。 信頼性確保のためサーバーの更新を予定している。		計画額	0	0	15	42,488	42,503		
			当初予算額	0	0	46,297	17,277	63,574		
			決算額							
H29	安全安心コミュニティシステムおよびFM音声告知放送に係る設備や端末の管理を行う。		計画額	0	0	15	19,730	19,745		
			当初予算額							
			決算額							
H30	安全安心コミュニティシステムおよびFM音声告知放送に係る設備や端末の管理を行う。		計画額	0	0	15	21,050	21,065		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	情報発信数	市役所及び各コミュニティからの情報発信数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	1,450	計画値	1,500	計画値	1,550	計画値	1,600
					実績値	1,550	実績値		実績値		実績値	
成果指標	安全安心コミュニティ情報 取得者数	メール登録者数及び音声告知端末設置台数の合計	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	18,000	計画値	18,400	計画値	18,500	計画値	18,600
					実績値	18,408	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	20点 /25点	5点	20点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止					
理由						理由						
コミュニティ管理者からの要望を、28年度のシステム更新に合わせ実施したい。						要望の強い項目については、システムの変更を実施する。						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	教育支援事業
-----	--------

担当課	生涯学習課
-----	-------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	26	(26) 青少年の健全育成
主要施策	③	③相談・支援活動の充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	05	社会教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 学校に登校する意思がありながら、様々な理由で登校できない子どもたち一人一人に対応した支援を行ったり、少年相談や臨床心理士によるカウンセリングを実施し、不登校、非行やいじめ等青少年の問題行動解消への援助を行う事業である。	学校に登校する意思がありながら、様々な理由で登校できない子ども達一人一人に対応したカウンセリング実施した。まだまだ悩みを持つ子どもや保護者の理解に努め信頼される相談活動を推進。	計画額	0	0	0	9,598	9,598	—	—
			当初予算額	0	0	0	6,912	6,912		
			決算額	0	0	0	2,368	2,368		
H27	適応指導教室を開設し、学校に登校する意思がありながら登校できない児童・生徒の学校復帰や社会的自立をめざし、通級生に応じた支援を実施したほか、不登校やいじめ等青少年の問題行動に関する悩みのある保護者や本人を対象にカウンセリングを行った。来所や少年相談電話による少年相談も実施し、青少年の悩みや問題行動解消への援助を行った。	学校に登校する意思がありながら、様々な理由で登校できない子ども達一人一人に対応したカウンセリング実施した。今後も悩みを持つ子どもや保護者の理解に努め、信頼される相談活動を推進したい。	計画額	0	0	0	2,391	2,391	0.0	1.0
			当初予算額	0	0	0	2,391	2,391		
			決算額	0	0	0	2,368	2,368		
H28	具体的取組 適応指導教室を開設し、学校に登校する意思がありながら登校できない児童・生徒の学校復帰及び社会的自立をめざし、通級生一人一人に応じた支援を実施。不登校やいじめ等青少年の問題行動に関する悩みのある保護者や本人を対象にカウンセリングを実施。来所や少年相談電話による少年相談を実施し、青少年の悩みや問題行動解消への援助を行う。		計画額	0	0	0	2,395	2,395		
			当初予算額	0	0	0	4,521	4,521		
			決算額							
H29	適応指導教室を開設し、学校に登校する意思がありながら登校できない児童・生徒の学校復帰及び社会的自立をめざし、通級生一人一人に応じた支援を実施。不登校やいじめ等青少年の問題行動に関する悩みのある保護者や本人を対象にカウンセリングを実施。来所や少年相談電話による少年相談を実施し、青少年の悩みや問題行動解消への援助を行う。		計画額	0	0	0	2,404	2,404		
			当初予算額							
			決算額							
H30	適応指導教室を開設し、学校に登校する意思がありながら登校できない児童・生徒の学校復帰及び社会的自立をめざし、通級生一人一人に応じた支援を実施。不登校やいじめ等青少年の問題行動に関する悩みのある保護者や本人を対象にカウンセリングを実施。来所や少年相談電話による少年相談を実施し、青少年の悩みや問題行動解消への援助を行う。		計画額	0	0	0	2,408	2,408		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	学校等連携回数	通級児童・生徒の在籍校などと連携して対応した回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	200	計画値	200	計画値	200	計画値	200
					実績値	180	実績値		実績値		実績値	
成果指標	少年相談件数	子どもに関する相談件数(面談・電話など)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	400	計画値	400	計画値	400	計画値	400
					実績値	328	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	25点 /25点	5点	5点	25点 /25点		
	2. 市民満足の上昇が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点						
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点						
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点						
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点						
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	<p>学校に登校する意思がありながら、登校できない児童生徒の学校復帰及び社会自立をめざし、通級生一人一人に応じた支援を実施しつつ、学校連携や相談等の支援を行うこと、相談件数に関しては深い内容が多くなっていることにより、悩みを持つ子どもや保護者の理解に努め、信頼される相談活動を推進する中、相談電話においては、自分の心を吐き出したいが、何も言えず無言にて電話を切ることがある。同じ人物と推定されるが電話機能整備がない為、相談に乗ることができず歯がゆい思いをすることがある。</p>						<p>学校に登校する意思がありながら、登校できない児童生徒の学校復帰及び社会自立をめざし、通級生一人一人に応じた支援を実施しつつ、学校連携や相談等の支援を行うこと、相談件数に関しては深い内容が多くなっていることにより、悩みを持つ子どもや保護者の理解に努め、信頼される相談活動を推進する中、相談電話においては、自分の心を吐き出したいが、何も言えず無言にて電話を切ることがある。同じ人物と推定されるが電話機能整備がない為、相談に乗ることができず歯がゆい思いをすることがある。予算上の事もあると思うが一人でも多くの子どもの助けになれば良いと思う。29年度には電話機能の整備をする予定。</p>					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	国際交流事業
-----	--------

担当課	秘書広報課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	27	(27) 交流事業の推進
主要施策	①	①国際交流活動の推進

会計	01	一般会計
款	10	総務費
項	05	総務管理費
目	05	一般管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 各種の国際交流事業を推進する。	国際姉妹都市との交流を行うとともに、各国際交流団体への支援をし、国際交流の活性化を図る事業である。	計画額	0	0	0	1,594	1,594	—	—
			当初予算額	0	0	0	594	594		
			決算額	0	0	0	382	382		
H27	翻訳業務、アイゼンシュタット市政報告業務を委託し、国際姉妹都市であるオーストリア国アイゼンシュタット市でのチャリティーコンサートをさぬき市協賛で開催した(7月10日)。各国際交流団体への支援を行った。	国際姉妹都市で、さぬき市協賛のチャリティーコンサートを開催した。 ※平成28年度より秘書広報課男女共同参画・国際交流推進室に事業移管。(予算措置は秘書広報課)	計画額	0	0	0	397	397	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	397	397		
			決算額	0	0	0	382	382		
H28	具体的取組 翻訳業務、アイゼンシュタット市政報告業務を委託する。国際交流団体等と協働で活動する。各国際交流団体への支援を行う。		計画額	0	0	0	197	197		
			当初予算額	0	0	0	197	197		
			決算額							
H29	地域の特性及び文化を生かした国際交流や事業を実施し、国際親善を図る。		計画額	0	0	0	500	500		
			当初予算額							
			決算額							
H30	地域の特性及び文化を生かした国際交流や事業を実施し、国際親善を図る。		計画額	0	0	0	500	500		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	国際交流活動回数	国際交流団体等と協働による活動回数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	1	計画値	2	計画値	2	計画値	2
					実績値	1	実績値		実績値		実績値	
成果指標	参加者数	国際交流事業の参加者の延べ人数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	30	計画値	60	計画値	60	計画値	60
					実績値	35	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	13点 /25点	3点		13点 /25点		
	2. 市民満足の上昇が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	2点		2点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	2点		2点				
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	人口減少が進んでいく中で、人手不足を解消する一手として外国人労働者の受け入れが挙げられています。また、成長戦略として政府は2020年までに外国人観光客を4000万人に増やすとしています。こうした状況で日本語教室や国際交流イベントを通して市民と外国人住民が互いを知り、理解しあう機会は重要であると考えます。そのため、国際姉妹都市との交流については姉妹都市との協議のもと可能な形で交流を継続するほか、国際交流団体等と協働で活動を行う必要性を感じています。						地域の特性及び文化を活かした国際交流を行うため、引き続き市民団体との連携強化を図り、その活動を支援することが必要であると考えている。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	中学生国際交流事業(日韓交流事業)
-----	-------------------

担当課	秘書広報課男女共同参画・国際交流推進室
-----	---------------------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	27	(27) 交流事業の推進
主要施策	①	①国際交流活動の推進

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	05	教育総務費
目	10	事務局費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 韓国大田広域市と本市の中学生等のホームステイや中学校訪問等を通して、日韓親善交流を図る事業に対し補助を行う。	ホームステイ交流を通して、異なる地域の生活や文化の違いに触れ、幅広い視野や知識を養うとともに、次代を担う人材育成を目的とし実施する団体への支援を行う事業。	計画額	0	0	0	1,500	1,500	—	—
			当初予算額	0	0	0	500	500		
			決算額	0	0	0	0	0		
H27	平成28年度から室が設置されたため、事業実績なし。		計画額	0	0	0	0	0	-	-
			当初予算額	0	0	0	0	0		
			決算額	0	0	0	0	0		
H28	具体的取組 韓国大田広域市と本市の中学生等のホームステイや中学校訪問等を通して、日韓親善交流を図る事業に対し補助を行う。 【予定】 さぬき市において、8月5～7日にホームステイ受け入れ事業を予定している。		計画額	0	0	0	500	500		
			当初予算額	0	0	0	500	500		
			決算額							
H29	韓国大田広域市と本市の中学生等のホームステイや中学校訪問等を通して、日韓親善交流を図る事業に対し補助を行う。		計画額	0	0	0	500	500		
			当初予算額							
			決算額							
H30	韓国大田広域市と本市の中学生等のホームステイや中学校訪問等を通して、日韓親善交流を図る事業に対し補助を行う。		計画額	0	0	0	500	500		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	国際交流事業の実施回数	国際交流事業の実施回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	-	計画値	1	計画値	1	計画値	1
					実績値		実績値		実績値		実績値	
成果指標	交流参加者数	国際交流参加人数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	-	計画値	20	計画値	20	計画値	20
					実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	17点 /25点	3点		17点 /25点
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点		
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点		
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点		
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点		
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	日韓ホームステイ交流事業については、参加希望者の減少傾向にあるが、これまでのホームステイ交流に参加した生徒たちは、異なる地域の生活や文化の違いに触れ、幅広い視野や知識を養うとともに、自分でも気づかなかった自らの文化の長所や、自らの魅力・価値をより高めるきっかけとしていることから、今後もホームステイのような体験型交流を進めることの必要性を感じています。						ホームステイのような体験型交流を行うことは、言語や生活・習慣等の相違を越えた心と心のふれあいをもたらすとともに、異文化に対する理解と認識を深め、国際社会に貢献する豊かな人間育成むことから、今後も、市民を主体とした交流活動を中心に推進を図ることが必要であると考えている。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	国際交流事業
-----	--------

担当課	秘書広報課男女共同参画・国際交流推進室
-----	---------------------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	27	(27) 交流事業の推進
主要施策	①	①国際交流活動の推進

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	05	社会教育総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 各種の国際交流事業費の補助を行う。	国際文化の理解に資する音楽、美術、文学、芸能等の交流や日本文化の紹介等により、異なる文化の違いに触れ、幅広い視野や知識を養うことで人材育成を図ることを目的とした団体への支援を行う事業である。	計画額	0	0	0	1,500	1,500	—	—
			当初予算額	0	0	0	500	500		
			決算額	0	0	0	0	0		
H27	平成28年度から室が設置されたため、事業実績なし。		計画額	0	0	0	0	0	-	-
			当初予算額	0	0	0	0	0		
			決算額	0	0	0	0	0		
H28	具体的取組 韓国大田広域市と本市が文化芸術祭の開催を通して、日韓親善交流と国際文化の理解に資する活動に対し事業費の補助を行う。 【具体的な内容】 日韓親善芸術祭(さめき日韓青少年交流会主催:4月23日開催)		計画額	0	0	0	500	500		
			当初予算額	0	0	0	500	500		
			決算額							
H29	各種の国際交流事業の補助を行う。		計画額	0	0	0	500	500		
			当初予算額							
			決算額							
H30	各種の国際交流事業の補助を行う。		計画額	0	0	0	500	500		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	国際交流事業の実施回数	国際交流事業の実施回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	-	計画値	1	計画値	1	計画値	1	
					実績値		実績値		実績値		実績値		
成果指標	国際交流事業の参加者数	国際交流事業の参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	-	計画値	100	計画値	100	計画値	100	
					実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	17点 /25点	3点	17点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	芸術祭等の活動は、双方の友好親善と相互理解を推進させ、国際的な市民の視野を広げ、思考を豊かにするとともに、国際社会で活躍する人材の育成となります。市民を主体とした様々な交流の機会を設けるなどの多様な国際交流活動に向けた取り組みへの支援の必要性を感じています。						国際的な市民の視野を広げ、思考を豊かにするとともに、国際社会で活躍する人材育成を図るには、今後も引き続き、市民を主体とした交流の機会を設けるなど、多様な国際交流活動に向けた取り組みへの支援を行う必要性があると考えている。						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	姉妹都市等児童交流事業
-----	-------------

担当課	教育総務課
-----	-------

記入日	平成28年5月19日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	27	(27) 交流事業の推進
主要施策	②	②国内友好都市等交流事業の推進

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	05	教育総務費
目	10	事務局費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	友好交流都市である剣淵町との交流を通じ、児童間、学校間及び市町間の友好親善を深めるとともに、郷土の歴史や異なる地域の生活や文化に対する理解を深める機会をつくる。また、ホームステイや団体行動及び家族から離れた生活を通じて社会生活上のルールを身に着ける。	児童間、学校間、市町間の交流を通して、歴史や文化の違いを肌で感じる体験をする。また、団体生活の中で協調性や自立心を養い、さぬき市の未来を担う児童の育成を図る。	計画額	0	0	0	5,200	5,200	—	—
			当初予算額	0	0	0	3,500	3,500		
			決算額	0	0	0	1,009	1,009		
H27	平成27年度は、剣淵町交流団の受入れを行った。 ・交流委員会と27年度からの新しい取組として保護者による実行委員会を開催した。 ・竹細工、流しそうめん、津田の松原での海水浴、女木島での研修を実施した。	新たに保護者等で構成する実行委員会を設け、当該実行委員会が主体的に内容を企画し、運営を行った。	計画額	0	0	0	1,500	1,500	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	1,500	1,500		
			決算額	0	0	0	1,009	1,009		
H28	平成28年度は、さぬき市交流団が剣淵町を訪問する。 ・交流委員会開催する。 ・剣淵町での町内研修とホームステイを実施する。		計画額	0	0	0	1,100	1,100		
			当初予算額	0	0	0	2,000	2,000		
			決算額							
H29	平成29年度は、剣淵町交流団の受入れを行う。		計画額	0	0	0	1,500	1,500		
			当初予算額							
			決算額							
H30	平成30年度は、さぬき市交流団が剣淵町を訪問する。		計画額	0	0	0	1,100	1,100		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	交流団の派遣及び受入回数	本市と剣淵町の交流団の派遣及び受入回数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	1	計画値	1	計画値	1	計画値	1
					実績値	1	実績値		実績値		実績値	
成果指標	交流児童数	剣淵交流に参加した児童数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	38	計画値	39	計画値	50	計画値	50
					実績値	38	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	19点 /25点	4点		22点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		5点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点		5点				
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	平成4年度に小田小学校で取り組みを始めた交流事業であり、合併後、市内小学校が徐々に参加し、平成20年度からは全小学校が参加する交流事業となっている。隔年で受入と訪問を行うことにより、児童間、学校間、市町間の友好・親善を深めると共に郷土の歴史や、異なる地域の生活・文化に対する理解を深めている。また、家族を離れてのホームステイや団体行動を通して、社会生活上のマナーやルールを身に着けたり、協調性や自立心を養うことに役立っている。						交流の相手先である北海道剣淵町が、志度町からさぬき市に合併した後も事業の継続を強く望んでいた経緯を踏まえるとともに、一次評価者が記載した理由からも事業の有効性は高いものとする。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	男女共同参画推進事業①(あらゆる暴力の根絶関係除く)
-----	----------------------------

担当課	政策課
-----	-----

記入日	平成28年5月9日
-----	-----------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	28	(28) 男女共同参画の推進
主要施策	①	①様々な分野における男女共同参画の推進

会計	01	一般会計
款	10	総務費
項	05	総務管理費
目	30	企画費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要	性別に関わりなく責任を分かち合い、個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会(=自分らしくとにもいきいきと生きることができるまち)の実現に向けた啓発活動等を行う事業である。	計画額	0	0	0	3,526	3,526	—	—
			当初予算額	0	0	0	1,772	1,772		
			決算額	0	0	0	687	687		
H27	・男女共同参画推進協議会の開催(4回)・男女共同参画パネル展(6月20日～28日)・市民サポーターセミナー(6月28日)・市民企画事業(5団体)・女性が輝く地域づくり講演会(1月24日)・第2次男女共同参画プラン進捗状況調査 等。※計画・予算額は「あらゆる暴力の根絶関係」を含むものとし、決算額は事業実施テーマにあわせて分離している。	・H28年度パネル展に向け、新たに小学生の参加を促した。・市民企画事業実施団体間の連携強化を目指して座談会を開催した。	計画額	0	0	0	886	886	0.1	0.1
			当初予算額	0	0	0	886	886		
			決算額	0	0	0	687	687		
H28	【予定】・男女共同参画推進協議会の開催・男女共同参画パネル展・市民サポーターセミナー・市民企画事業・男女共同参画講演会・第2次男女共同参画プラン進捗状況調査 等。※計画・予算額は「あらゆる暴力の根絶関係」を含む。	※H28年度より秘書広報課男女共同参画・国際交流推進室(新設)に事業移管する。	計画額	0	0	0	880	880		
			当初予算額	0	0	0	886	886		
			決算額							
H29	具体的取組	平成25年度策定の「第2次さぬき市男女共同参画プラン」(平成26年度～35年度)に基づき、さぬき市男女共同参画推進協議会の意見も聞きながら啓発活動等を実施する。【具体的な内容】講演会の開催、男女共同参画パネル展、市民団体による自主企画事業への助成、男女共同参画推進市民サポーターとの連携による取組等	計画額	0	0	0	880	880		
			当初予算額							
			決算額							
H30	具体的取組	平成25年度策定の「第2次さぬき市男女共同参画プラン」(平成26年度～35年度)に基づき、さぬき市男女共同参画推進協議会の意見も聞きながら啓発活動等を実施する。【具体的な内容】講演会の開催、男女共同参画パネル展、市民団体による自主企画事業への助成、男女共同参画推進市民サポーターとの連携による取組等	計画額	0	0	0	880	880		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	子どもを対象とした男女共同参画を推進するための啓発事業数	市が主催する、子どもを対象とした、男女共同参画の意識を啓発するための事業数(例:講演会、セミナー、男女共同参画パネル展)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 1	実績値 1	計画値 2	実績値	計画値 2	実績値	計画値 2	実績値
	男女共同参画推進市民サポーター企画・運営事業数	男女共同参画推進市民サポーターが企画し、運営するセミナー等の開催回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 1	実績値 1	計画値 2	実績値	計画値 2	実績値	計画値 3	実績値
成果指標	男女共同参画講演会又はセミナーへの男性参加割合	市が主催又は共催した男女共同参画講演会又はセミナーの参加者アンケート等集計結果(無回答は除く)による。 男性参加人数/参加人数 ※小数点以下切り上げ	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値 15	実績値 15	計画値 17	実績値	計画値 19	実績値	計画値 20	実績値
	男女共同参画推進市民サポーター数	男女共同参画推進市民サポーターに登録している人数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値 11	実績値 11	計画値 13	実績値	計画値 15	実績値	計画値 17	実績値
評価	チェック項目(1~5点で評価)					一次評価(担当者)			二次評価(所属長)			
						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	20点 /25点	4点	20点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点	4点					
今後の方向性	一次評価(担当者)					二次評価(所属長)						
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止					<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						
理由	<p>平成27年に女性活躍推進法が施行されるなど、社会における女性の活躍促進は国の重要施策の1つとなっています。しかし、家事・育児・介護等の家庭責任の大半を女性が担うことをよとする固定的な性別役割分担意識はまだまだ健在で、平成24年に行った市民アンケートでも、家庭生活・職場・政治の場・社会通念などを含む社会全体として「男性優遇」との回答が65.9%を占めていました。これを是正し、男女が平等になるためには、「女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、しきたりを改めること」が男女ともに一番重要だと回答しており、このことから、男女共同参画プランに掲げた「性別にかかわらず、一人ひとりの個性を尊重し、個人の能力を十分に発揮できる社会＝男女共同参画社会」の実現に向け、すべての男女が互いを大切なパートナーとして思いやり、尊重しあい、補いあうことの重要性和そのために必要なこと等を伝える啓発活動はとて重要であると考えます。なお、課題は多岐にわたるため、関係課との連携を強化するとともに、より身近な課題として考え、家庭から実践いただけるよう、市民による市民のための啓発活動や、出前講座の実施を、今後さらに検討する必要性を感じています。</p>					<p>平成26年度から新たにスタートした「第2次男女共同参画プラン」に基づき、「男女が性別にかかわらず、個性と能力を十分に発揮し、自分らしく、ともに生き生きと生きることができる男女共同参画社会」の実現に向け、あらゆる分野における男女共同参画の推進に取り組んでいくが、市民の認識や関心は依然として高いとは言えない状況が続いている。女性が輝く社会づくりやワークライフバランスの実現、DVの防止など、今日的な課題への対応も喫緊の課題となっており、平成25年度に創設した市民サポーター制度や市民企画事業などを生かし、市民との協働による取組をさらに進めるとともに、事業者や関係機関との連携を図りながら事業効果を高めていく必要がある。</p>						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	男女共同参画推進事業②(あらゆる暴力の根絶関係)
-----	--------------------------

担当課	政策課
-----	-----

記入日	平成28年5月9日
-----	-----------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	28	(28) 男女共同参画の推進
主要施策	②	②あらゆる暴力の根絶

会計	01	一般会計
款	10	総務費
項	05	総務管理費
目	30	企画費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 平成25年度策定の「第2次さぬき市男女共同参画プラン」(平成26年度～35年度)に基づき、さぬき市男女共同参画推進協議会の意見も聞きながら、DV防止法に基づくあらゆる暴力の根絶などをめざした啓発活動を実施する。なお、被害相談業務等は、子育て支援課が所管。【具体的な内容】講演会やキャンペーンの開催等	DV防止法に基づきあらゆる暴力の根絶をめざすための啓発活動等を行う事業である。	計画額	0	0	0	3,526	3,526	—	—
			当初予算額	0	0	0	1,772	1,772		
			決算額	0	0	0	20	20		
H27	デートDV防止啓発講演会(長尾中11/26・さぬき南中11/27・志度中11/29 各1回。子育て支援課共催) ※計画・予算額は「さまざまな分野における男女共同参画の推進関係」を含むものとし、決算額は事業実施テーマにあわせて分離している。	会場ごとに違う講師を招へいし、中学生が理解しやすい講演会の進行方法を研究した。	計画額	0	0	0	886	886	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	886	886		
			決算額	0	0	0	20	20		
H28	【予定】デートDV防止啓発講演会 等 ※計画・予算額は「さまざまな分野における男女共同参画の推進関係」を含む。	※H28年度より秘書広報課男女共同参画・国際交流推進室(新設)に事業移管する。	計画額	0	0	0	880	880		
			当初予算額	0	0	0	886	886		
			決算額							
H29	具体的取組 DV防止法に基づく女性に対するあらゆる暴力の根絶などをめざし、講演会やキャンペーンの開催、市民団体の活動支援等を実施し、暴力のないまちづくりを推進する。 ※被害に合われた方等の相談業務等は、子育て支援課が所管		計画額	0	0	0	880	880		
			当初予算額							
			決算額							
H30		DV防止法に基づく女性に対するあらゆる暴力の根絶などをめざし、講演会やキャンペーンの開催、市民団体の活動支援等を実施し、暴力のないまちづくりを推進する。 ※被害に合われた方等の相談業務等は、子育て支援課が所管	計画額	0	0	0	880	880		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値		
活動指標	DV(デートDV)防止啓発活動数	市主催又は市民企画事業で実施するDV(デートDV)防止をテーマにした講演会又はセミナーの開催回数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 3	実績値 3	計画値 3	実績値	計画値 4	実績値	計画値 5	実績値		
	DVなどの暴力に関する知識向上活動数	女性に対する暴力をなくす運動(11月12日～25日)、DV(デートDV)相談窓口、各種ハラスメント(セクハラ・マタハラ)に関する知識を増やすための広報回数(広報紙での周知、キャンペーン活動等)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 3 実績値 2	計画値 3 実績値	計画値 3 実績値	実績値	計画値 4 実績値	実績値	計画値 4 実績値	実績値		
成果指標	DV(デートDV)被害相談件数	子育て支援課が集計する相談のべ件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値 55 実績値 57	計画値 60 実績値	計画値 63 実績値	実績値	計画値 66 実績値	実績値	計画値 66 実績値	実績値		
	DV被害について「どこ(だれ)に相談していいかわからなかった」とする市民の割合	男女共同参画プラン策定時の市民アンケート結果より※現状値:25.0%(H24年度調査)。次回調査:H29年度予定	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値 20以下 実績値 25	計画値 20以下 実績値	計画値 20以下 実績値	実績値	計画値 20以下 実績値	実績値	計画値 15以下 実績値	実績値		
評価	チェック項目(1～5点で評価)					一次評価(担当者)		二次評価(所属長)						
						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計					
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	19点 /25点	4点	18点 /25点				
	2. 市民満足の上昇が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点					
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点					
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		3点					
5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点	3点							
今後の方向性	一次評価(担当者)					二次評価(所属長)								
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止								
理由	男女共同参画社会の実現には、性別や個性にかかわらず互いの人権を尊重することが前提であり、暴力はあってはならないことです。しかし、残念ながら、市民アンケート結果によると、夫婦や恋人同士など親しい間柄での暴力(DV、デートDV)は発生しており、職場等におけるセクシュアルハラスメントやマタニティハラスメントで悩む市民も実在します。男女がともに、自分らしく、ともにいきいきと生きることができる男女共同参画社会をめざし、認識不足から加害者になるケースを防ぐためにも、DVやハラスメント防止に向けた啓発活動を継続するとともに、もし被害にあった場合は、一人で悩まず、相談窓口で専門家に相談することを呼びかけ、さらなる被害の拡大を防ぐ活動の継続はとても重要であると考えます。今後は、中学校での出前講演会の開催の継続はもとより、広報紙・CATVを利用した教育活動に取り組む必要があると考えます。また、将来的な検討課題として、今後の被害状況等によっては、相談業務やシェルター運営等について、民間の専門機関と検討する必要もあると考えます。					男女の人権が尊重され、暴力のない、誰もが安心して暮らすことができる社会をつくるため、DV防止に関する啓発や若年層向けのデートDV予防のための講演会などを継続的に実施するほか、子育て支援課など関係機関との連携強化を図りながらDV被害者の相談・支援事業等についても実施効果を高めるため施策に取り組んで行く必要がある。								

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	同和対策事業
-----	--------

担当課	人権推進課
-----	-------

記入日	平成28年5月10日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	29	(29) 人権教育の推進
主要施策	①	①人権教育・啓発活動の推進と充実

会計	01	一般会計
款	15	民生費
項	05	社会福祉費
目	30	人権推進費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 市民一人ひとりが人権意識の高揚に努めるとともに相互理解を深め、部落差別をはじめとするあらゆる差別のない明るい社会の実現に向けて取り組む。	市民に人権・同和問題の正しい理解と認識を図るため、関係機関団体と連携し研修会の開催等を行う。	計画額	1,674	0	0	34,735	36,409	—	—
			当初予算額	989	0	0	15,389	16,378		
			決算額	414	0	0	6,485	6,899		
H27	市民・企業・市職員等一人ひとりの人権意識の高揚を図った。 ・人権・同和問題講演会の開催 ・人権・同和問題啓発用パンフレットの作成	市民一人ひとりが人権尊重の理念について正しい理解と認識を図るため、関係機関・団体と連携し研修会の開催等を行った。	計画額	474	0	0	8,235	8,709	0.6	0.0
			当初予算額	474	0	0	8,235	8,709		
			決算額	414	0	0	6,485	6,899		
H28	市民・企業・市職員等一人ひとりの人権意識の高揚を図るため、講演会・研修・キャンペーン等を行う。2市1町人権・同和問題担当者会として、県外等の取組に学ぶため、研修を行う。「さぬき市差別をなくし、人権を擁護する条例」の改正。		計画額	400	0	0	8,500	8,900		
			当初予算額	515	0	0	7,154	7,669		
			決算額							
H29	市民・企業・市職員等一人ひとりの人権意識の高揚を図るため、講演会・研修・キャンペーン等を行う。		計画額	400	0	0	8,200	8,600		
			当初予算額							
			決算額							
H30	市民・企業・市職員等一人ひとりの人権意識の高揚を図るため、講演会・研修・キャンペーン等を行う。人権・同和問題市民意識調査を行い、過去の調査結果を踏まえ、事業内容の見直しを行う。2市1町人権・同和問題担当者会として、県外等の取組に学ぶため、研修を行う。		計画額	400	0	0	9,800	10,200		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	さぬき市人権・同和問題講演会の開催回数	市民を対象とした、人権・同和問題の正しい理解と認識を深めるための講演会の開催回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	1	計画値	1	計画値	1	計画値	1
	企業啓発	企業に対しての人権・同和問題における講演会や研修会の開催回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	2	計画値	2	計画値	2	計画値	2
成果指標	さぬき市人権・同和問題講演会の参加者数	市民を対象とした、人権・同和問題の正しい理解と認識を深めるための講演会の参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	400	計画値	400	計画値	400	計画値	400
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	251	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	20点 /25点	4点		20点 /25点
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点		
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点		
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点		
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点		
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	人権・同和問題をはじめとする差別解消は、人権尊重の観点からも必要な事業であり、継続しなければならない事業である。市民一人ひとりが今まで以上に多くの人権問題に対する正しい理解と認識を深め、差別意識の解消に向けて主体的に取り組むことができるよう、今後も人権尊重の理念に沿った教育、啓発を推進していく必要がある。						2016年4月に「部落地名総鑑復刻盤」の出版問題が発生する等、差別をする人間の意識は根強いものがある。1965年に出された政府同和对策審議会答申でも述べられたように、部落差別の解消は「国民的な課題」であり、「国の責務である」との理解の下、人権意識の向上については、すべての施策の根底に人権がかかわっていることを認識し、人権同和教育・人権啓発の推進を図り、差別のない社会の実現を目指し今後も事業を推進していく。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	保育所人権教育事業
-----	-----------

担当課	子育て支援課
-----	--------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	29	(29) 人権教育の推進
主要施策	①	①人権教育・啓発活動の推進と充実

会計	01	一般会計
款	15	民生費
項	10	児童福祉費
目	15	公立保育所費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 保育所人権教育事業は、「保育所保育指針」に基づき、保育所職員を対象とする人権教育の推進を図るものである。	各保育所等が取り組んだ研究の成果を発表したり聞いたりすることで、人権教育についての意識を高める。	計画額	0	0	0	3,186	3,186	—	—
			当初予算額	0	0	0	1,539	1,539		
			決算額	0	0	0	477	477		
H27	県内外で行われる保育所職員を対象とした人権教育に関する研修会への参加促進を図る。	複数の研修会が開催されており、積極的に参加している。テーマを絞り若手を中心に発表にも取り組み、さまざまな経験を積み重ねることができている。	計画額	0	0	0	786	786	4.7	4.4
			当初予算額	0	0	0	786	786		
			決算額	0	0	0	477	477		
H28	県内外で行われる保育所職員を対象とした人権教育に関する研修会への参加促進を図る。		計画額	0	0	0	800	800		
			当初予算額	0	0	0	753	753		
			決算額							
H29	県内外で行われる保育所職員を対象とした人権教育に関する研修会への参加促進を図る。		計画額	0	0	0	800	800		
			当初予算額							
			決算額							
H30	県内外で行われる保育所職員を対象とした人権教育に関する研修会への参加促進を図る。		計画額	0	0	0	800	800		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	研修参加者数	研修に参加した保育所職員数(延べ)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	120	計画値	120	計画値	120	計画値	120
					実績値	280	実績値		実績値		実績値	
成果指標	研修参加率	研修に参加した保育士数/保育所保育士数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	100	計画値	100	計画値	100	計画値	100
					実績値	80	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		3点	15点 /25点	3点		16点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		2点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		2点		2点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		4点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由						理由						
全国人権保育研究集会をはじめ各種人権研修に参加を促す。定期的に発表が当たるので正規職員の参加が多いが、臨時職員も参加する機会を増やしていく。						保育所人権教育事業は、保育所指針に基づき、保育所職員を対象とする人権教育の推進を図っている。したがって、今後も現行のとおり継続すべきと考える。						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	保育所人権教育事業
-----	-----------

担当課	子育て支援課幼保連携推進室
-----	---------------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	29	(29) 人権教育の推進
主要施策	①	①人権教育・啓発活動の推進と充実

会計	01	一般会計
款	15	民生費
項	10	児童福祉費
目	15	公立保育所費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 保育所人権教育事業は、「保育所保育指針」に基づき、保育所職員を対象とする人権教育の推進を図るものである。	各保育所等が取り組んだ研究の成果を発表したり聞いたりすることで、人権教育についての意識を高める。	計画額	0	0	0	3,186	3,186	—	—
			当初予算額	0	0	0	1,539	1,539		
			決算額	0	0	0	477	477		
H27	県内外で行われる保育所職員を対象とした人権教育に関する研修会への参加促進を図る。	複数の研修会が開催されており、積極的に参加している。テーマを絞り若手を中心に発表にも取り組み、さまざまな経験を積み重ねることができている。	計画額	0	0	0	786	786	4.7	4.4
			当初予算額	0	0	0	786	786		
			決算額	0	0	0	477	477		
H28	県内外で行われる保育所職員を対象とした人権教育に関する研修会への参加促進を図る。		計画額	0	0	0	800	800		
			当初予算額	0	0	0	753	753		
			決算額							
H29	県内外で行われる保育所職員を対象とした人権教育に関する研修会への参加促進を図る。		計画額	0	0	0	800	800		
			当初予算額							
			決算額							
H30	県内外で行われる保育所職員を対象とした人権教育に関する研修会への参加促進を図る。		計画額	0	0	0	800	800		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	研修参加者数	研修に参加した保育所職員数(延べ)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	120	計画値	120	計画値	120	計画値	120
					実績値	280	実績値		実績値		実績値	
成果指標	研修参加率	研修に参加した保育士数/保育所保育士数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	100	計画値	100	計画値	100	計画値	100
					実績値	80	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		3点	15点 /25点	3点	16点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		2点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		2点		2点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		4点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由						理由						
全国人権保育研究集会をはじめ各種人権研修に参加を促す。定期的に発表が当たるので正規職員の参加が多いが、臨時職員も参加する機会を増やしていく。						保育所人権教育事業は、保育所指針に基づき、保育所職員を対象とする人権教育の推進を図っている。したがって、今後も現行のとおりに継続すべきと考える。						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	研修会・研究大会等開催参加事業
-----	-----------------

担当課	人権推進課
-----	-------

記入日	平成28年5月16日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	29	(29) 人権教育の推進
主要施策	①	①人権教育・啓発活動の推進と充実

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	20	人権教育費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	学校教職員・行政職員に対する人権・同和教育を推進するため、研修会及び研究大会への参加を支援する。	研修会に参加することで、全職員の人権や同和教育に対する正しい理解と認識を深めるとともに人権意識を高め合う職員集団づくりを目指す。	計画額	0	0	0	3,603	3,603	—	—
			当初予算額	0	0	0	1,787	1,787		
			決算額	0	0	0	706	706		
H27	大会参加によって人権・同和教育に関する事業を推進した。 ・香川県人権・同和教育研究大会 ・人権・同和教育指導者研修会 ・四国地区人権教育研究大会 ・全国人権・同和教育研究大会	研修会に参加することで、全職員の人権や同和教育に対する正しい理解と認識を深めるとともに人権意識を高め合う職員集団づくりを目指した。	計画額	0	0	0	903	903	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	903	903		
			決算額	0	0	0	706	706		
H28	大会参加によって人権・同和教育に関する事業を推進する。 ・香川県人権・同和教育研究大会 ・人権・同和教育指導者研修会 ・四国地区人権教育研究大会 ・全国人権・同和教育研究大会		計画額	0	0	0	900	900		
			当初予算額	0	0	0	884	884		
			決算額							
H29	大会参加によって人権・同和教育に関する事業を推進する。 ・香川県人権・同和教育研究大会 ・人権・同和教育指導者研修会 ・四国地区人権教育研究大会 ・全国人権・同和教育研究大会		計画額	0	0	0	900	900		
			当初予算額							
			決算額							
H30	大会参加によって人権・同和教育に関する事業を推進する。 ・香川県人権・同和教育研究大会 ・人権・同和教育指導者研修会 ・四国地区人権教育研究大会 ・全国人権・同和教育研究大会		計画額	0	0	0	900	900		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	人権・同和教育研究大会 開催回数	香同教・指導者研修・四人権・全人教大会開催回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	4	計画値	4	計画値	4	計画値	4
					実績値	4	実績値		実績値		実績値	
成果指標	人権・同和教育研究大会 参加者数	香同教・指導者研修・四人権・全人教大会参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	150	計画値	150	計画値	150	計画値	150
					実績値	147	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	17点 /25点	3点	4点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点			3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点			4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点			3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点			3点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	人権同和教育指導者資質向上事業と統合し、事業の見直しが必要であるが、職員一人一人が、人権や同和教育に対する正しい理解と認識を深めるとともに人権意識を高め合う職員集団づくりを目指す事業としては、継続していく必要性はある。						研究大会に参加する事により、常に人権意識を高め、差別のない社会の形成に努めている。各園・校などからの参加があり、要望も多いことから、継続して実施する必要があると考えている。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	更生保護事業
-----	--------

担当課	人権推進課
-----	-------

記入日	平成28年5月12日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	29	(29) 人権教育の推進
主要施策	②	②人権問題に関する相談体制の充実

会計	01	一般会計
款	15	民生費
項	05	社会福祉費
目	30	人権推進費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	事業概要 保護司会及び更生保護女性会への補助金・活動支援を行う。 【具体的な内容】中学校弁論大会等の開催や「社会を明るくする運動」街頭キャンペーン等により、犯罪や非行のない明るい社会づくりを進める活動への支援・協力や、更生保護施設等からの一日も早い社会復帰支援として、更生保護施設慰問への支援・協力等	保護司会及び更生保護女性会に対して支援・協力をを行うことにより、更生保護活動への理解を図り、犯罪や非行のない安全で安心に暮らせる社会の実現をめざす。	計画額	0	0	0	3,140	3,140	—	—
			当初予算額	0	0	0	2,068	2,068		
			決算額	0	0	0	670	670		
H27	・「社会を明るくする運動」街頭キャンペーンにて啓発冊子の配布等(東かがわ市) ・更生保護女性会更生施設慰問(丸亀少女の家、修斉会)、更生保護女性会研修(高松少年鑑別所等)、長尾更生保護女性会大窪寺キャンペーン活動への支援及び協力等	今後の更生保護活動に活かすため、平成28年度に更生保護女性会和歌山刑務所研修を実施することを決定した。	計画額	0	0	0	670	670	0.5	0.0
			当初予算額	0	0	0	670	670		
			決算額	0	0	0	670	670		
H28	【予定】・「社会を明るくする運動」街頭キャンペーンにて啓発冊子等の配布等(津田小学校)・更生保護女性会更生施設慰問、更生保護女性会県外研修(和歌山刑務所)、長尾更生保護女性会大窪寺キャンペーン活動への支援及び協力等		計画額	0	0	0	900	900		
			当初予算額	0	0	0	1,398	1,398		
			決算額							
H29	保護司会及び更生保護女性会への補助金・活動支援を行う。 【具体的な内容】中学校弁論大会等の開催や「社会を明るくする運動」街頭キャンペーン等により、犯罪や非行のない明るい社会づくりを進める活動への支援・協力や、更生保護施設等からの一日も早い社会復帰支援として、更生保護施設慰問への支援・協力等		計画額	0	0	0	670	670		
			当初予算額							
			決算額							
H30	保護司会及び更生保護女性会への補助金・活動支援を行う。 【具体的な内容】中学校弁論大会等の開催や「社会を明るくする運動」街頭キャンペーン等により、犯罪や非行のない明るい社会づくりを進める活動への支援・協力や、更生保護施設等からの一日も早い社会復帰支援として、更生保護施設慰問への支援・協力等		計画額	0	0	0	900	900		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	保護司会及び更生保護女性会の活動支援件数	「社会を明るくする運動」街頭キャンペーンへの参加等、保護司会及び更生保護女性会の活動への支援件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	5	計画値	5	計画値	5	計画値	5	
					実績値	5	実績値		実績値		実績値		
成果指標	更生保護施設慰問回数	丸亀少女の家、修斉会、四国少年院等の更生保護施設等への慰問回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	4	計画値	4	計画値	4	計画値	4	
					実績値	4	実績値		実績値		実績値		
成果指標	街頭キャンペーン実施回数	「社会を明るくする運動」街頭キャンペーンや長尾更生保護女性会大窪寺キャンペーン活動等の実施回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	3	計画値	3	計画値	3	計画値	3	
					実績値	2	実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	21点 /25点	4点	21点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	<p>保護司は、法務大臣から委嘱を受けた無報酬の国家公務員であり、保護司法に基づき、犯罪者等の改善・更生を助け、保護観察や犯罪予防活動を行っており、更生保護女性会は、ボランティア団体として更生保護に理解と協力を得るための活動を行っている。犯罪や非行のない安全で安心して暮らせる社会づくりが求められている中、地域に密着した更生保護活動を行う保護司会及び更生保護女性会の活動の重要性は増しており、また、このような活動は公益性が高く、今後も行政が関わるべき事業である。</p> <p>また、犯罪や非行のない地域づくり、再び犯罪や非行に陥らないような環境づくりには、市民一人一人の理解や関心を深めることが必要不可欠であり、更生保護活動が理解され、今後一層の効果を上げるためにも、保護司会及び更生保護女性会との連携をより密にして行く必要があるとともに、各種イベント等での啓発活動等をさらに推進するなど、行政として今後も引き続き協力・支援していき、地域全体で立ち直りを支える社会づくりを進めていく。</p>						<p>「社会を明るくする運動」や「更生保護施設訪問」などの活動は、犯罪や非行のない明るい地域社会の実現に大きく貢献していると考えており、施設慰問に行った時には、感謝の手紙が入所者から届くなど、活動に対する評価が確認できる。</p> <p>また、健全な社会を形成するには、罪を犯した人でも人生をやり直すことのできる社会環境が重要であるが、刑の執行中や刑を終えて出所した人やその家族に対する偏見や差別意識には根強いものがあり、罪を償い社会に復帰した人が、更生をして、立派に社会に貢献できるようになるためには、本人の努力は当然のことながら、それに加えて、たくさんの人の協力も必要となってくる。そのような中、平成27年度には更生保護サポートセンタも開設したことから、その手助けとなる保護司・更正保護女性会とは、これまで以上の協力体制が必要となってくる。</p>						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	隣保館運営事業
-----	---------

担当課	人権推進課
-----	-------

記入日	平成28年5月12日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	29	(29) 人権教育の推進
主要施策	③	③啓発活動拠点施設の活用

会計	01	一般会計
款	15	民生費
項	05	社会福祉費
目	35	隣保館費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	地域住民の福祉向上や、様々な人権問題の解決のための各種事業を実施する。 【具体的な内容】・小中学生学習会・地域交流事業(夏のつどい、じんけんフェスタ)・小中学校、社会教育団体、研究グループの現地研修・就労支援事業としてパソコン教室・相談事業・各種教養文化講座事業 等	人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、地域住民の福祉や人権意識の向上を図るとともに、人権・同和問題の解決に資することにより、あらゆる差別のない社会の実現をめざす。	計画額	27,592	0	2,160	17,659	47,411	—	—
			当初予算額	14,852	0	1,828	10,465	27,145		
			決算額	6,027	0	432	3,261	9,720		
H27	・小中学生学習会・地域交流事業(夏のつどい、じんけんフェスタ) ・小中学校、社会教育団体、研究グループの現地研修・就労支援事業としてパソコン教室・相談事業・各種教養文化講座事業 等	これまで冬に志度音楽ホールで実施していた「じんけんフェスタ」を「冬のつどい」と辛立文化センターにて同時開催することにより、イベント運営経費の削減及びより多くの参加者を得ることができた。	計画額	6,898	0	540	4,159	11,597	1.3	1.0
			当初予算額	6,898	0	540	4,159	11,597		
			決算額	6,027	0	432	3,261	9,720		
H28	【予定】・辛立文化センターにて「じんけんフェスタ」と「冬のつどい」の同時開催・定期的な地元の行政書士による専門相談・隣保館運営審議会県外研修の実施・小中学生学習会・地域交流事業(夏のつどい、じんけんフェスタ)・小中学校、社会教育団体、研究グループの現地研修・就労支援事業としてパソコン教室・相談事業・各種教養文化講座事業 等		計画額	6,898	0	540	4,700	12,138		
			当初予算額	7,954	0	1,288	6,306	15,548		
			決算額							
H29	地域住民の福祉向上や、様々な人権問題の解決のための各種事業を実施する。【具体的な内容】・小中学生学習会・地域交流事業(夏のつどい、じんけんフェスタ)・小中学校、社会教育団体、研究グループの現地研修・就労支援事業としてパソコン教室・相談事業・各種教養文化講座事業 等		計画額	6,898	0	540	4,100	11,538		
			当初予算額							
			決算額							
H30	地域住民の福祉向上や、様々な人権問題の解決のための各種事業を実施する。【具体的な内容】・小中学生学習会・地域交流事業(夏のつどい、じんけんフェスタ)・小中学校、社会教育団体、研究グループの現地研修・就労支援事業としてパソコン教室・相談事業・各種教養文化講座事業 等		計画額	6,898	0	540	4,700	12,138		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	小・中学校学習会開催回数	小・中学校の学習意欲の奮起を促し、地区の教育力を高めることや、仲間づくり等人権啓発学習を開催している学習会の開催回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 60	実績値 60	計画値 60	実績値	計画値 60	実績値	計画値 60	実績値	
	夏のつどい・じんけんフェスタ(冬のつどい)開催回数	開催を通して、行政・教育関係者・地域住民等の相互理解を深めることを目的とした、地域交流イベントの開催回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 2	実績値 2	計画値 2	実績値	計画値 2	実績値	計画値 2	実績値	
成果指標	小・中学校学習会参加者数	本来は学習成果を挙げるべきだが、測定が困難なので参加者数で代用	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値 1,800	実績値 1,820	計画値 1,800	実績値	計画値 1,800	実績値	計画値 1,800	実績値	
	夏のつどい・じんけんフェスタ(冬のつどい)参加者数	開催を通して、行政・教育関係者・地域住民等の相互理解を深めることを目的とした、地域交流イベントの参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値 1,500	実績値 2,500	計画値 1,500	実績値	計画値 1,500	実績値	計画値 1,500	実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	20点 /25点	4点	21点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	<p>辛立文化センターは、地域住民の生活上の各種相談事業や人権問題解決のための各種事業を行うなど、地域住民の福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、重要な役割を担っているため、継続的に事業を実施していく必要がある。隣保館の存在目的をより多くの市民に理解してもらい、人権問題等に対する理解を深め、人権文化の発信基地としての辛立文化センターを中心とした人権啓発を進める。平成28年度には、隣保館運営審議会として、県外研修を予定しており、先進地での取組み状況等を学び、今後も多くの市民が交流できる交流拠点施設の機能の強化に取り組んでいく。</p>						<p>平成25年に実施した市民意識調査では、42%もの市民が身元調査は必要であるという結果が出ており、辛立文化センターとしては人権・同和問題に対する理解を深めるための活動を行い、もって地域住民の生活の社会的、経済的、文化的改善向上を図るとともに、人権・同和問題の速やかな解決のため果たす役割を、なお一層高めていかなければならない。</p>						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	教育集会所管理事業
-----	-----------

担当課	人権推進課
-----	-------

記入日	平成28年5月16日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	IV	IV学ぶ意欲と豊かな心を育むまち
基本施策	29	(29) 人権教育の推進
主要施策	③	③啓発活動拠点施設の活用

会計	01	一般会計
款	50	教育費
項	30	社会教育費
目	20	人権教育費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27   H30	教育集会所(同和対策事業の一環として同和地区に設置される、社会福祉施設の一つである。)の維持管理をする。	鴨部教育集会所及び公文明教育集会所の維持管理費である。	計画額	0	0	0	1,344	1,344	—	—
			当初予算額	0	0	0	649	649		
			決算額	0	0	0	285	285		
H27	教育集会所の適切な維持管理を行った。	鴨部教育集会所については、実質利用者がいないことから、解体も視野に入れた今後のあり方の検討を開始した。	計画額	0	0	0	336	336	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	336	336		
			決算額	0	0	0	285	285		
H28	教育集会所の適切な維持管理を行う。		計画額	0	0	0	336	336		
			当初予算額	0	0	0	313	313		
			決算額							
H29	教育集会所の適切な維持管理を行う。		計画額	0	0	0	336	336		
			当初予算額							
			決算額							
H30	教育集会所の適切な維持管理を行う。		計画額	0	0	0	336	336		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	管理人の配置数	鴨部教育集会所の維持管理人の配置数 (公文明教育集会所については、自治会館管理)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	1	計画値	1	計画値	1	計画値	1
					実績値	1	実績値		実績値		実績値	
成果指標	教育集会所における人権啓発活動(公文明)	人権啓発活動(自治会活動を含む)の回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	12	計画値	12	計画値	12	計画値	12
					実績値	12	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	2点	12点 /25点	2点	12点 /25点	12点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点						
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	2点						
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	2点						
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点						
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	鴨部教育集会所の運営管理については、隣接する市営住宅の今後の状況によって、廃止を検討する必要がある。(市営住宅1人居住) 現状としては、既存施設の適切な管理を実施する。						使用頻度の差はあるものの、自治会の集会場として使用しているため、現段階では事業を継続する必要がある。					